

1999 収蔵整理概要

1984年度栗東町埋蔵文化財 発掘調査 資料集



2001. 3

栗 東 町 教 育 委 員 会
(財)栗東町文化体育振興事業団

1984年度栗東町埋蔵文化財
発掘調査 資料集

2001. 3

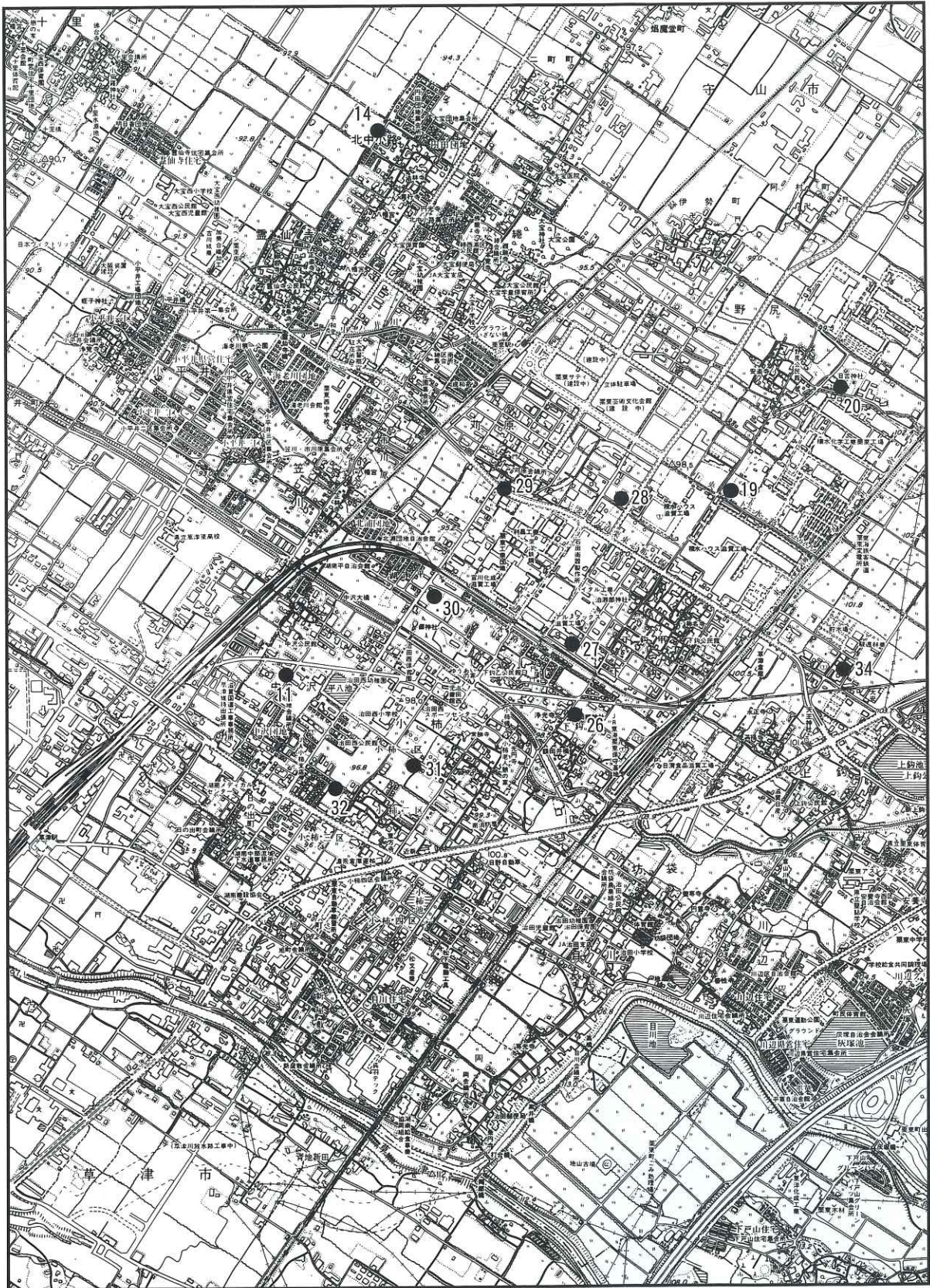
栗東町教育委員会
(財)栗東町文化体育振興事業団

目 次

目 次	1
遺跡位置図	2
調査一覧表	5
1 辻 遺 跡 (84R003-01)	6
2 辻 遺 跡 (84R003-04)	9
3 辻 遺 跡 (84R003-03)	12
4 辻 遺 跡 (84R003-02)	14
5 辻 遺 跡 (84R003-05)	16
6 林 (大塚) 遺跡 (84R009-01)	17
7 手 原 遺 跡 (84R025-02)	18
8 手 原 遺 跡 (84R025-04)	19
9 手 原 遺 跡 (84R025-01)	20
10 手 原 遺 跡 (84R025-03)	20
11 中 沢 遺 跡 (84R034-01)	21
12 椿 山 遺 跡 (84R039-01)	22
13 椿 山 遺 跡 (84R039-02)	22
14 綾 遺 跡 (84R093-01)	25
15 道久谷 遺 跡 (84R084-01)	26
16 岩 畑 遺 跡 (84R085-01)	28
17 岩 畑 遺 跡 (84R085-02)	30
18 岩 畑 遺 跡 (84R085-03)	47
19 野 尻 遺 跡 (84R088-01)	48
20 野 尻 遺 跡 (84R088-02)	49
21 高 野 遺 跡 (84R092-01)	50
22 高 野 遺 跡 (84R092-02)	51
23 高 野 遺 跡 (84R092-03)	52
24 高 野 遺 跡 (84R092-04)	53
25 高 野 遺 跡 (84R092-05)	54
26 下 鈎 遺 跡 (84R037-01)	55
27 下 鈎 遺 跡 (84R095-01)	56
28 下 鈎 遺 跡 (84R095-02)	57
29 下 鈎 遺 跡 (84R095-03)	58
30 下 鈎 遺 跡 (84R095-04)	60
31 小 柿 遺 跡 (84R100-01)	64
32 小 柿 遺 跡 (84R100-02)	65
33 辻越 B 遺 跡 (84R096-01)	66
34 下 鈎 東 遺 跡 (84R097-01)	70
参 考 文 献	72



遺跡位置図(1)



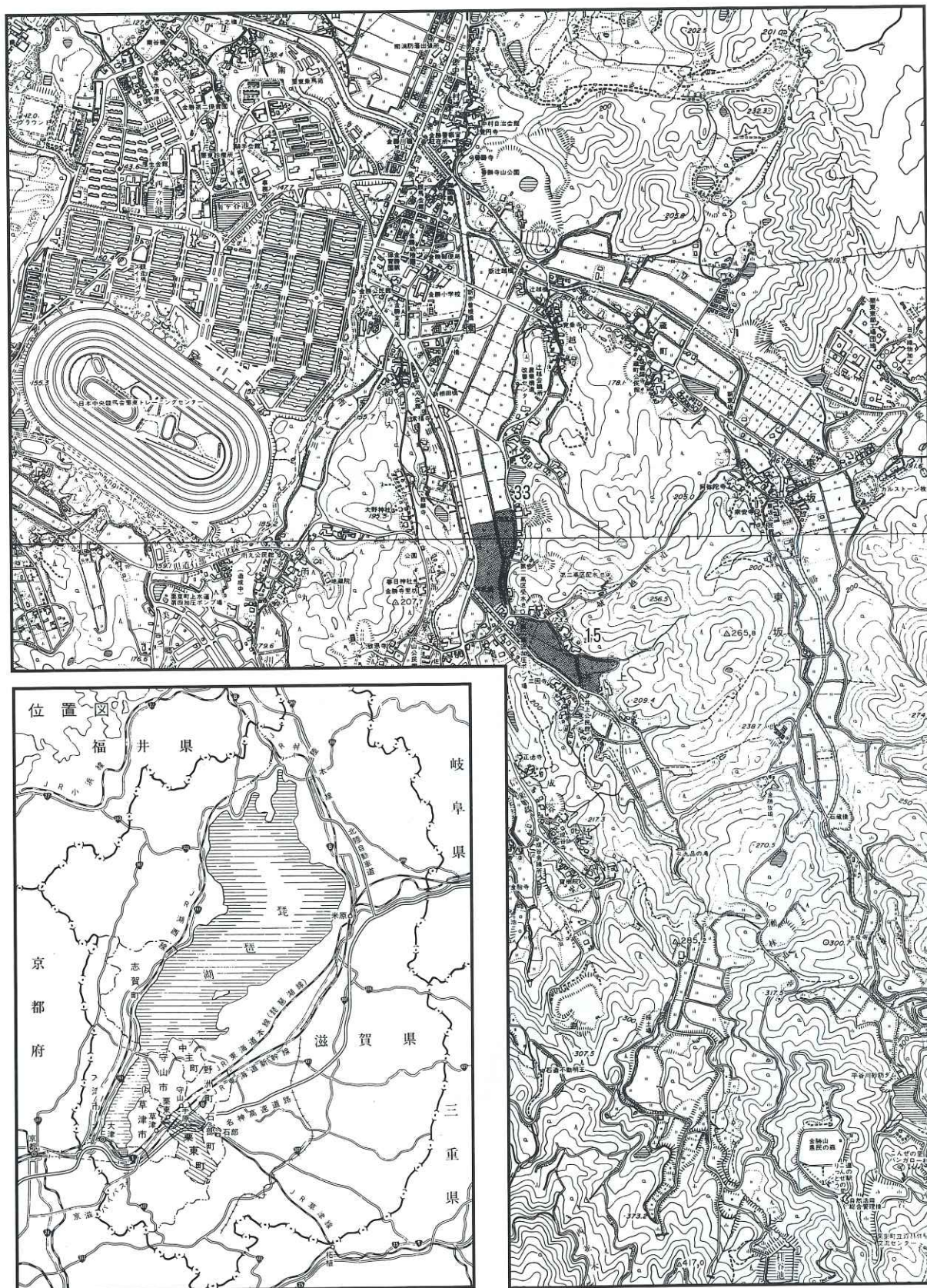
(1:20,000)

遺跡位置図(2)



(1:20,000)

遺跡位置図(3)



(1:20,000)

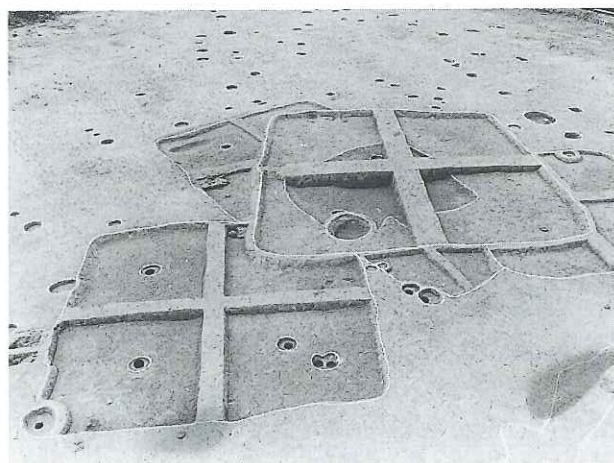
1984 年度 調査

番号	遺 跡 名	調査略号	所 在 地	遺 構	遺 物	頁
1	辻 遺 跡	84R003-01	栗東町辻字曾根田	掘立柱建物・竪穴住居・土坑・溝	須恵器・土師器・縄文土器・砥石・滑石原石	6
2	辻 遺 跡	84R003-04	栗東町辻字かしあげ	掘立柱建物・竪穴住居・土坑・井戸	須恵器・土師器・黒色土器・陶器・砥石	9
3	辻 遺 跡	84R003-03	栗東町辻字久保田482-4他	掘立柱建物・竪穴住居・土坑・溝	須恵器・土師器・製塩土器・滑石製紡錘車・砥石	12
4	辻 遺 跡	84R003-02	栗東町辻字高谷564-1他	竪穴住居・溝	須恵器・土師器・灰釉陶器・緑釉陶器・土鏝・金環・炉壁	14
5	辻 遺 跡	84R003-05	栗東町辻字ボケ塚524-1	流路・土坑	須恵器・土師器・黒色土器	16
6	林(大塚)遺跡	84R009-01	栗東町林	溝・土坑・攪乱		17
7	手原遺跡	84R025-02	栗東町手原字寅丸223-1他	掘立柱建物・溝	須恵器・土師器	18
8	手原遺跡	84R025-04	栗東町大橋字前田619-1	溝・ピット	土師器	19
9	手原遺跡	84R025-01	栗東町手原字里ノ内932			20
10	手原遺跡	84R025-03	栗東町手原字里ノ内951-1	攪乱		20
11	中沢遺跡	84R034-01	栗東町中沢248-3	溝	弥生土器・陶磁器	21
12	椿山遺跡	84R039-01	栗東町安養寺池ノ浦654-1他	溝・ピット	須恵器・土師器	22
13	椿山遺跡	84R039-02	栗東町安養寺池ノ浦667-2他	溝		22
14	滝 遺 跡	84R093-01	栗東町北中小路字小田中158-5	溝	須恵器・土師器	25
15	道久谷遺跡	84R084-01	栗東町井上地先	掘立柱建物・土坑	須恵器・土師器	26
16	岩畑遺跡	84R085-01	栗東町高野字一ツ橋472-1他	掘立柱建物・竪穴住居・溝	須恵器・土師器・土馬・黒色土器・緑釉陶器	28
17	岩畑遺跡	84R085-02	栗東町高野字岩畑721他	前方後方形周溝墓・竪穴住居	須恵器・土師器・鉄製品・製塩土器・滑石製品・緑釉陶器	30
18	岩畑遺跡	84R085-03	栗東町高野字一ツ橋675	包含層	須恵器・土師器・泥面子	47
19	野尻遺跡	84R088-01	栗東町野尻字馬拍子435-3	溝・ピット	須恵器・土師器	48
20	野尻遺跡	84R088-02	栗東町野尻95	包含層	須恵器・土師器・陶器・砥石	49
21	高野遺跡	84R092-01	栗東町高野字ドント275-1他	掘立柱建物・竪穴住居・溝	須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器	50
22	高野遺跡	84R092-02	栗東町高野字下戸別当580-3	掘立柱建物・竪穴住居・溝	土師器	51
23	高野遺跡	84R092-03	栗東町高野字四反長239-5	竪穴住居・溝・ピット	須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器	52
24	高野遺跡	84R092-04	栗東町六地藏字沢上912-1他	竪穴住居・方形周溝墓・溝	須恵器・土師器・鉄鉈	53
25	高野遺跡	84R092-05	栗東町六地藏字段上1146-1他	溝	須恵器	54
26	下鉤遺跡	84R037-01	栗東町下鉤字里ノ北526-5	包含層	須恵器・土師器・黒色土器・陶器	55
27	下鉤遺跡	84R095-01	栗東町下鉤字大街搭甲806他	土坑・ピット	須恵器・土師器	56
28	下鉤遺跡	84R095-02	栗東町下鉤字善楽905-1	溝・大溝	土師器	57
29	下鉤遺跡	84R095-03	栗東町荊原・下鉤地先	溝	須恵器・土師器・木製品	58
30	下鉤遺跡	84R095-04	栗東町下鉤字宮ノ北	溝・ピット	弥生土器・銅剣・翡翠製勾玉・石器・木製品	60
31	小柿遺跡	84R100-01	栗東町小柿字鉤代317-1	溝・土坑・ピット	須恵器・土師器・黒色土器	64
32	小柿遺跡	84R100-02	栗東町小柿367-2	溝・ピット		65
33	辻越B遺跡	84R096-01	栗東町御園地先	掘立柱建物・溝	須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器・瓦器	66
34	下鉤東遺跡	84R097-01	栗東町上鉤大將軍53他	溝・土坑・ピット	弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器	70

1. 辻 遺 跡

(つじ・84R003-01)

所在地	栗東町辻字曾根田
	北緯 35° 02' 19"
	東経 136° 01' 00"
コード	321-003
調査期間	1984年4月10日～6月12日
調査面積	3400㎡
調査原因	造成工事
調査担当	大崎隆志 松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、土壇、溝
主な遺物	須恵器、土師器、縄文土器、砥石、滑石原石
文 献	



竪 穴 住 居

本調査区は、1983年度の調査で古墳時代後期の竪穴住居が80棟以上出土した地点の北側にあたる。本調査区では古墳時代後期の竪穴住居24棟、古墳時代後期以降の掘立柱建物が20棟程度、溝、土坑が発見されている。このうち掘立柱建物には3間×3間の総柱建物が企画性をもって建てられている一群があり、注目される。

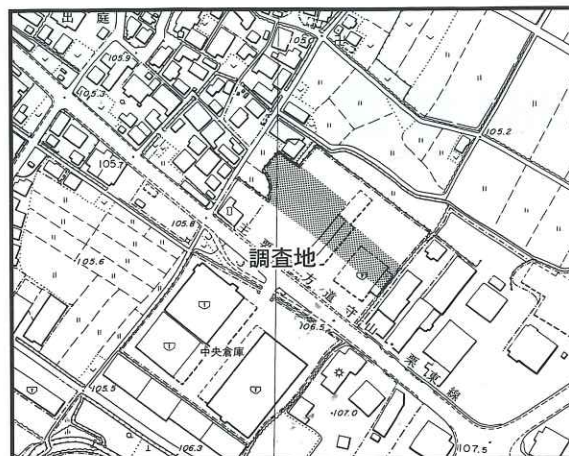


図1 調査地位置図

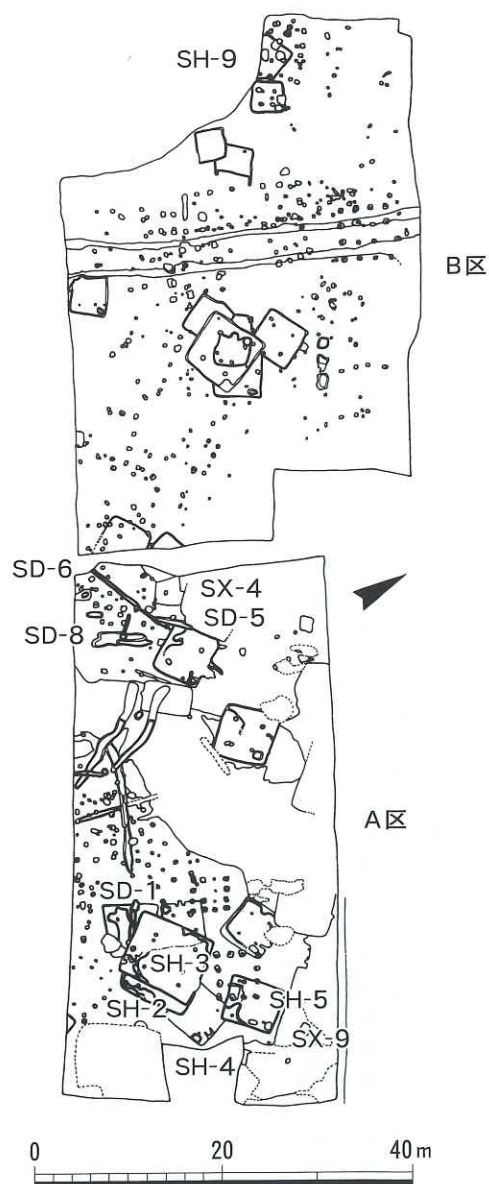


図2 調査地

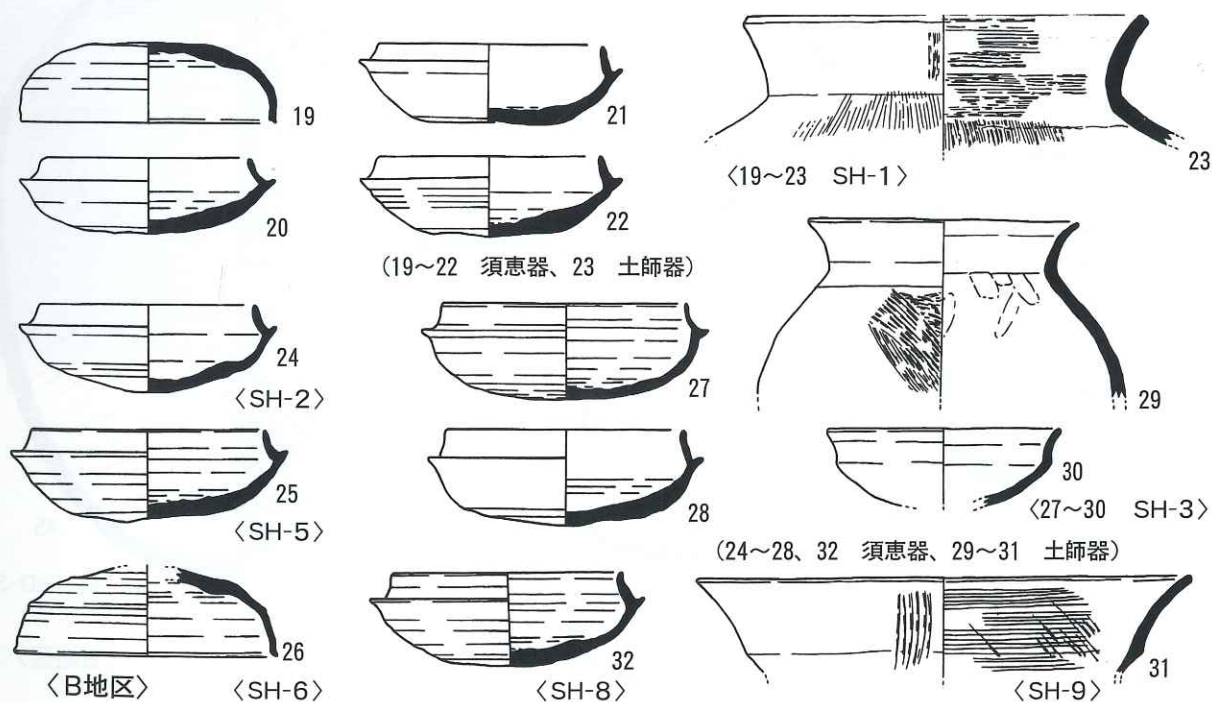
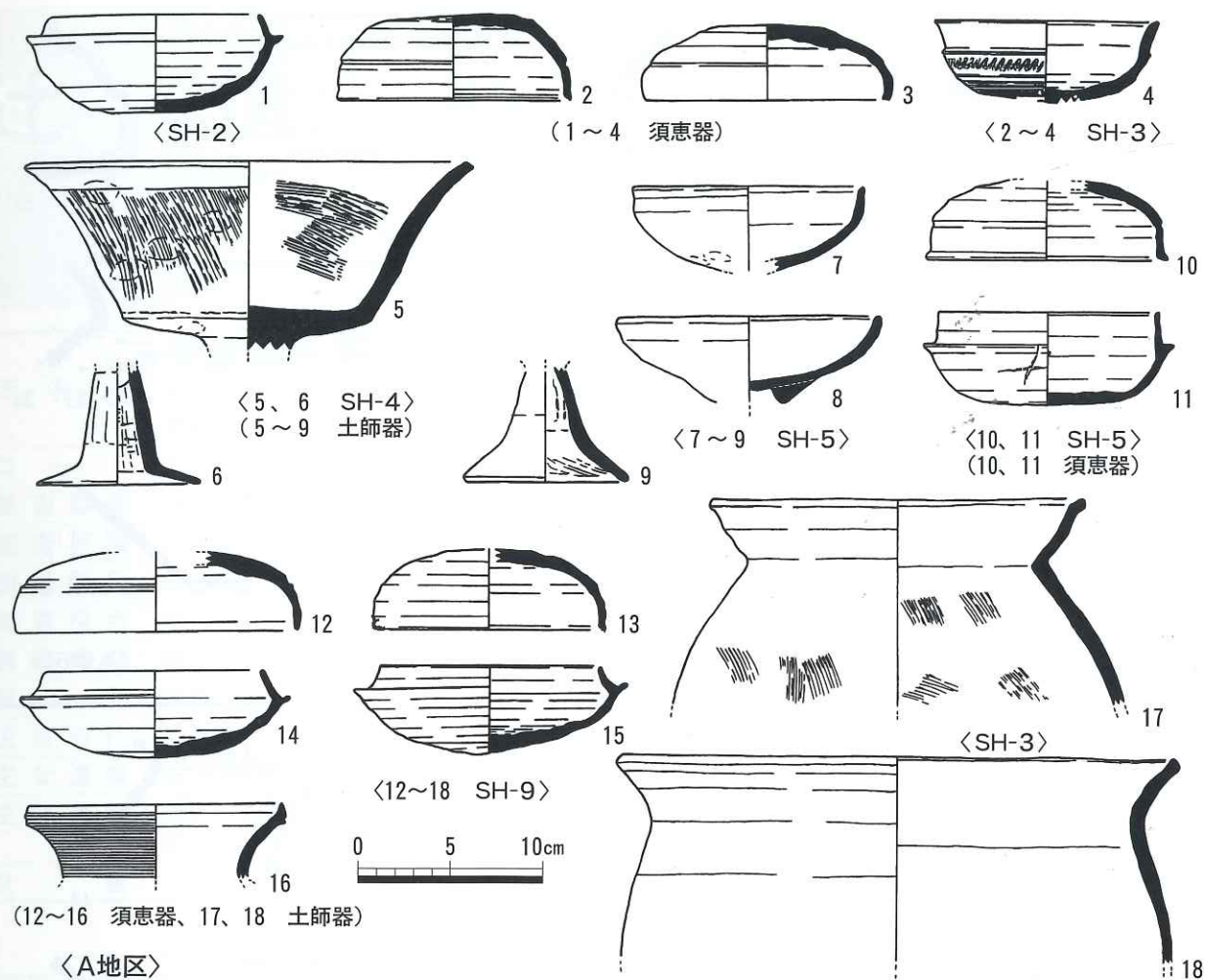


图3 竖穴住居出土土器实测图

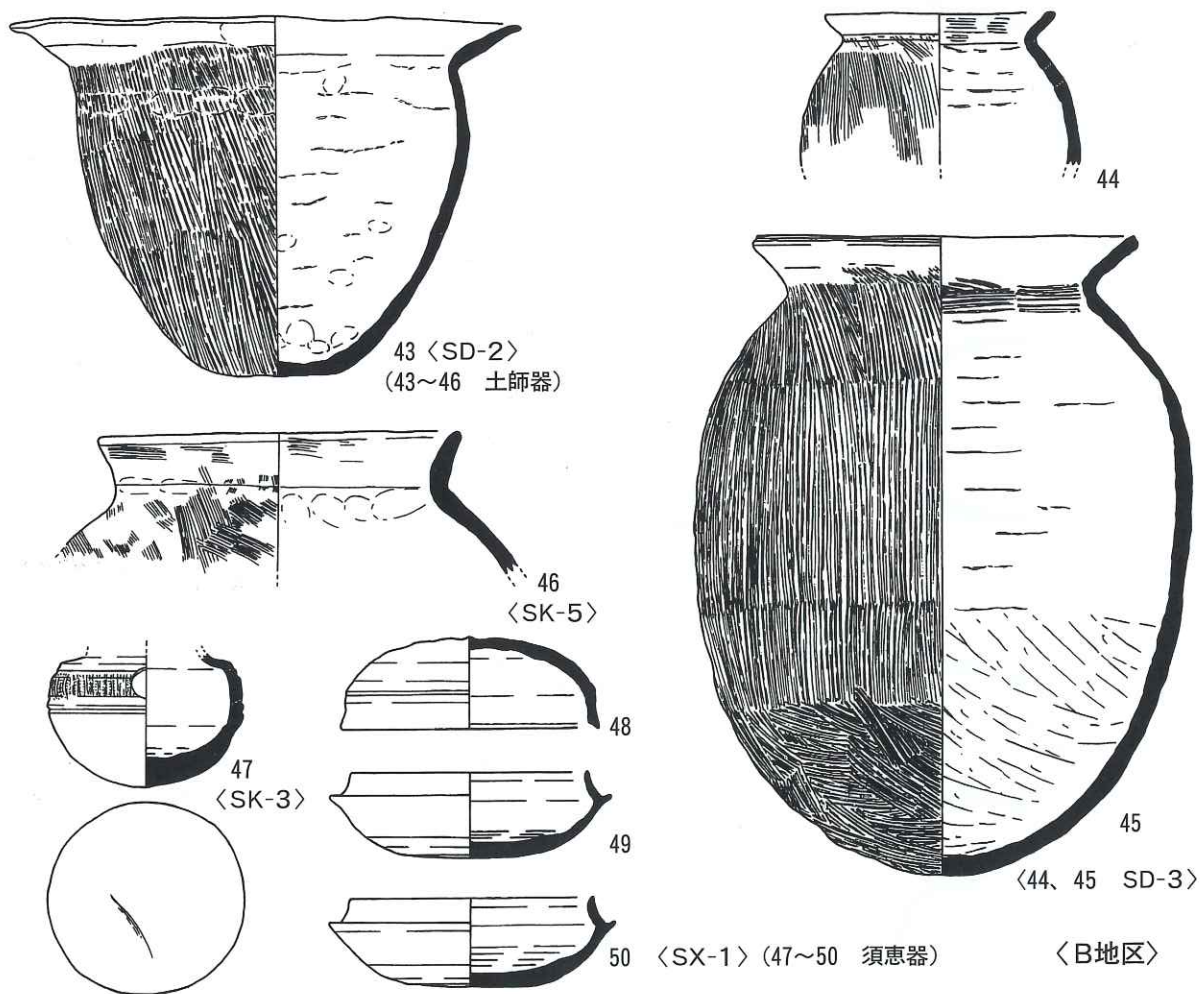
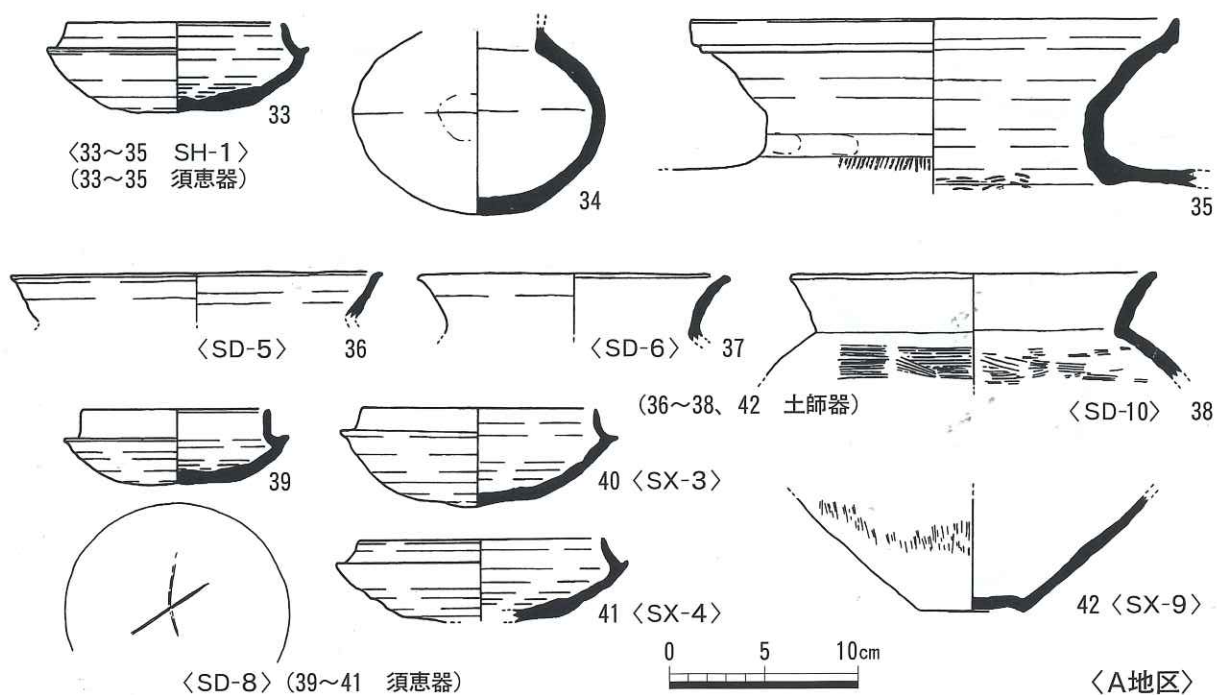


图4 出土土器实测图

2. 辻 遺 跡

(つじ・84R003-04)

所在地	栗東町辻字かしあげ
	北緯 35° 02' 18"
	東経 136° 00' 46"
コード	321-003
調査期間	1984年11月13日～12月13日
調査面積	1300m ²
調査原因	造成工事
調査担当	平井寿一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳時代、中世
主な遺構	掘立柱建物、竪穴住居、土坑、井戸
主な遺物	須恵器、土師器、黒色土器、陶器、砥石
文 献	



調査地全景

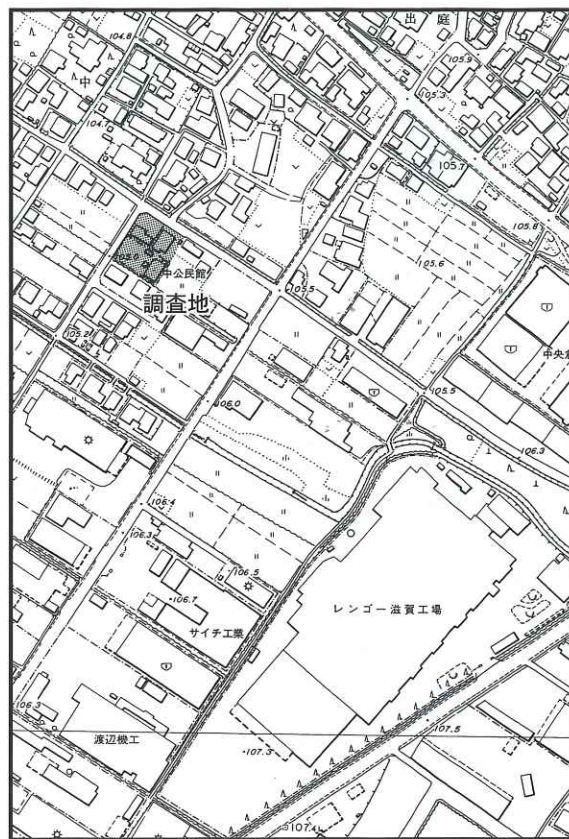


図1 調査地位置図

辻遺跡は野洲川の自然堤防状微高地上に位置する遺跡で、古墳時代の大規模な集落として知られている。本調査区は古墳時代の大規模な集落の西側に当たる。

調査区の中央部は中世以降に幅12m程度の流路によって攪乱を受けている。この攪乱を免れた流路の両側に、古墳時代及び中世の遺構が存在する。

古墳時代の遺構には竪穴住居（SH-1）がある。SH-1は北東側辺に造りつけカマドをもつ住居で、土坑より土師器壺（1）が出土しているほか、甗（3）等が出土している。

調査区東隅では、掘立柱建物が一棟検出されており、柱穴内より黒色土器（25）が出土している。

近世以降の流路が埋没した後は、土採りと考えられる土坑が掘られている。

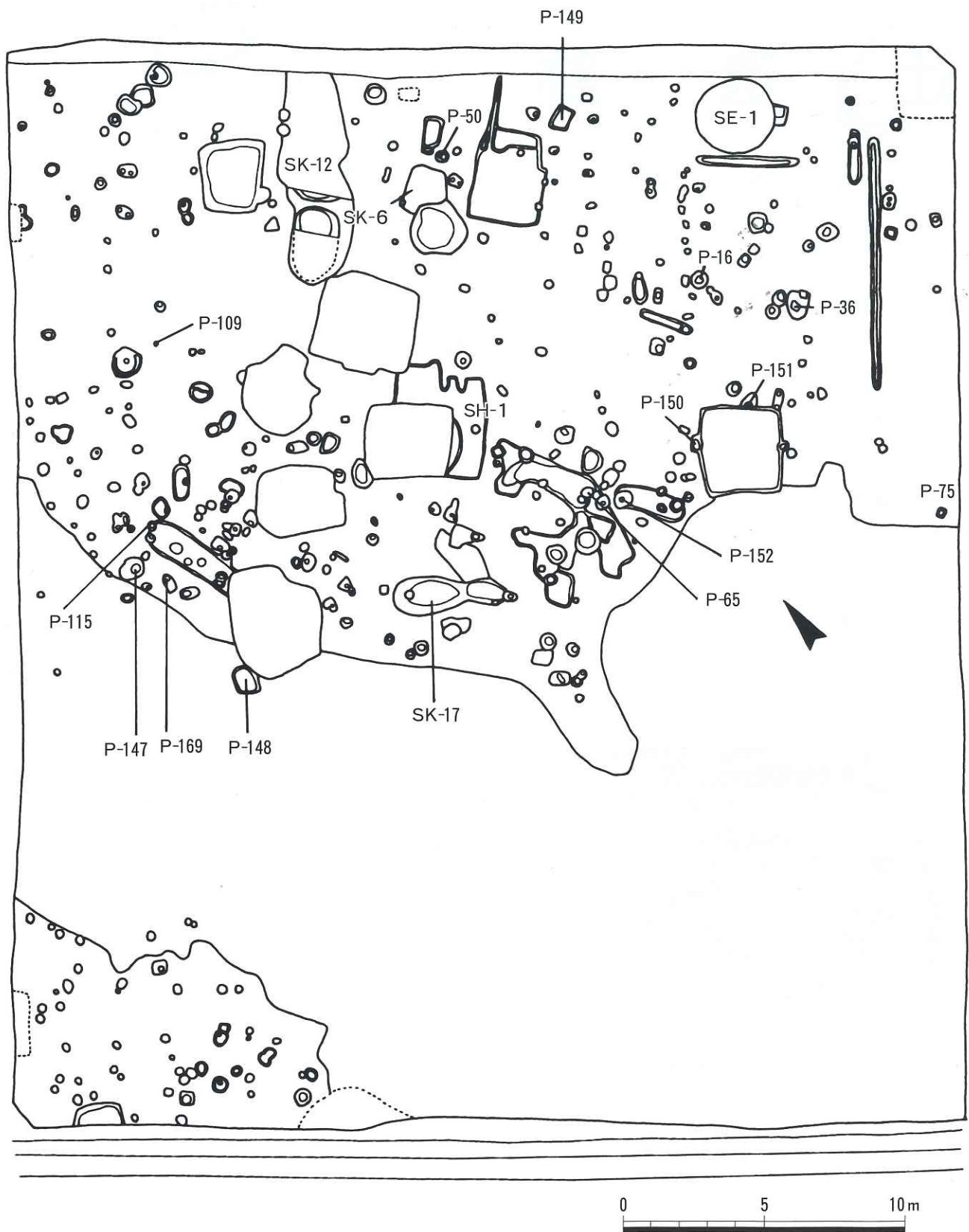


図2 調査地遺構図

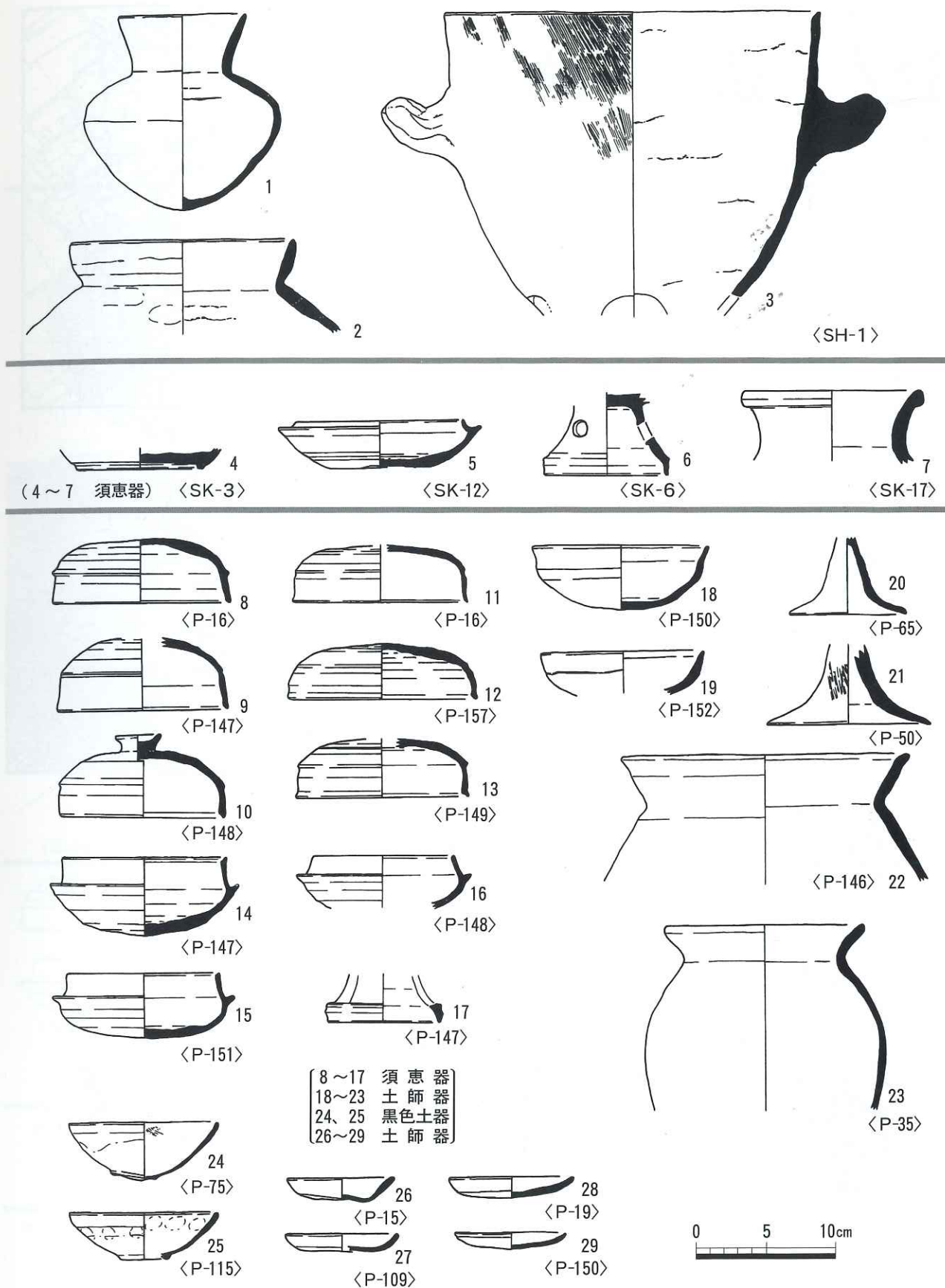


図3 出土遺物実測図

3. 辻 遺 跡

(つじ・84R003-03)

所在地	栗東町辻字久保田482-4 他
	北緯 35° 02' 14"
	東経 136° 01' 06"
コード	321-003
調査期間	1984年10月19日～1984年12月14日
調査面積	1653m ²
調査原因	造成工事
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳時代～飛鳥時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、土坑、溝
主な遺物	須恵器、土師器、製塩土器、滑石製紡錘車、砥石
文 献	

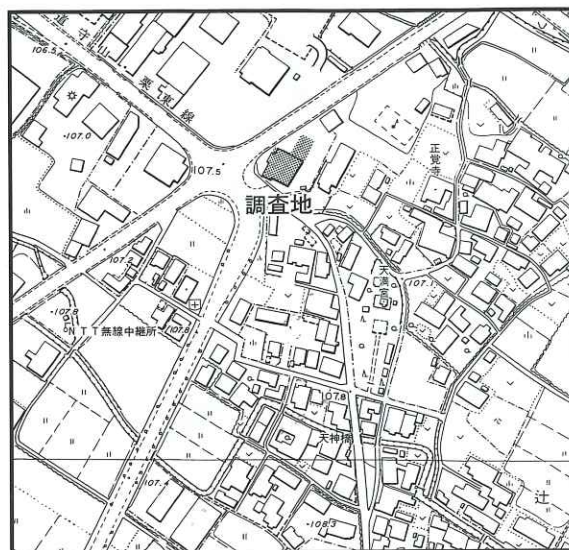


図1 調査地位置図



竪穴住居

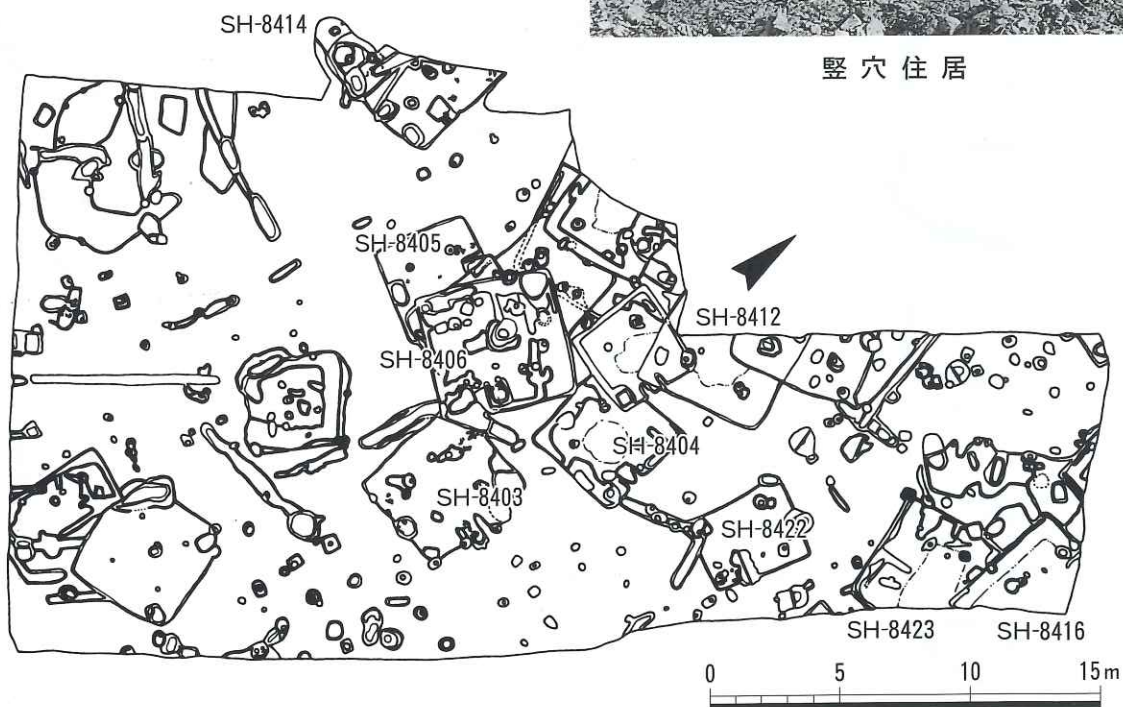


図2 調査地遺構図

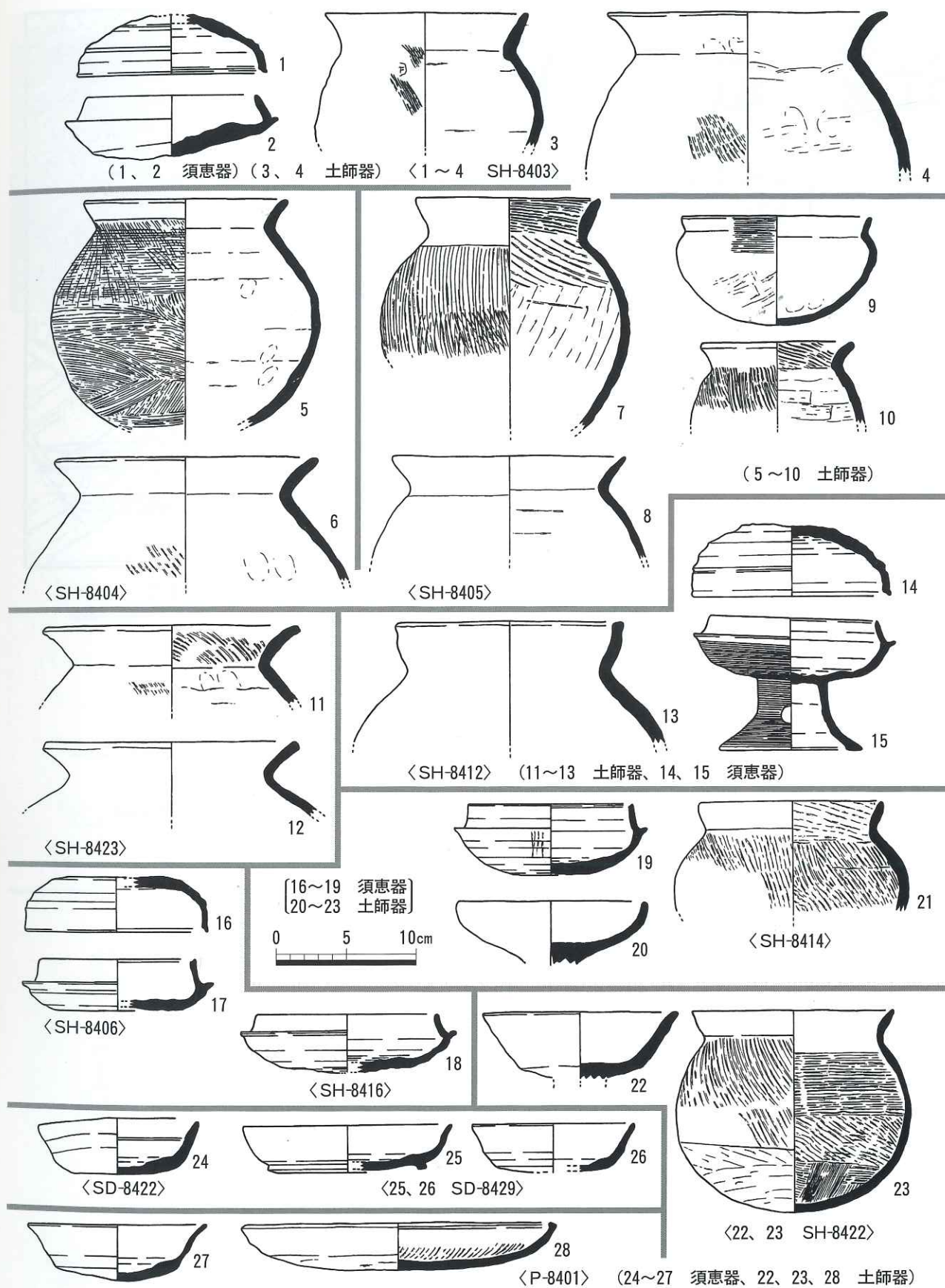


図3 出土遺物実測図

4. 辻 遺 跡

(つじ・84R003-02)

所在地	栗東町辻字高谷564-1 ほか 北緯 35° 02' 07" 東経 136° 00' 51"
コード	321-003
調査期間	1984年8月1日～10月27日
調査面積	2700㎡
調査原因	工場増築
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳時代～中世
主な遺構	竪穴住居、溝
主な遺物	須恵器、土師器、灰釉陶器、 緑釉陶器、土錘、金環、炉壁
文 献	



図1 調査地位置図

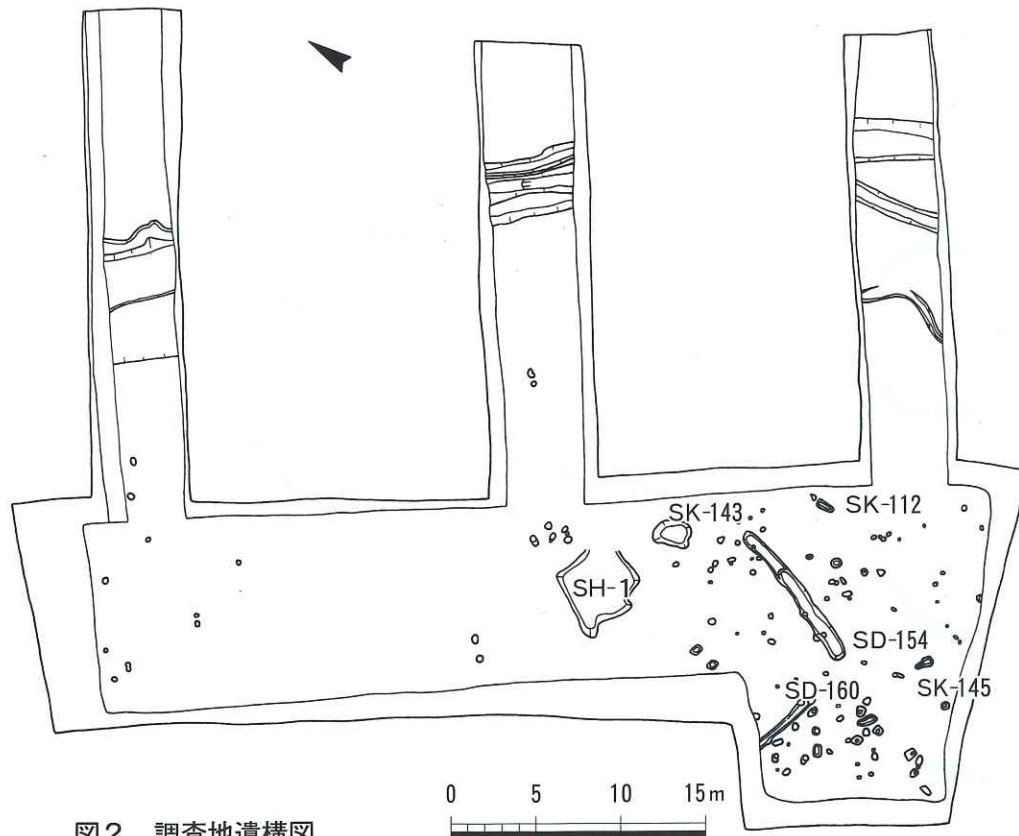
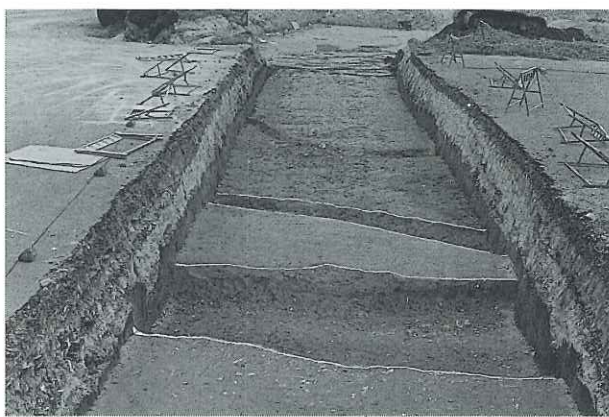


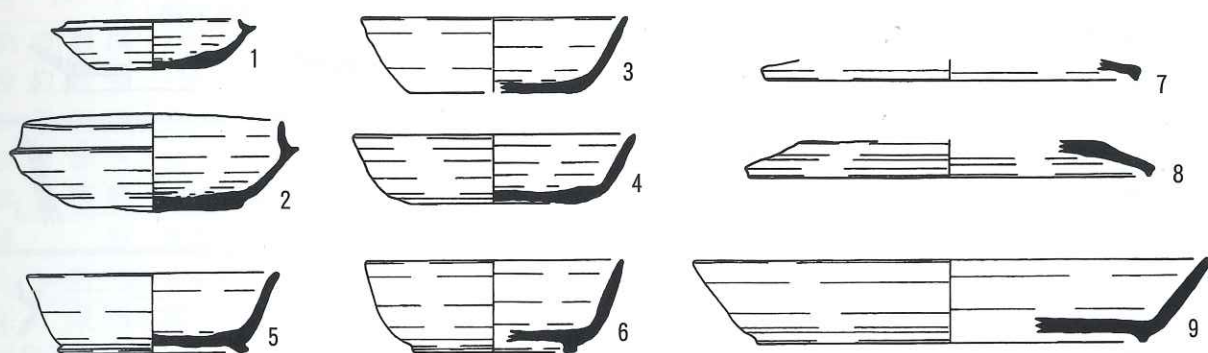
図2 調査地遺構図



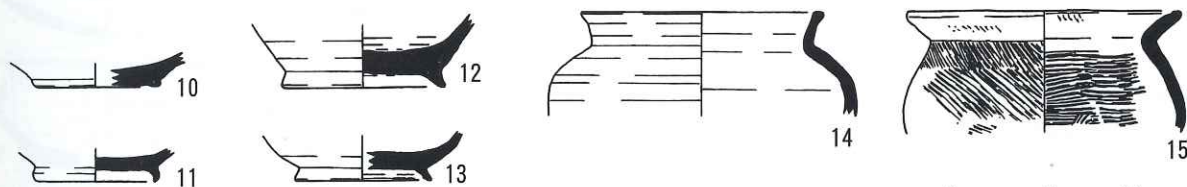
調査区南隅



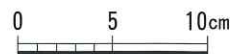
大溝



(1~9、12、14 須恵器、10、11 灰釉陶器、13 緑釉陶器、15 土師器)



〈大溝〉



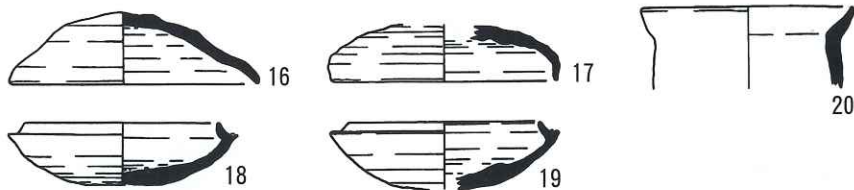
○ 27



○ 28

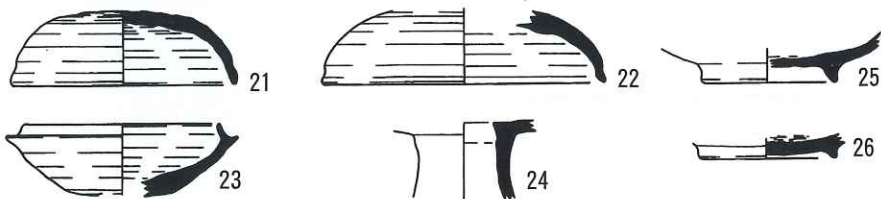


(金環) 〈ビット〉



(16~19 須恵器、20 土師器)

〈SH-1〉



(21~24 須恵器、25 灰釉陶器、26 黒色土器)

〈包含層〉

図3 出土遺物実測図

5. 辻 遺 跡

(つじ・84R003-05)

所在地	栗東町辻字ボケ塚524-1
	北緯 35° 02' 10"
	東経 136° 01' 00"
コード	321-003
調査期間	1985年3月4日～3月16日
調査面積	960㎡
調査原因	造成工事
調査担当	大崎隆志
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	古墳時代～中世
主な遺構	流路、土坑
主な遺物	須恵器、土師器、黑色土器
文 献	

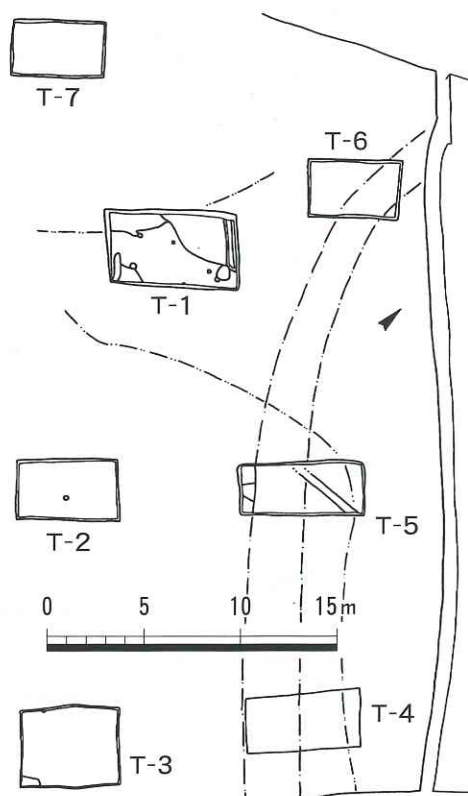


図3 調査地遺構図

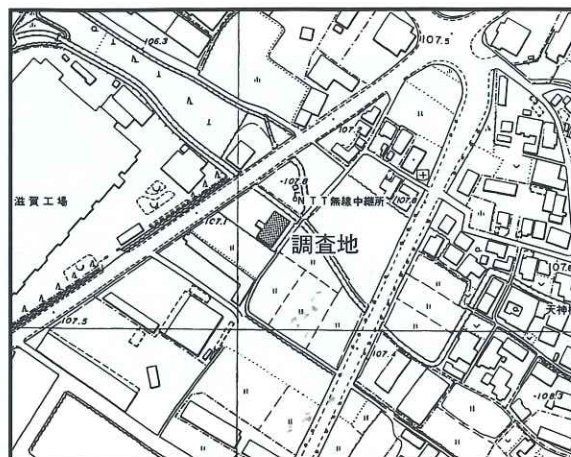


図1 調査地位置図

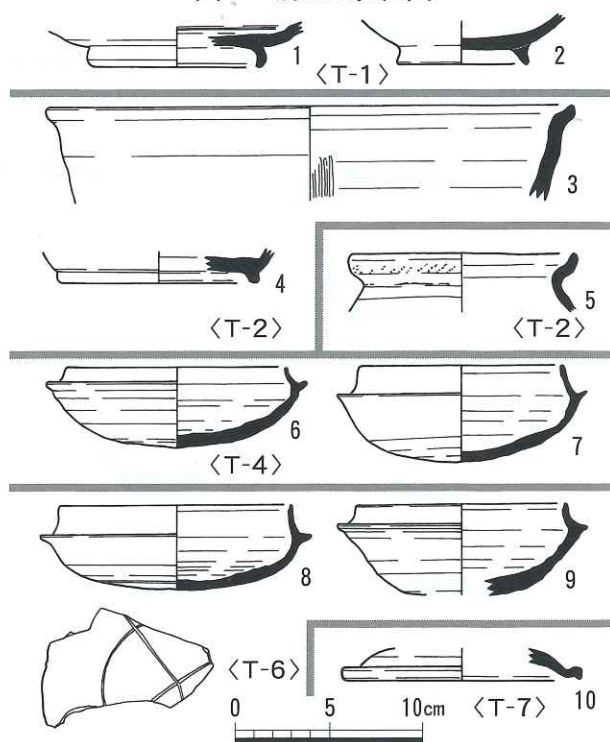
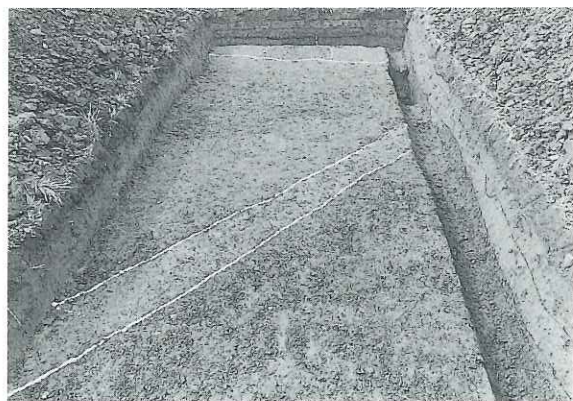


図2 出土遺物実測図

(1, 2 灰釉陶器、3 陶器、5 土師器、4, 6～10 須恵器)



T-5 全景

6. 林(大塚)遺跡

(はやしおおつか・84R009-01)

所在地	栗東町林186-2
	北緯 35° 01' 28"
	東経 136° 01' 38"
コード	321-009
調査期間	1984年12月12日～12月15日
調査面積	110m ²
調査原因	個人用住宅
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝、土坑、攪乱
主な遺物	
文献	

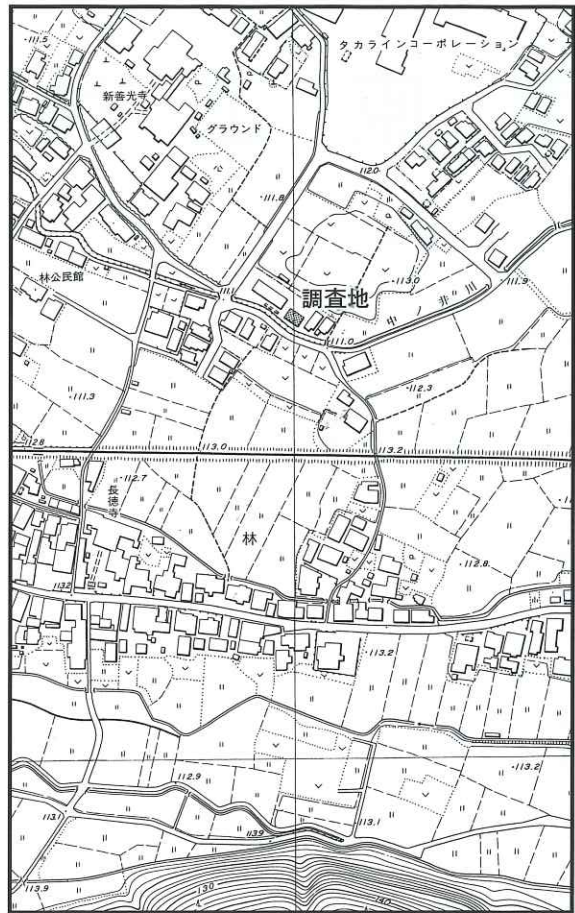


図1 調査地位置図

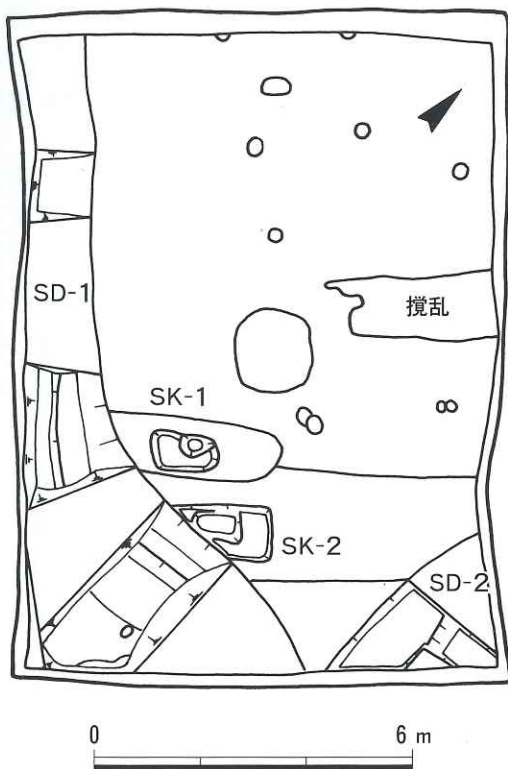
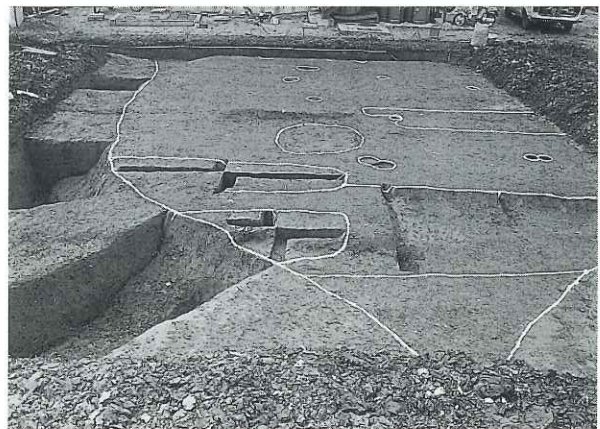


図2 調査地遺構図



調査地全景

大塚古墳の南側に位置する。西隣接地が1981年に発掘調査されており、古墳時代後期の溝状遺構が検出され、須恵器が出土している。本調査区で検出された溝は、1981年に出土した溝に続くものである可能性がある。

7. 手 原 遺 跡

(てはら・84R025-02)

所 在 地	栗東町手原字寅丸223-1、223-5
	北緯 35° 01' 31"
	東経 136° 00' 04"
コ ー ド	321-025
調 査 期 間	1985年1月26日～2月24日
調 査 面 積	320m ²
調 査 原 因	造成工事
調 査 担 当	清水好洋
調 査 機 関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	官衙、集落
主 な 時 代	奈良・平安時代
主 な 遺 構	掘立柱建物、溝
主 な 遺 物	須恵器、土師器
文 献	

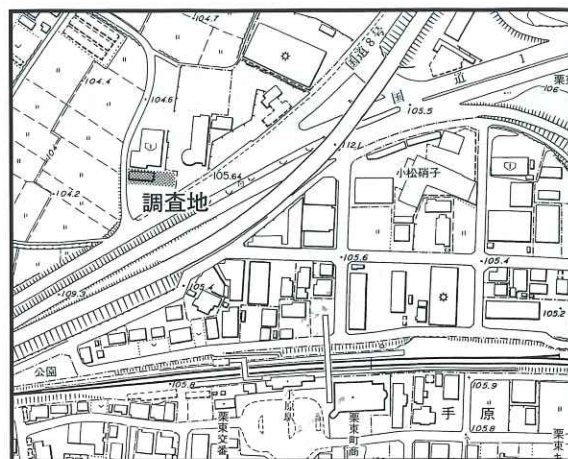
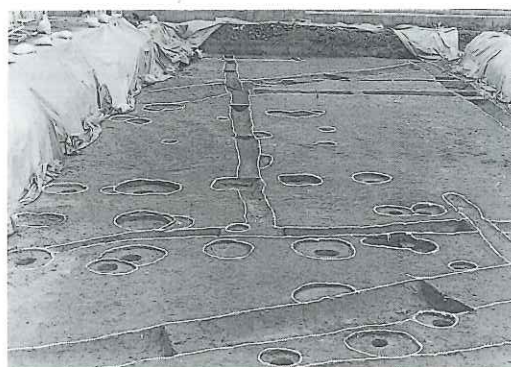


図1 調査地位置図



調査地全景

手原遺跡は正南北方向の地割が残ることや企画性の高い建物群が存在することから、古代寺院や官衙としての可能性が考えられている。本調査地は総柱建物群が集中してみつかる地区の北に位置し、4間×2間の側柱建物が検出されている。本調査区の北東約100mの地点でも同様の建物が検出されており、総柱建物群よりも北側の一帯が、側柱建物によって構成されていたことが伺える。

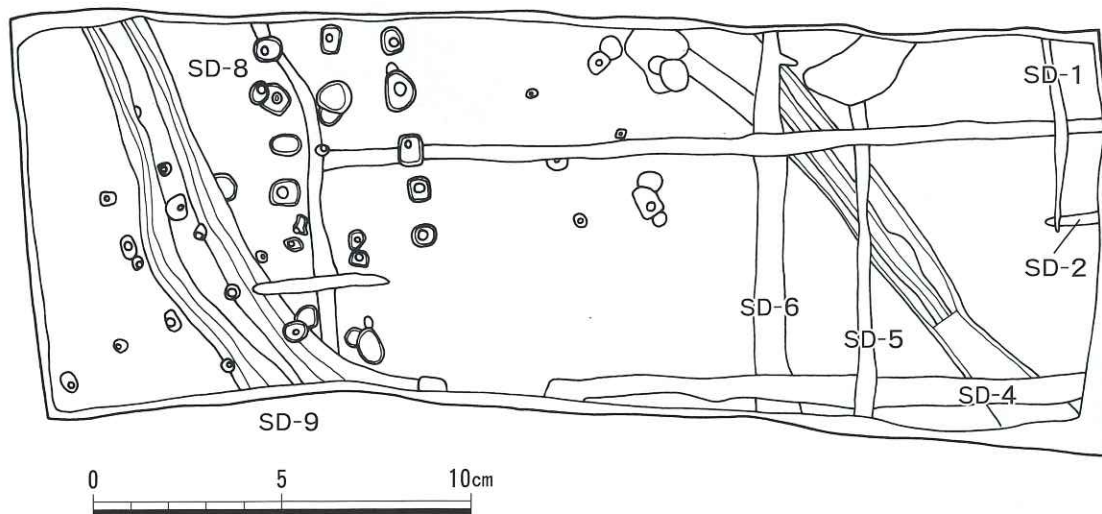


図2 調査地遺構図

9. 手 原 遺 跡

(てはら・84R025-01)

所 在 地	栗東町手原字里ノ内932
	北緯 35° 01' 24"
	東経 136° 00' 15"
コ ー ド	321-025
調 査 期 間	1984年10月
調 査 面 積	389.79m ²
調 査 原 因	共同住宅建設
調 査 担 当	松村 浩
調 査 機 関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落、寺院、官衙
主 な 時 代	
主 な 遺 構	特になし
主 な 遺 物	特になし
文 献	

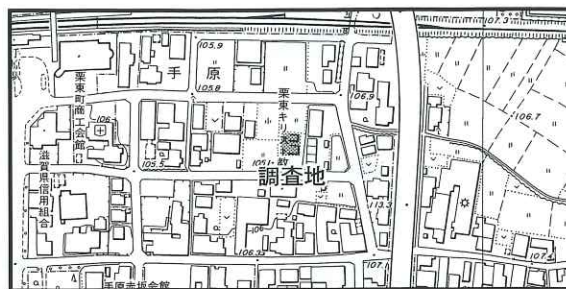
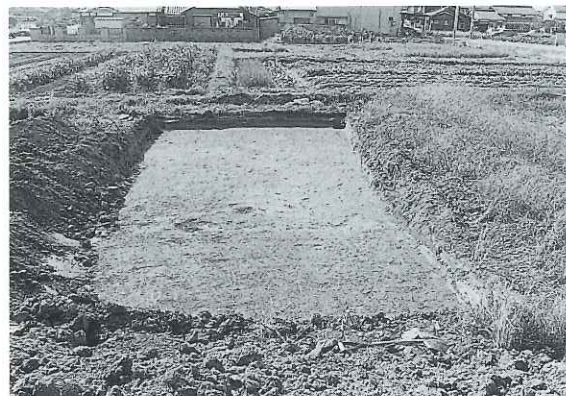


図1 調査地位置図



北側トレンチ全景

10. 手 原 遺 跡

(てはら・84R025-03)

所 在 地	栗東町手原字里ノ内951-1
	北緯 35° 01' 23"
	東経 136° 00' 12"
コ ー ド	321-025
調 査 期 間	1985年2月2日～2月5日
調 査 面 積	157m ²
調 査 原 因	個人用住宅
調 査 担 当	松村 浩
調 査 機 関	栗東町教育委員会
種 別	集落、寺院、官衙
主 な 時 代	
主 な 遺 構	特になし
主 な 遺 物	特になし
文 献	

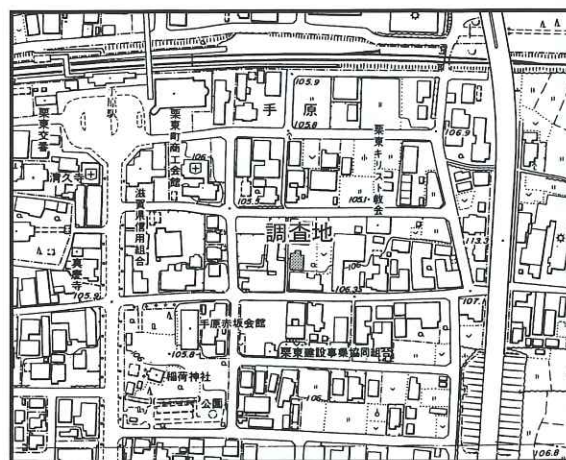


図1 調査地位置図

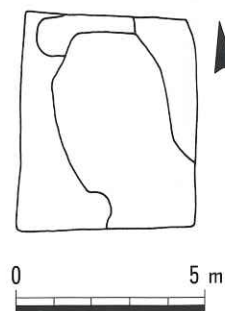


図2 調査地遺構図

11. 中 沢 遺 跡

(なかざわ・84R034-01)

所 在 地	栗東町中沢248-3
	北緯 35° 01' 27"
	東経 135° 58' 27"
コ ー ド	321-034
調 査 期 間	1985年3月23日～3月30日
調 査 面 積	280㎡
調 査 原 因	個人用住宅
調 査 担 当	松村 浩
調 査 機 関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主 な 時 代	弥生時代
主 な 遺 構	溝
主 な 遺 物	弥生土器、陶磁器
文 献	

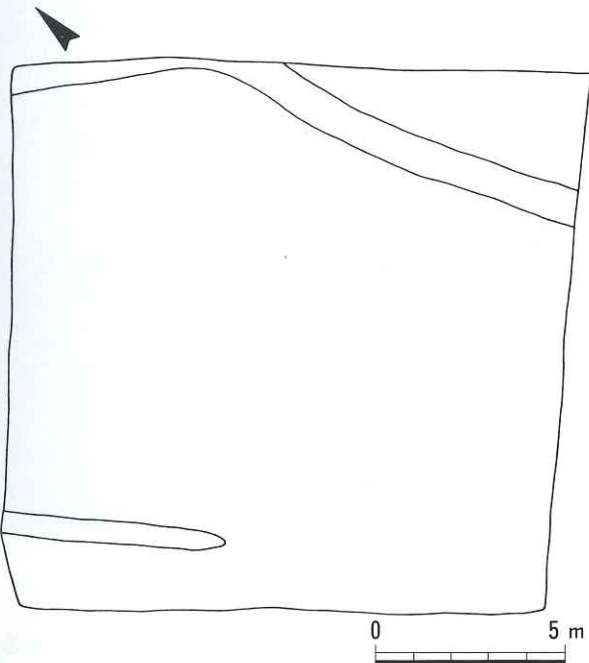


図2 調査地遺構図

で、南側調査区で発見された導水のためと考えられる溝の一部である可能性がある。

本調査では掘削が行われず、詳細な時期は不明であるが中沢遺跡の弥生から古墳時代における集落の広がりを知る上で貴重な資料となった。

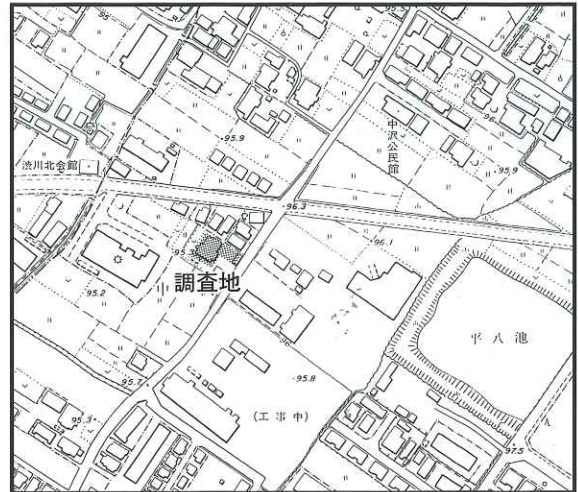
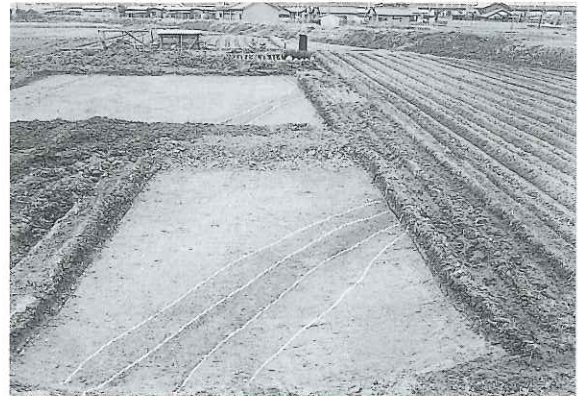
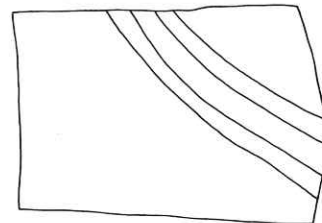


図1 調査地位置図



調査地全景



中沢遺跡は葉山川中流域の左岸に位置し、弥生時代前期以降の様々な遺構遺物が検出されている。特に本調査区の南側では、葉山川の支流とみられる河道が発見され、弥生時代中期から古墳時代の遺構が多く発見されている。この河道から弥生時代中期後半から古墳時代の溝が分かれているものと見られており、導水溝の可能性が考えられている。

本調査区で発見された溝は、幅1.8m程度のもの

12. 椿山遺跡

(つばきやま・84R039-01)

所在地	栗東町安養寺字池ノ浦654-1 他 北緯 35° 01' 01" 東経 135° 59' 57"
コード	321-039
調査期間	1984年6月13日～8月4日
調査面積	1946.43m ²
調査原因	保育園新設
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	墳墓、集落
主な時代	古墳～奈良時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	須恵器、土師器
文献	

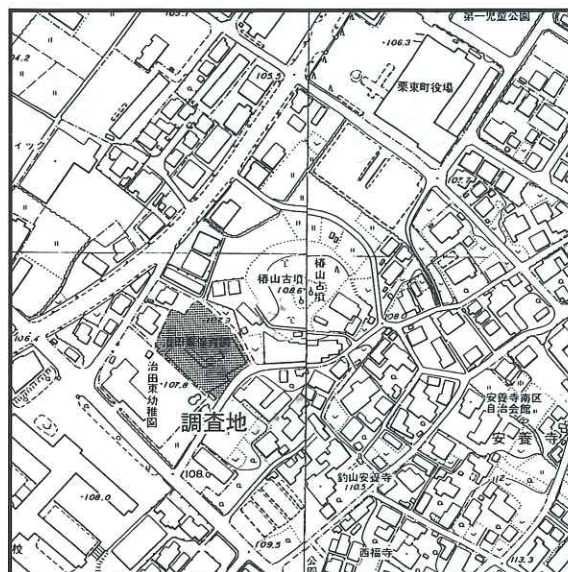


図1 調査地位置図



調査地全景

椿山古墳は全長99mを測る帆立貝式古墳である。本調査地は椿山古墳前方部周溝の南側に隣接する地点に位置し、奈良～平安時代の溝が検出され、当該期の須恵器・土師器が多く出土した。本調査区の北西に近接する狐塚遺跡では、白鳳～奈良時代の集落

13. 椿山遺跡

(つばきやま・84R039-02)

所在地	栗東町安養寺字池ノ浦667-2、665-2 北緯 35° 01' 00" 東経 135° 59' 58"
コード	321-039
調査期間	1984年7月26日～7月31日
調査面積	97.46m ²
調査原因	下水道工事
調査担当	清水好洋
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	墳墓、集落
主な時代	古墳～奈良時代
主な遺構	溝
主な遺物	
文献	

が発見されており、当地周辺に律令期の集落が広がっていたことが予想される。

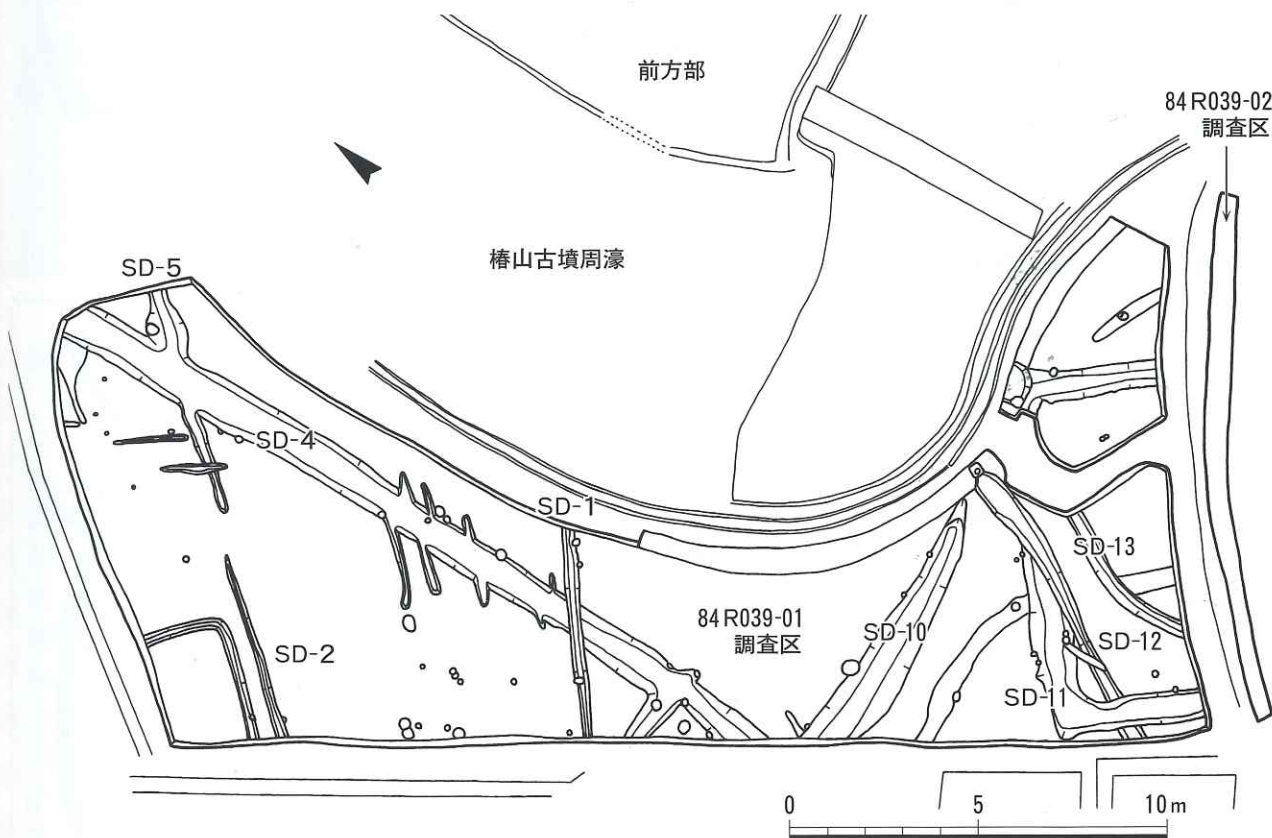


図2 調査地遺構図

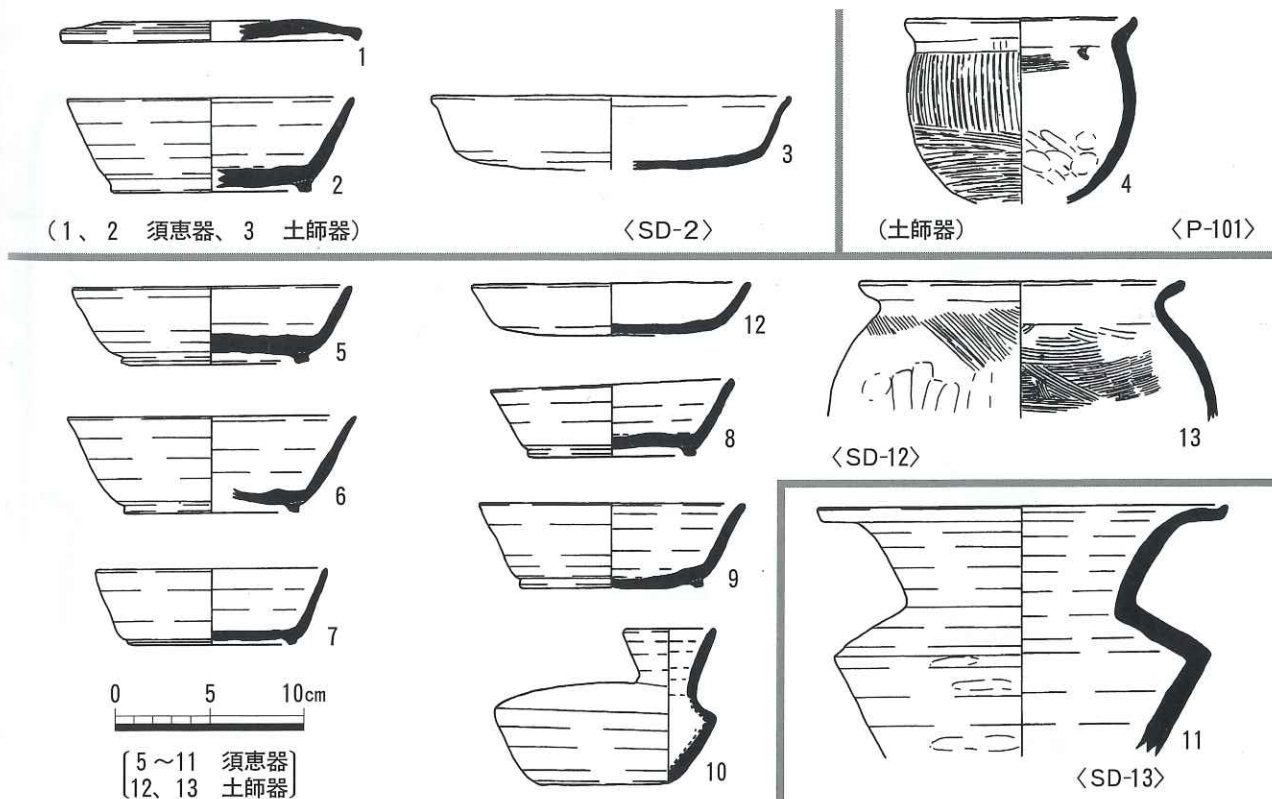
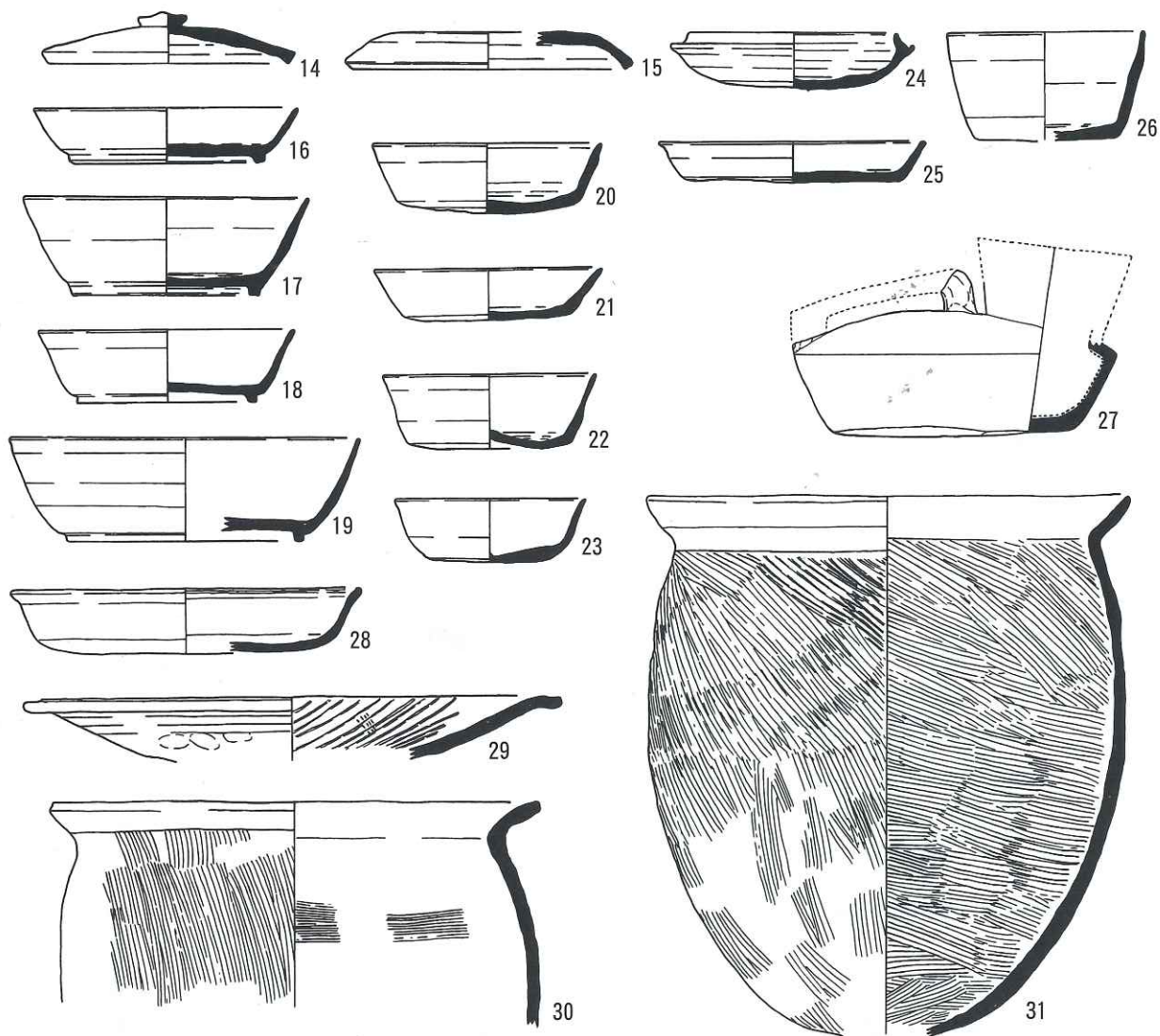
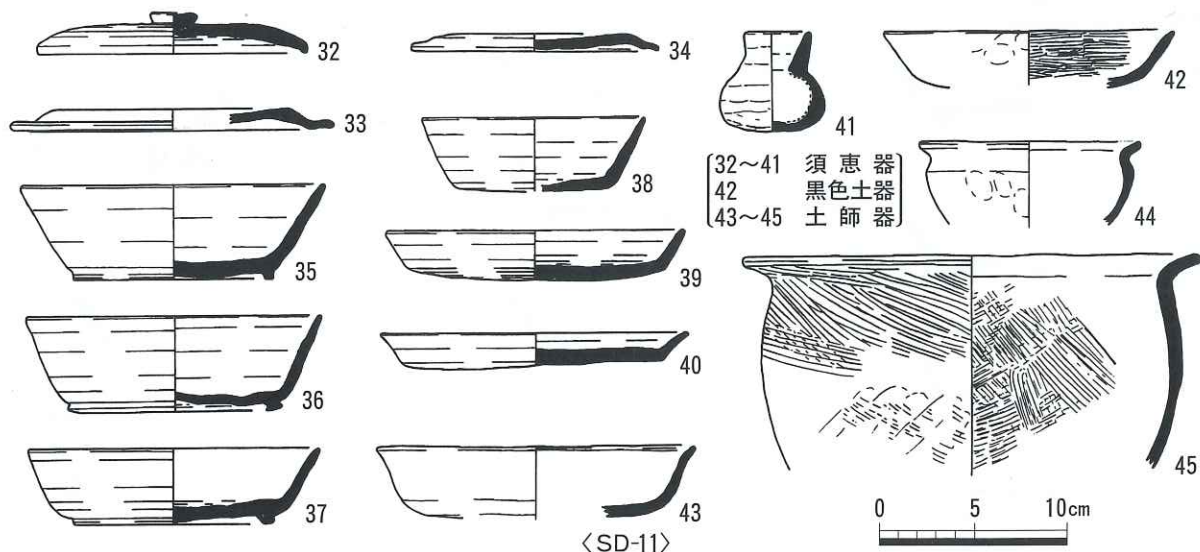


図3 出土遺物実測図①



(14~27 須恵器、28~31 土師器)

<SD-10>



(32~41 須恵器
42 黒色土器
43~45 土師器)

<SD-11>

図4 出土遺物実測図②

14. 緒 遺 跡

(へそ・84R093-01)

所在地	栗東町北中小路字小田中158-5
	北緯 35° 02' 27"
	東経 135° 58' 38"
コード	321-093
調査期間	1985年2月26日～2月28日
調査面積	50m ²
調査原因	農用倉庫建設
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	中世
主な遺構	溝
主な遺物	土師器、須恵器
文 献	



図1 調査地位置図

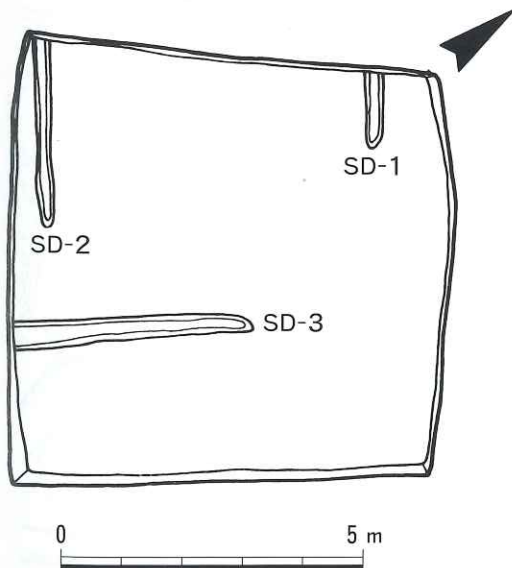


図2 調査地遺構図



調査地全景

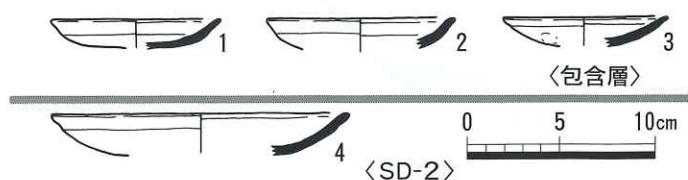


図3 出土土師器実測図

15. 道久谷遺跡

(どきのたに・84R084-01)

所在地	栗東町井上地先
	北緯 34° 58' 53"
	東経 136° 01' 56"
コード	321-084
調査期間	1984年8月8日～10月20日
調査面積	30,000㎡
調査原因	圃場整備
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	平安時代～中世
主な遺構	掘立柱建物、土坑
主な遺物	須恵器、土師器、黑色土器、瓦器
文献	

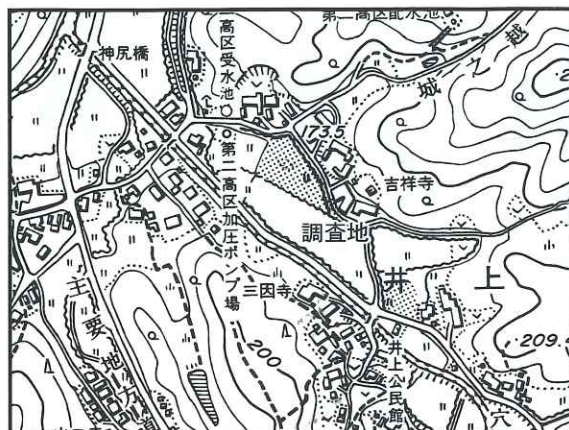


図1 調査地位置図 (S=1/10,000)



T-9全景



図2 トレンチ位置図

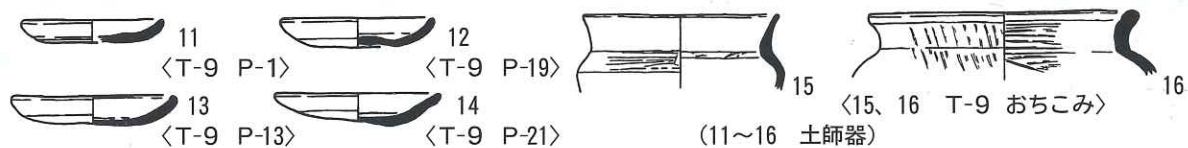
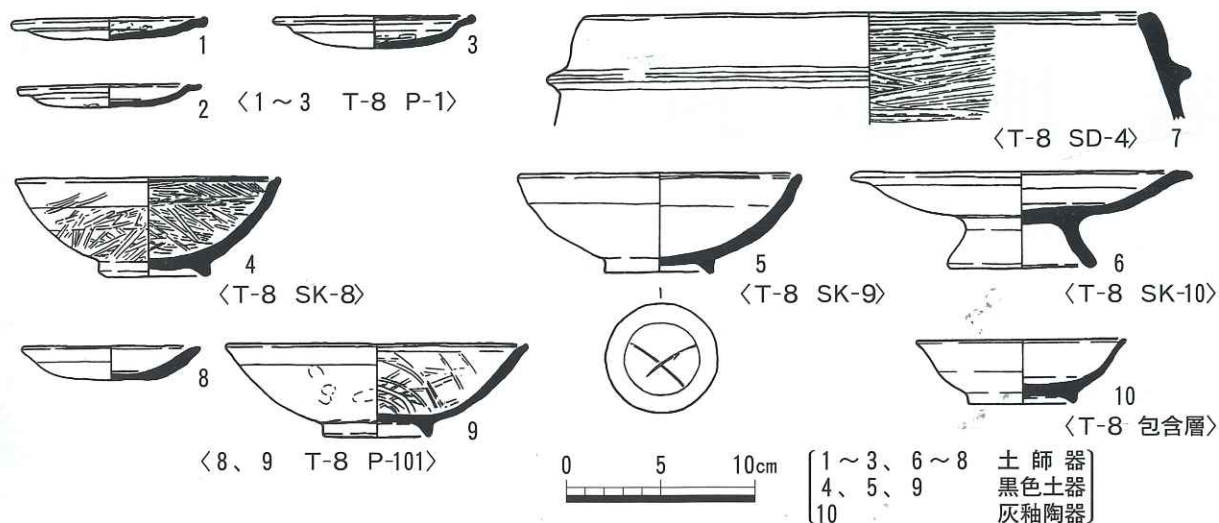


図3 出土遺物実測図



図4 調査地遺構図

16. 岩 畑 遺 跡

(いわはた・84R085-01)

所 在 地	栗東町高野字一ツ橋472-1 他
	北緯 35° 01' 45"
	東経 136° 01' 14"
コ ー ド	321-085
調 査 期 間	1984年9月17日~10月6日
調 査 面 積	3322.625m ²
調 査 原 因	宅地造成
調 査 担 当	平井寿一
調 査 機 関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主 な 時 代	古墳時代
主 な 遺 構	掘立柱建物、竪穴住居、溝
主 な 遺 物	須恵器、土師器、土馬、黒色土器、 緑釉陶器
文 献	

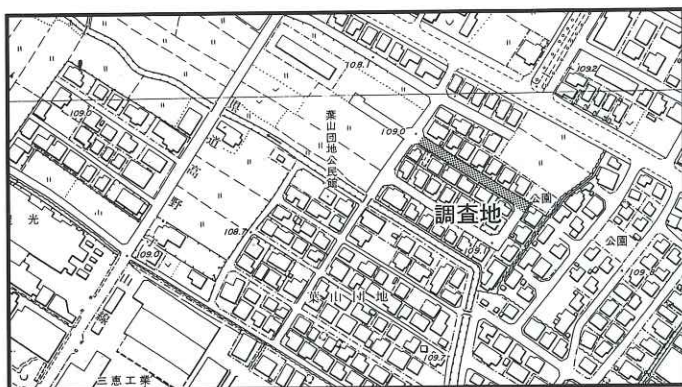


図1 調査地位置図



調査地南東部

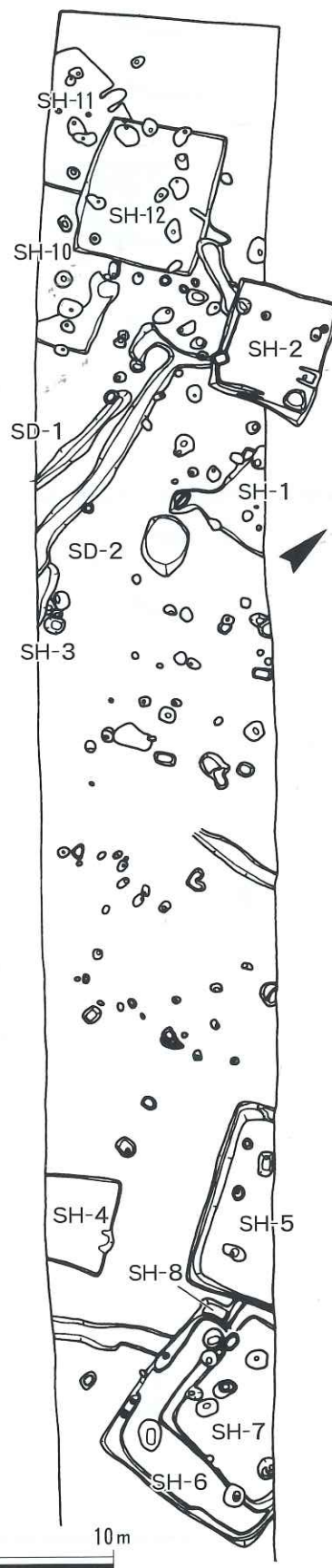


図2 調査地遺構図

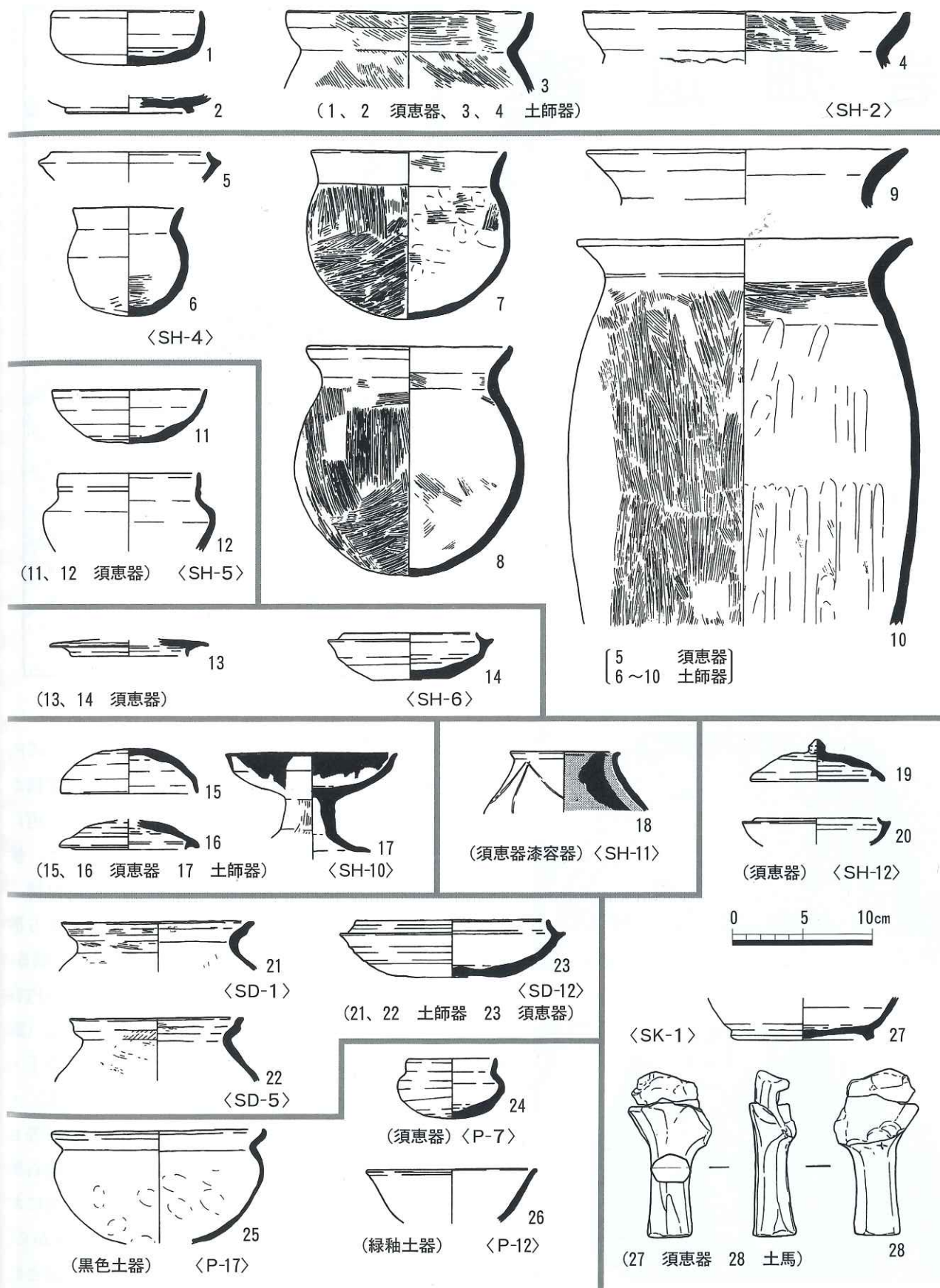


図3 出土遺物実測図

17. 岩 畑 遺 跡

(いわはた・84R085-02)

所 在 地	栗東町高野字岩畑721他
	北緯 35° 01' 51"
	東経 136° 01' 19"
コ ー ド	321-085
調 査 期 間	1984年11月21日～1986年3月31日
調 査 面 積	13,560 m ²
調 査 原 因	区画整理
調 査 担 当	平井寿一
調 査 機 関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落、墳墓
主 な 時 代	古墳時代～平安時代
主 な 遺 構	前方後方形周溝墓、竪穴住居
主 な 遺 物	須恵器、土師器、鉄製品、 製塩土器、滑石製品、緑釉陶器
文 献	①

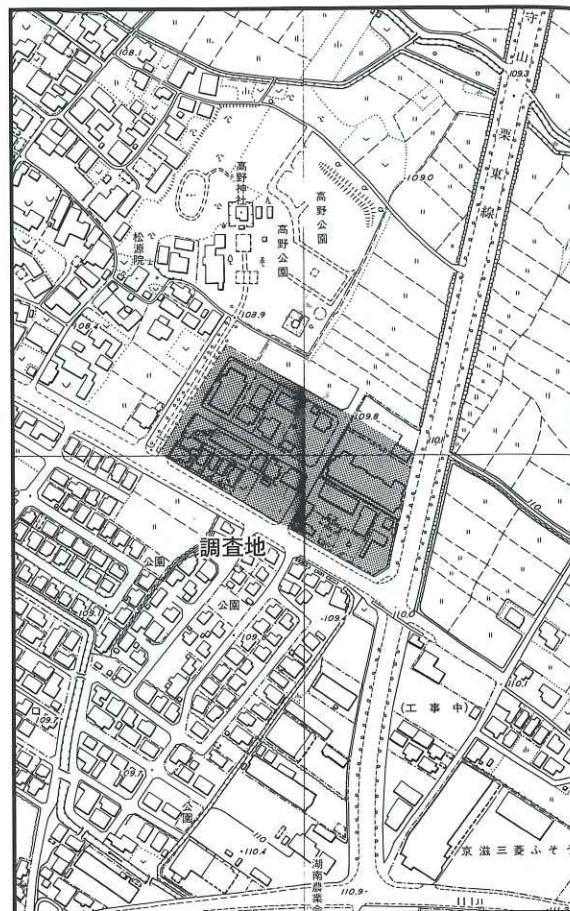


図1 調査地位置図



SH-12



SH-16

岩畑遺跡は野洲川左岸自然堤防状微高地に位置し、式内社の高野神社を中心に古墳時代を中心とする時期の遺構が高密度に分布する遺跡である。本調査区は高野神社の南に隣接する地点で、区画整理に伴い13560 m²が調査された。検出された遺構には、竪穴住居100棟以上、掘立柱建物9棟、前方後方形周溝墓、方形周溝墓、土坑がある。前方後方形周溝墓は全長21m、後方部11m、周溝の最大幅3mを測る。

遺物は竪穴住居を中心に多量に出土している。その内容としては須恵器・土師器・製塩土器をはじめ、鉄製品（鉄鏃・鉄剣・鎌・銚具・刀子・馬具等）玉類（ガラス小玉・メノウ製勾玉・碧玉製管玉・滑石製白玉・滑石製勾玉）・滑石製紡錘車などがある。ほかに滑石の未製品や原石等も出土しており、隣接する辻遺跡とともに本遺跡でも滑石製品の製作が行われていたことが伺える。また竪穴住居における鉄鏃の保有率が高く、鉄剣等も出土していることから、岩畑遺跡が軍事的な性格をもつムラではないかと想定されている（文献①）。

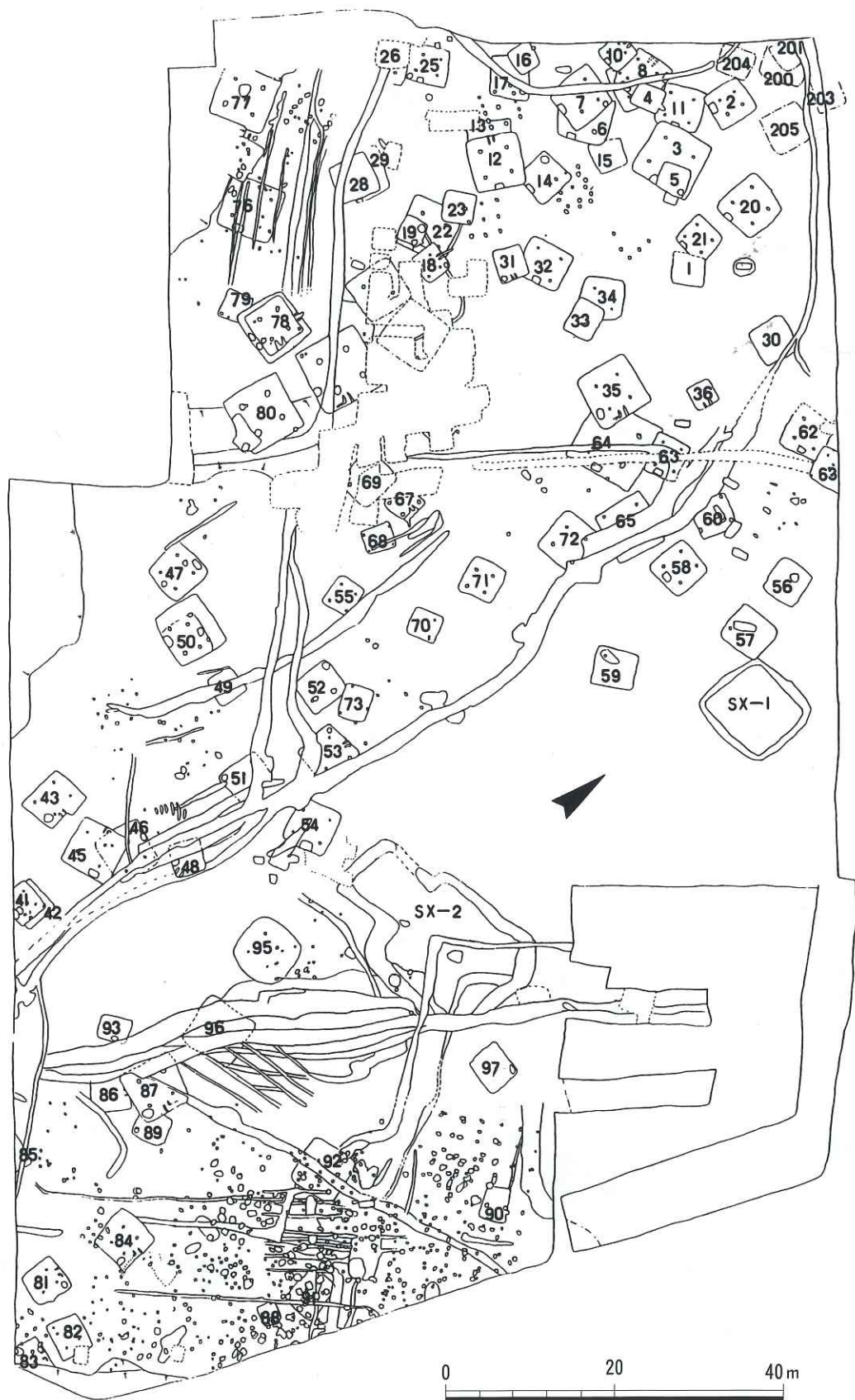


図2 調査地遺構図

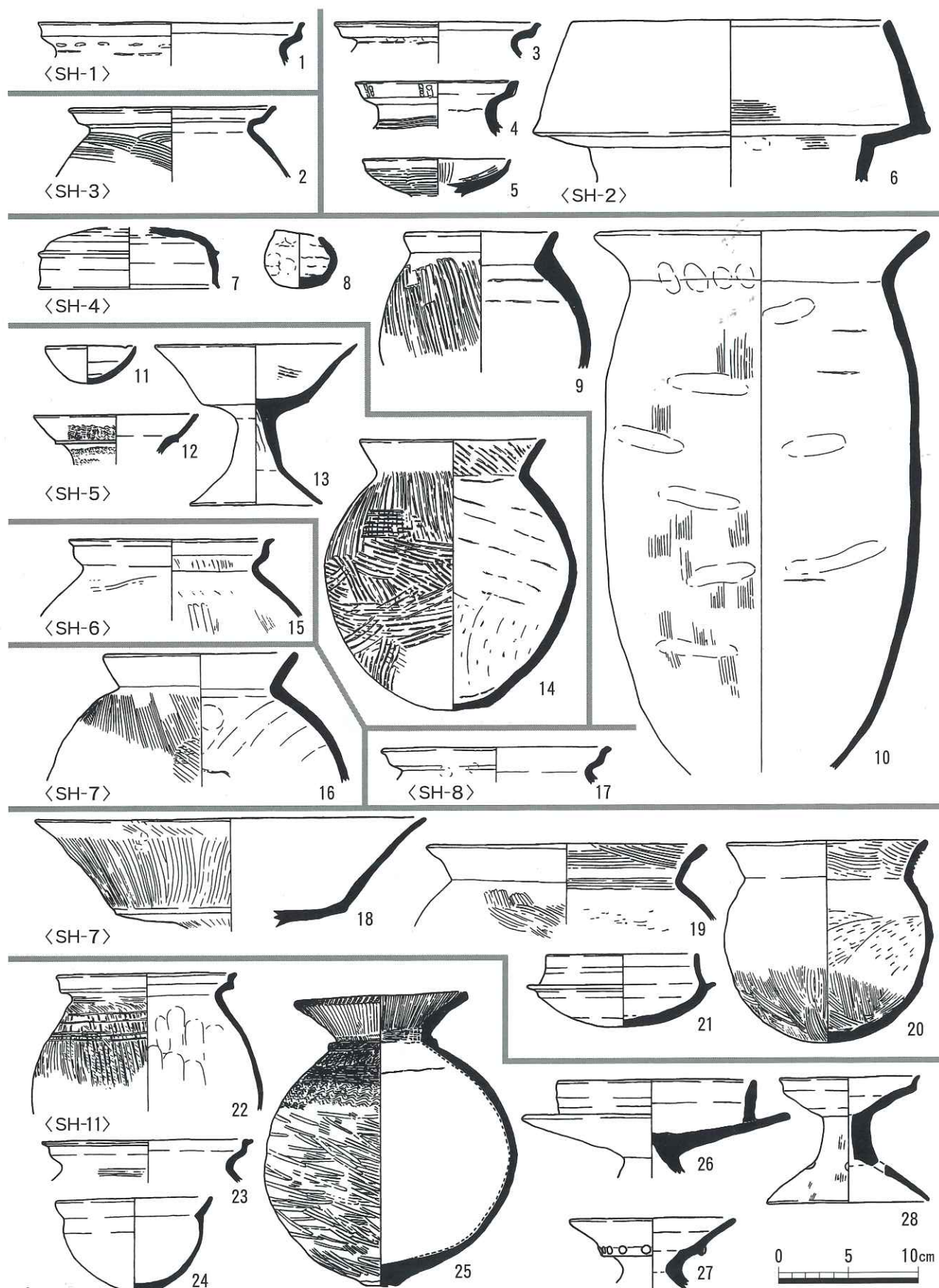


图3 出土遺物実測図①

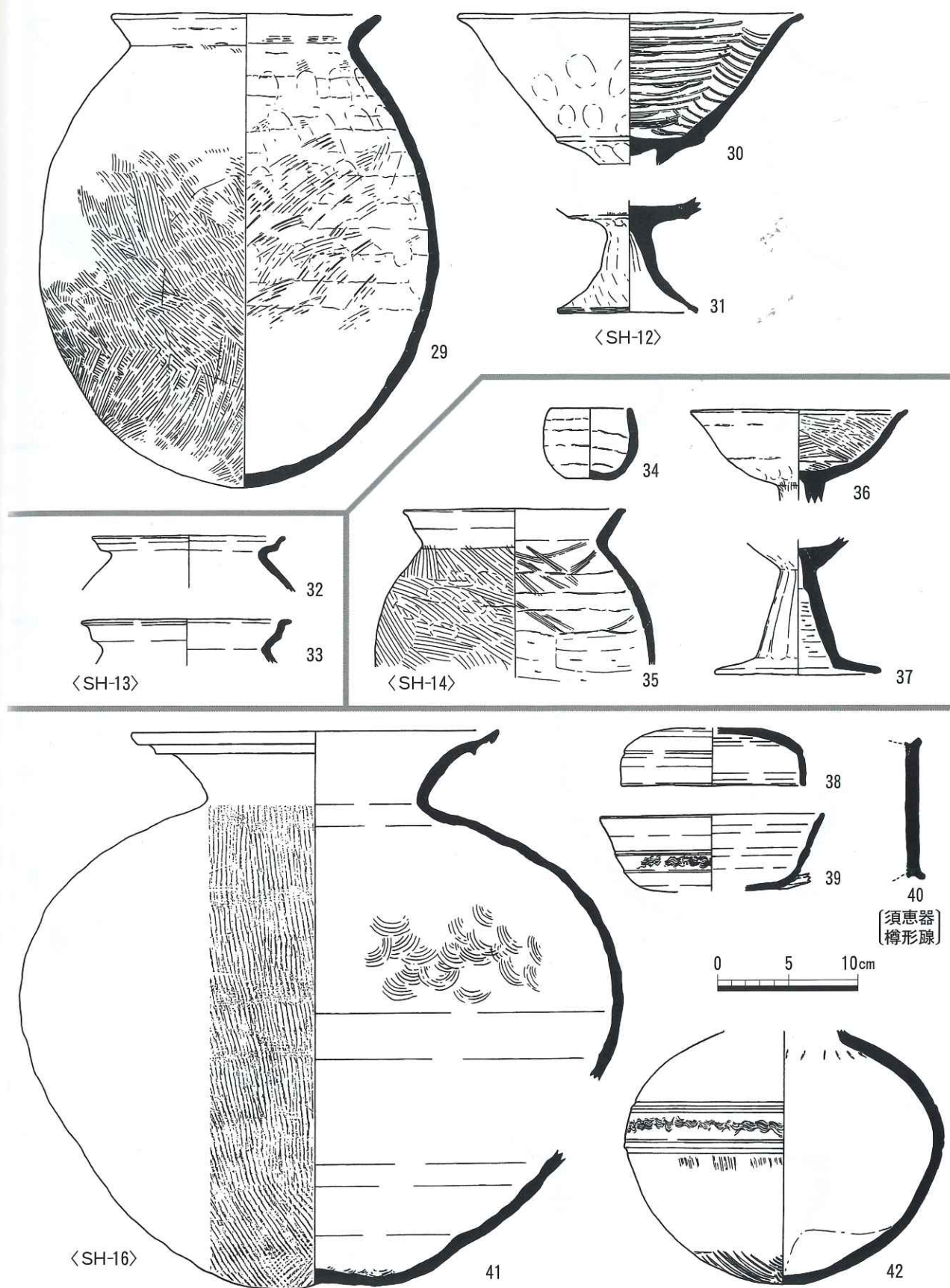


図4 出土遺物実測図②

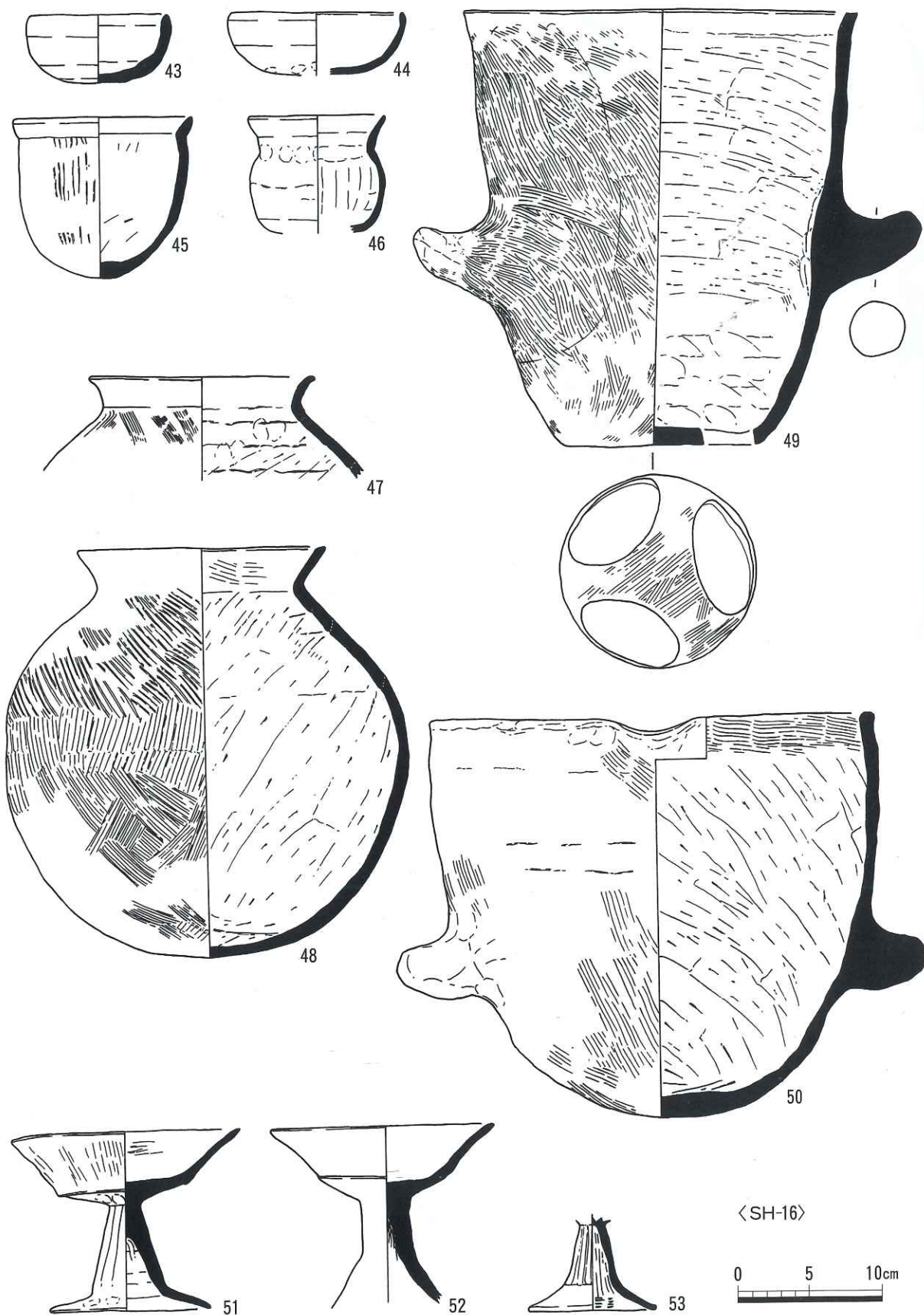


图5 出土遺物実測図③

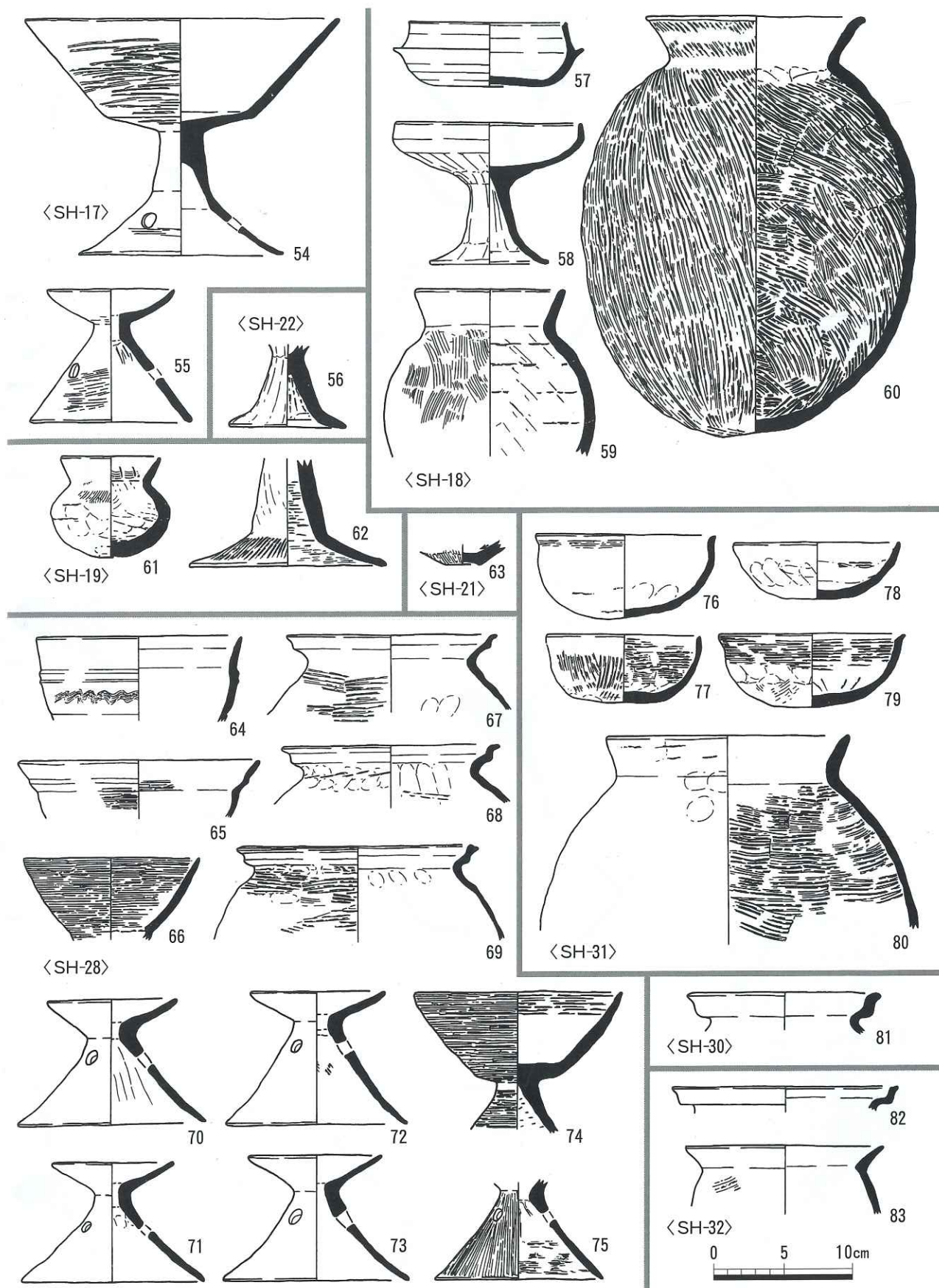


图6 出土遺物実測図④

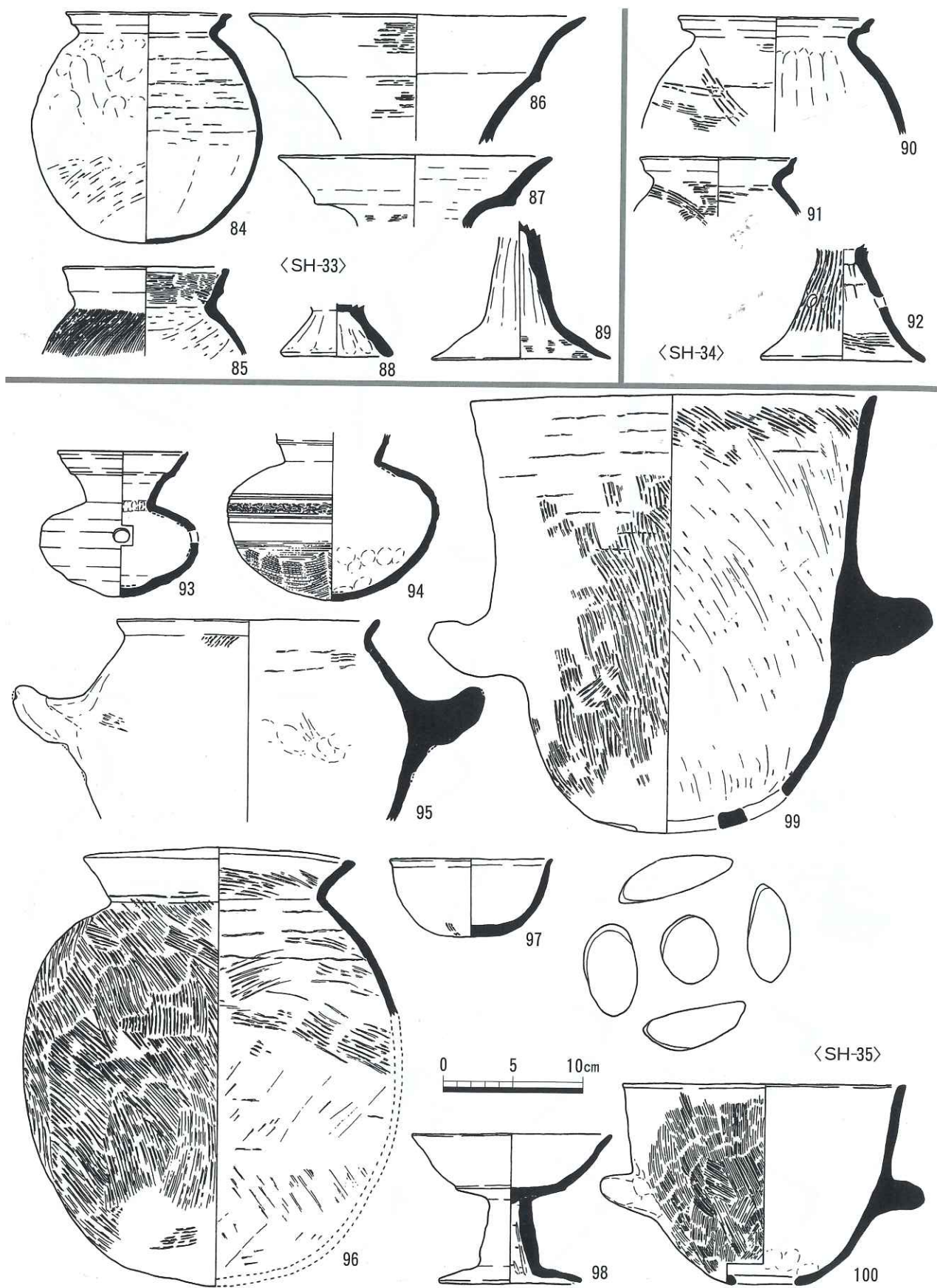


图7 出土遺物実測図⑤

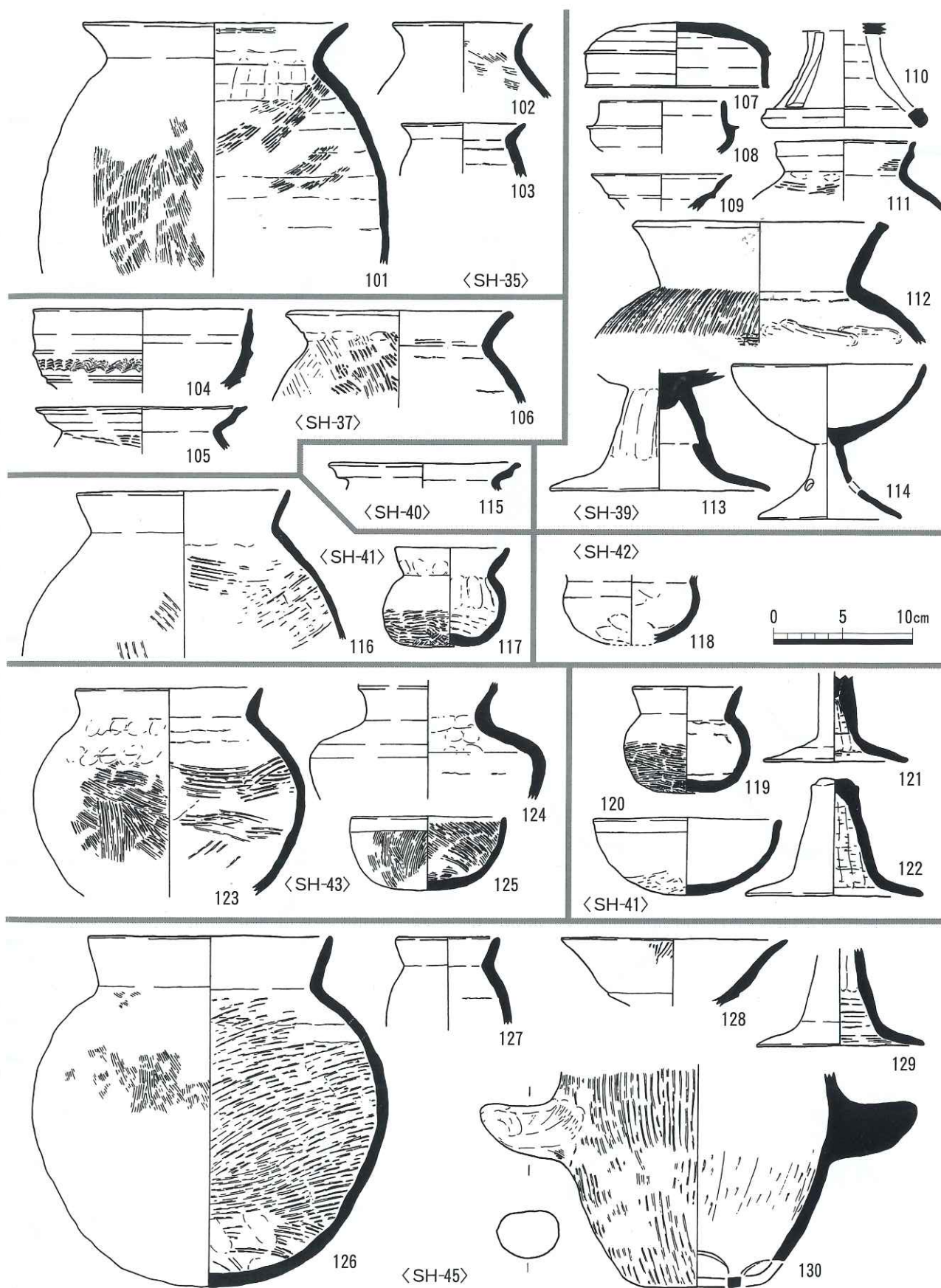


図8 出土遺物実測図⑥

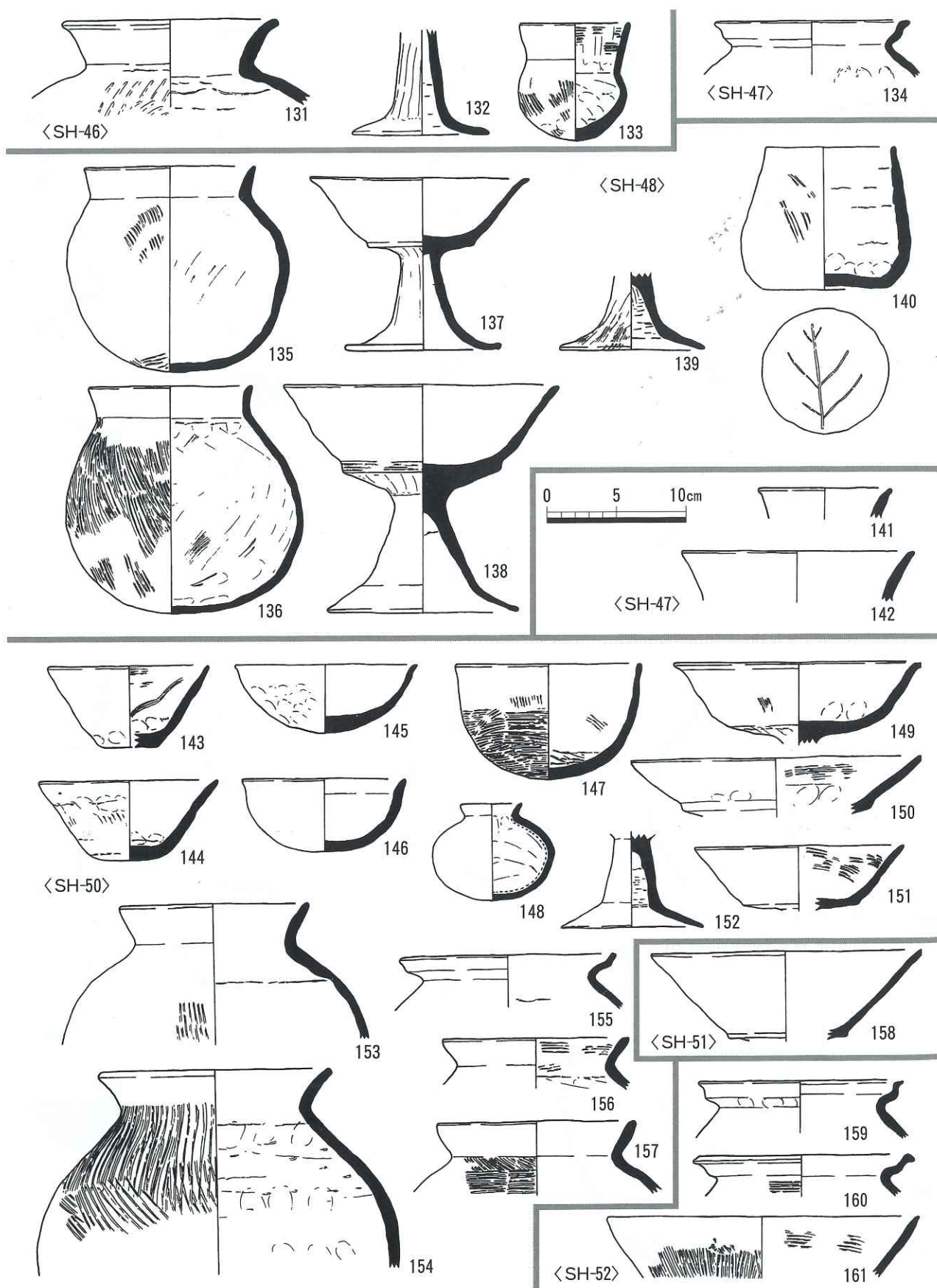


图9 出土遺物実測図⑦

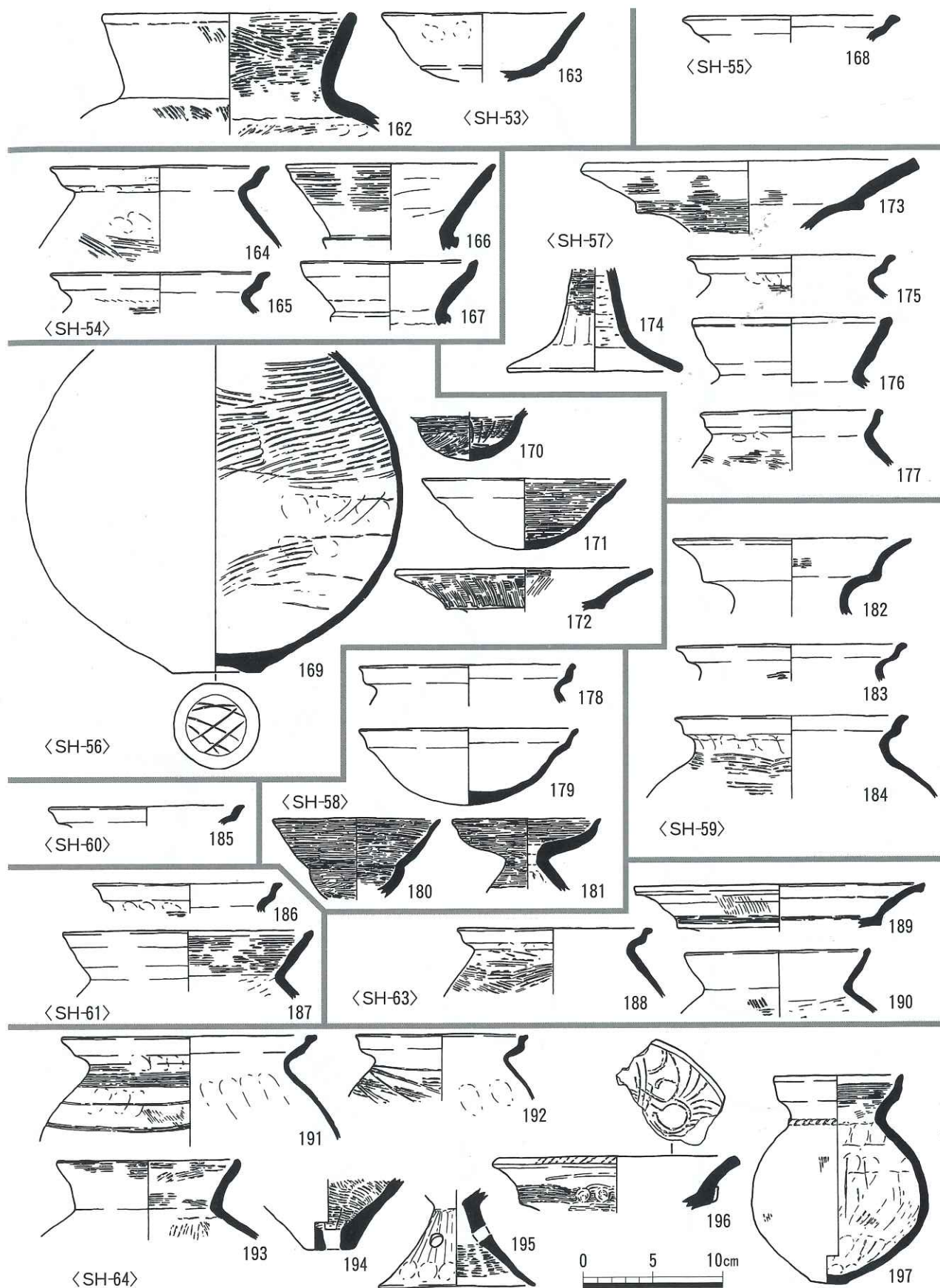


图10 出土遺物実測図⑧

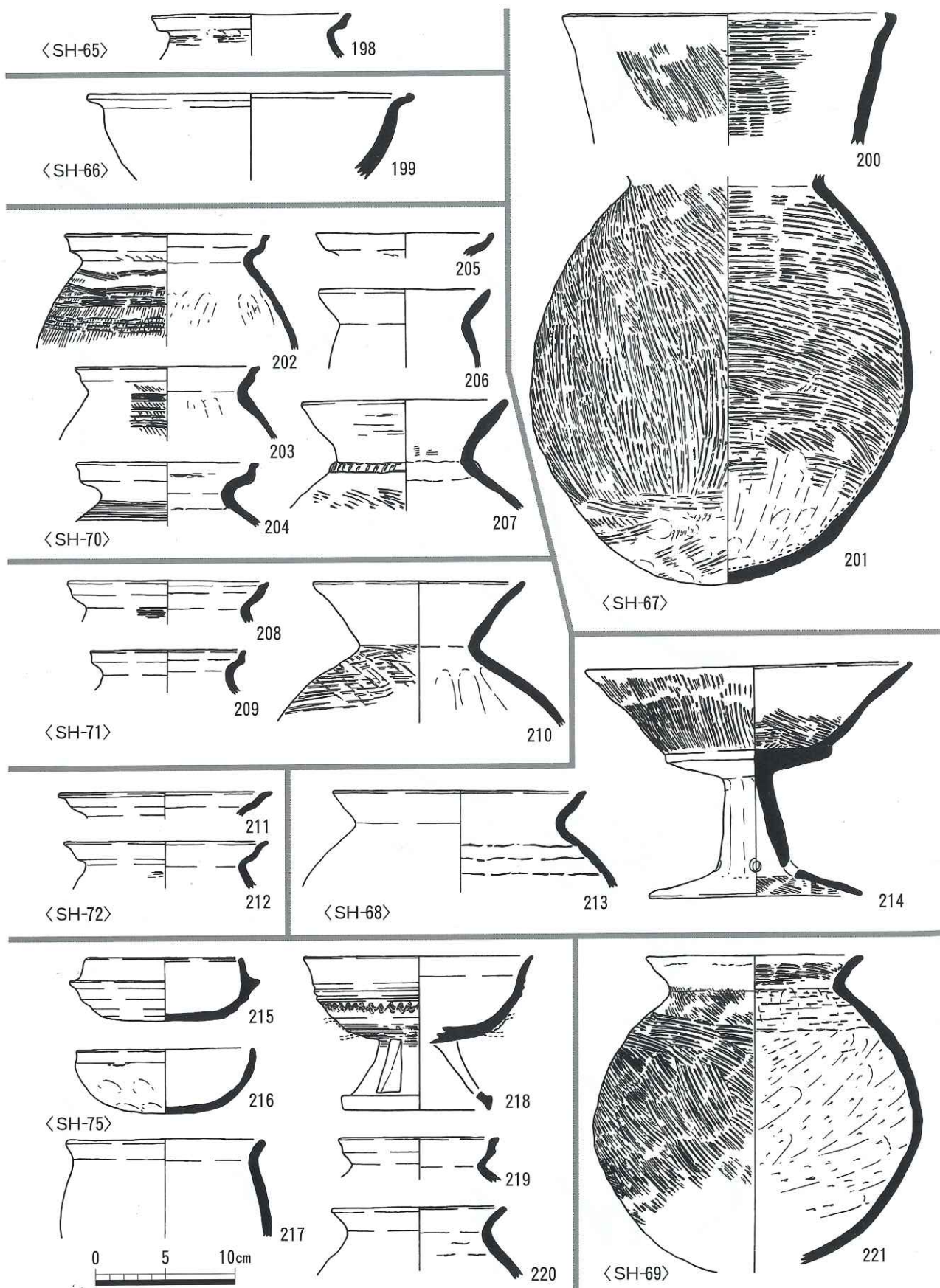


图11 出土遺物実測図⑨

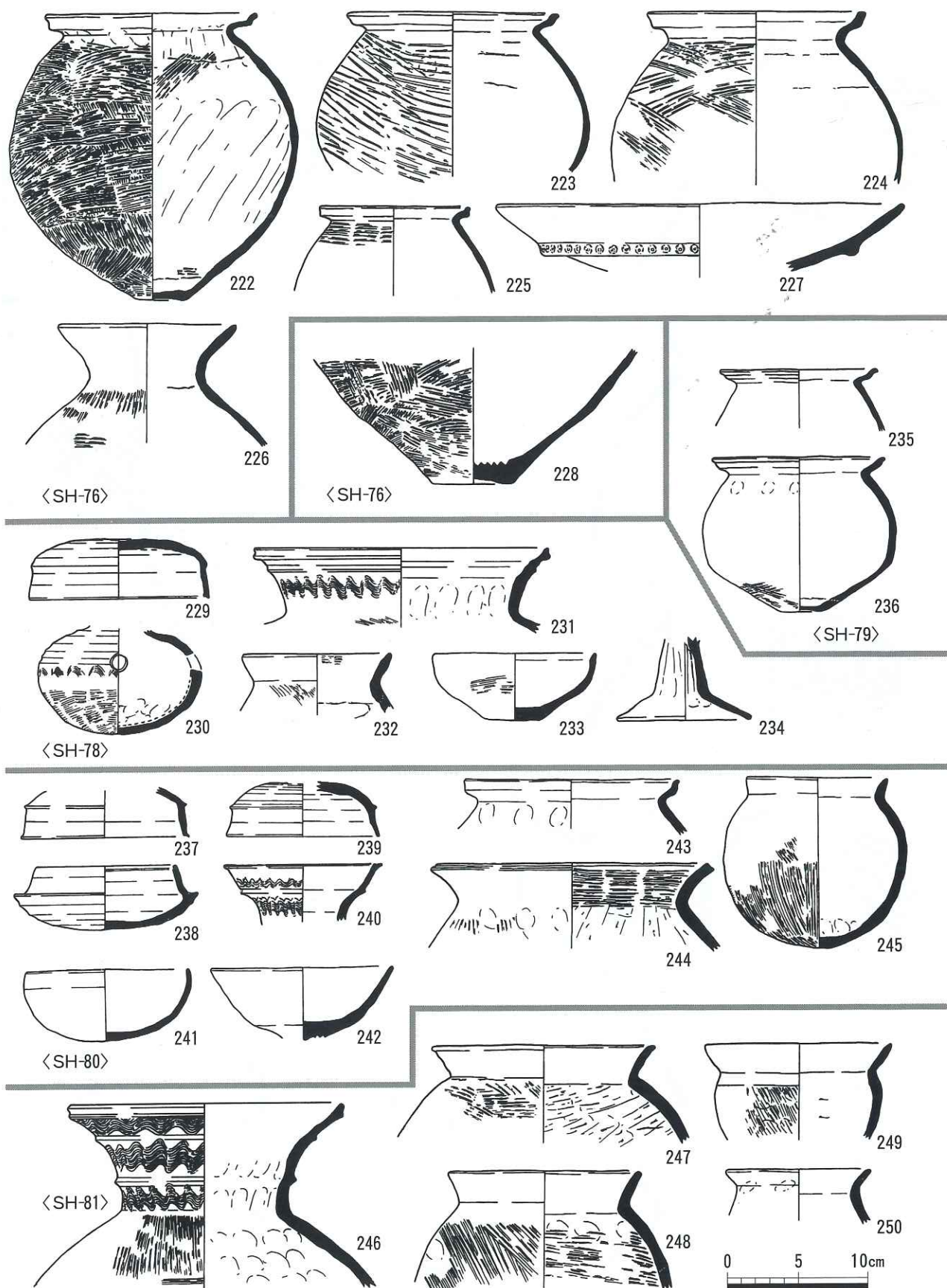


图12 出土遺物実測図⑩

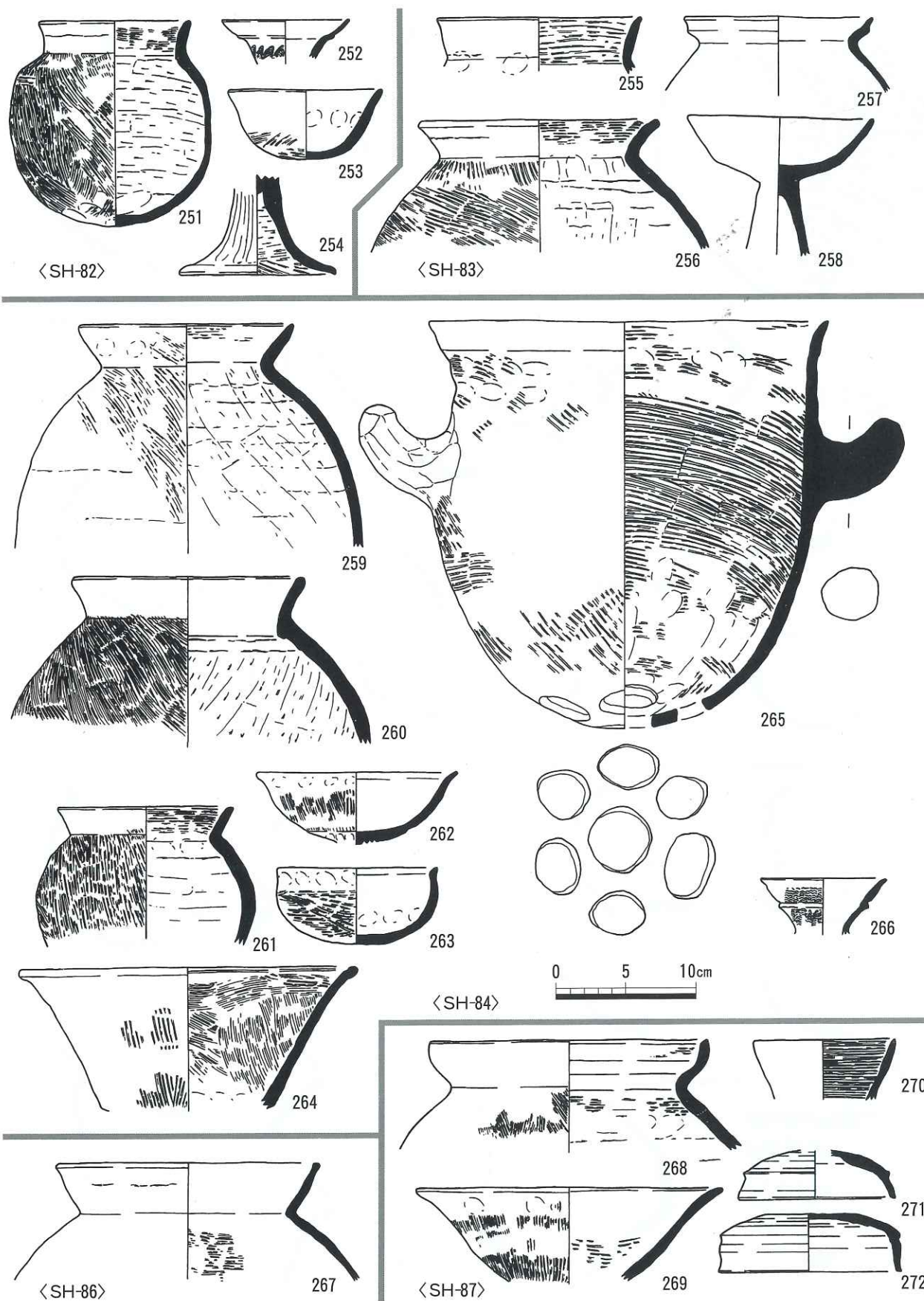


图13 出土遺物実測図⑪

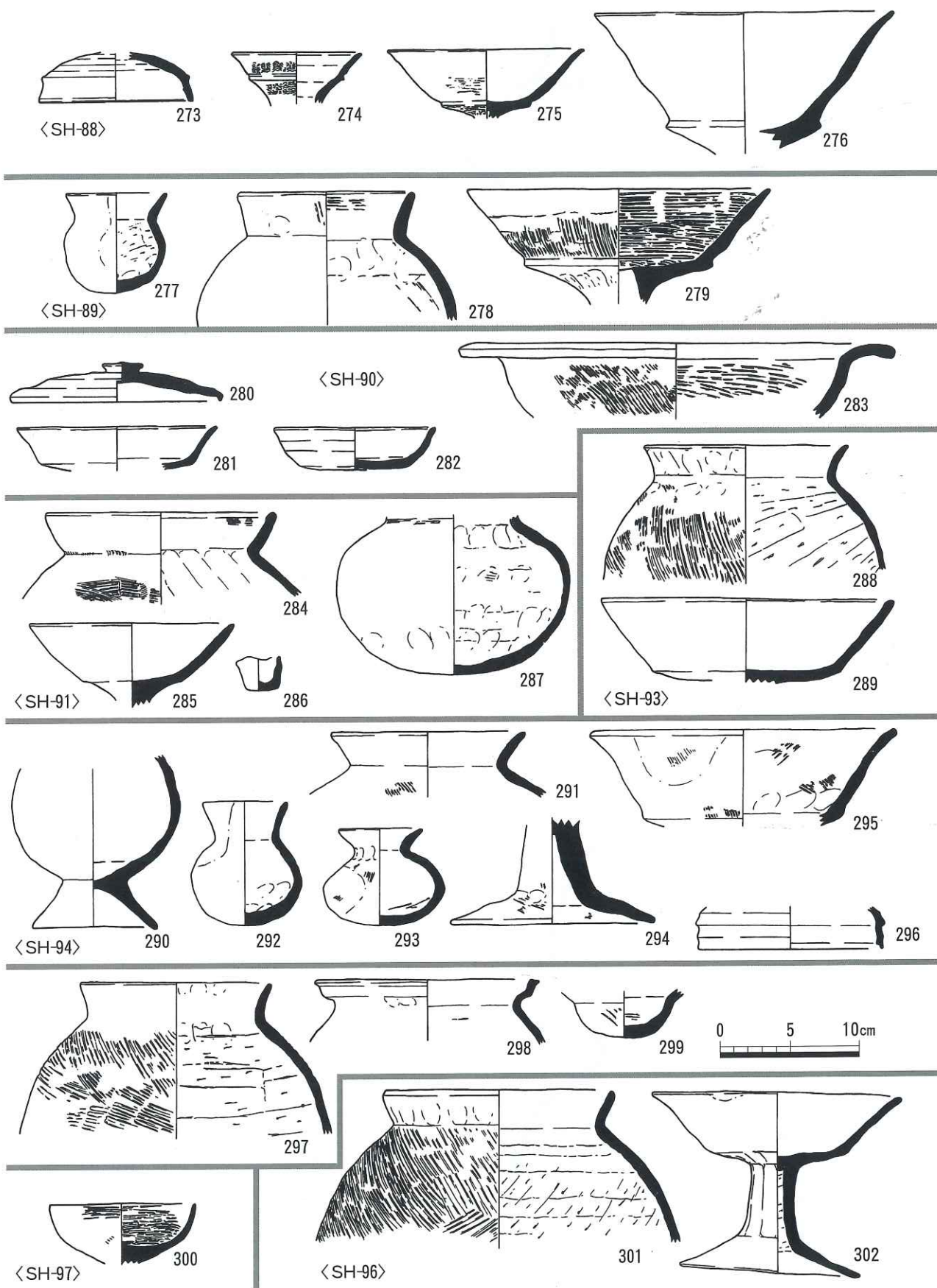


图14 出土遺物実測図⑫

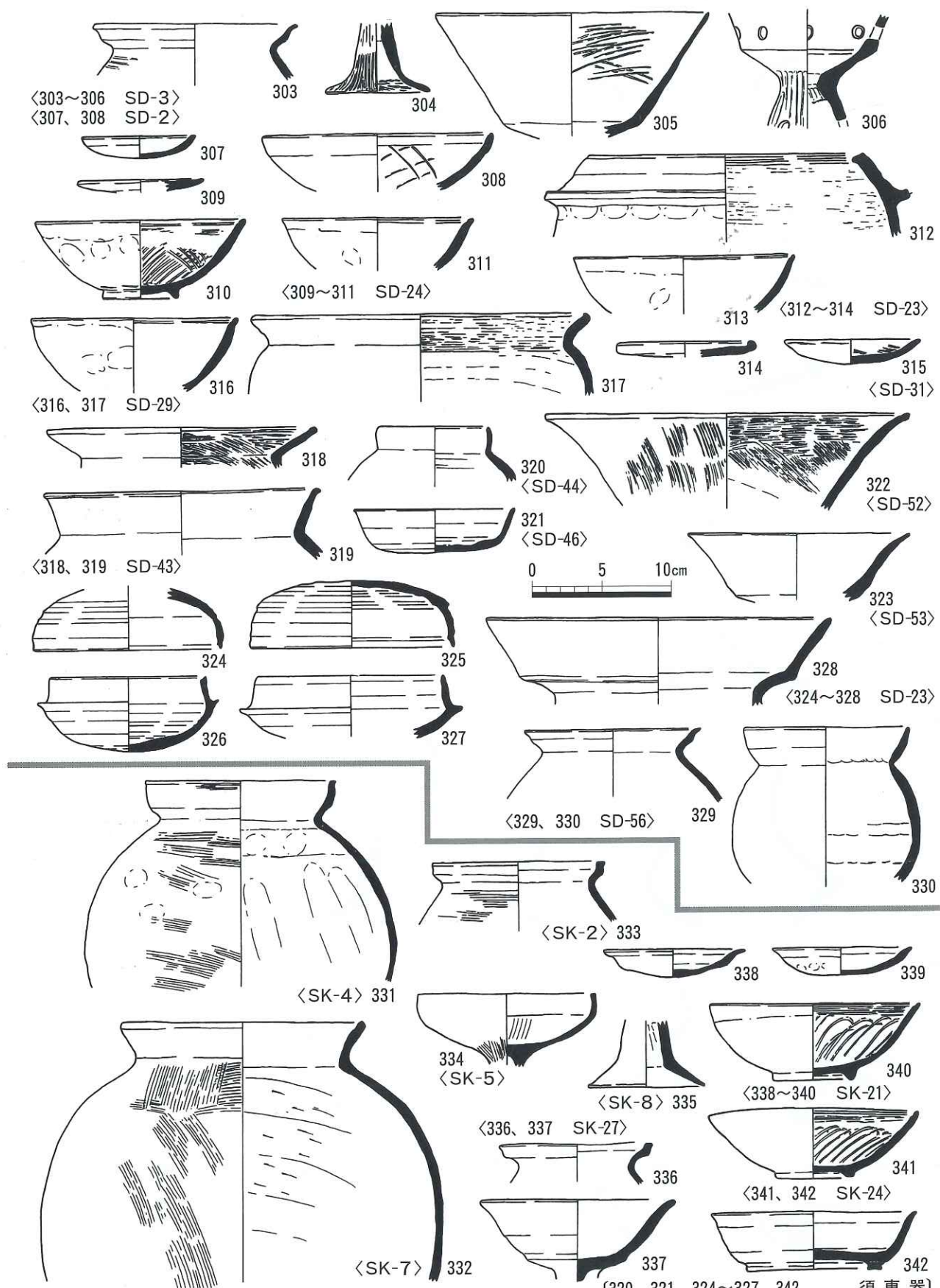


図15 出土遺物実測図⑬

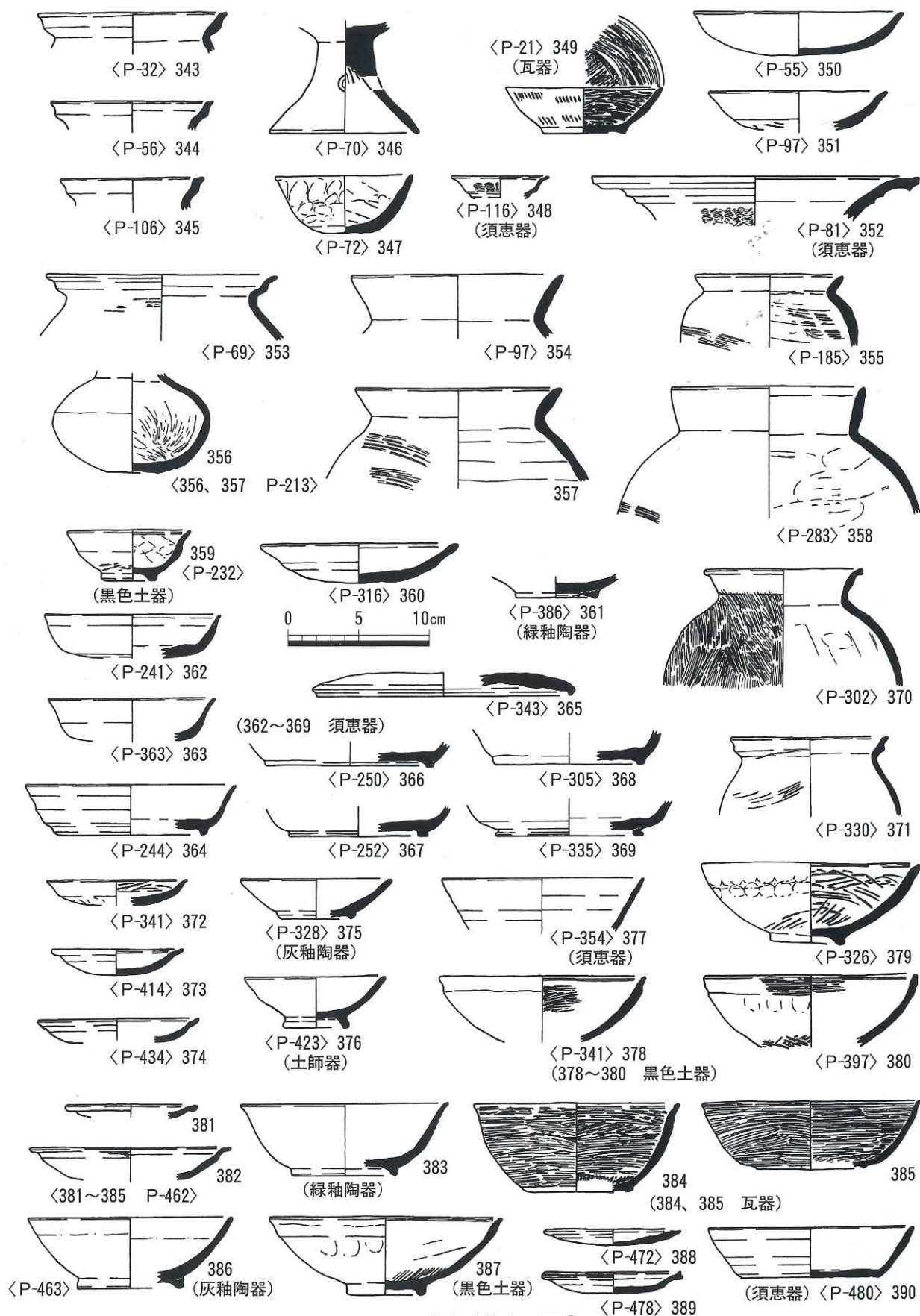


図16 出土遺物実測図⑭

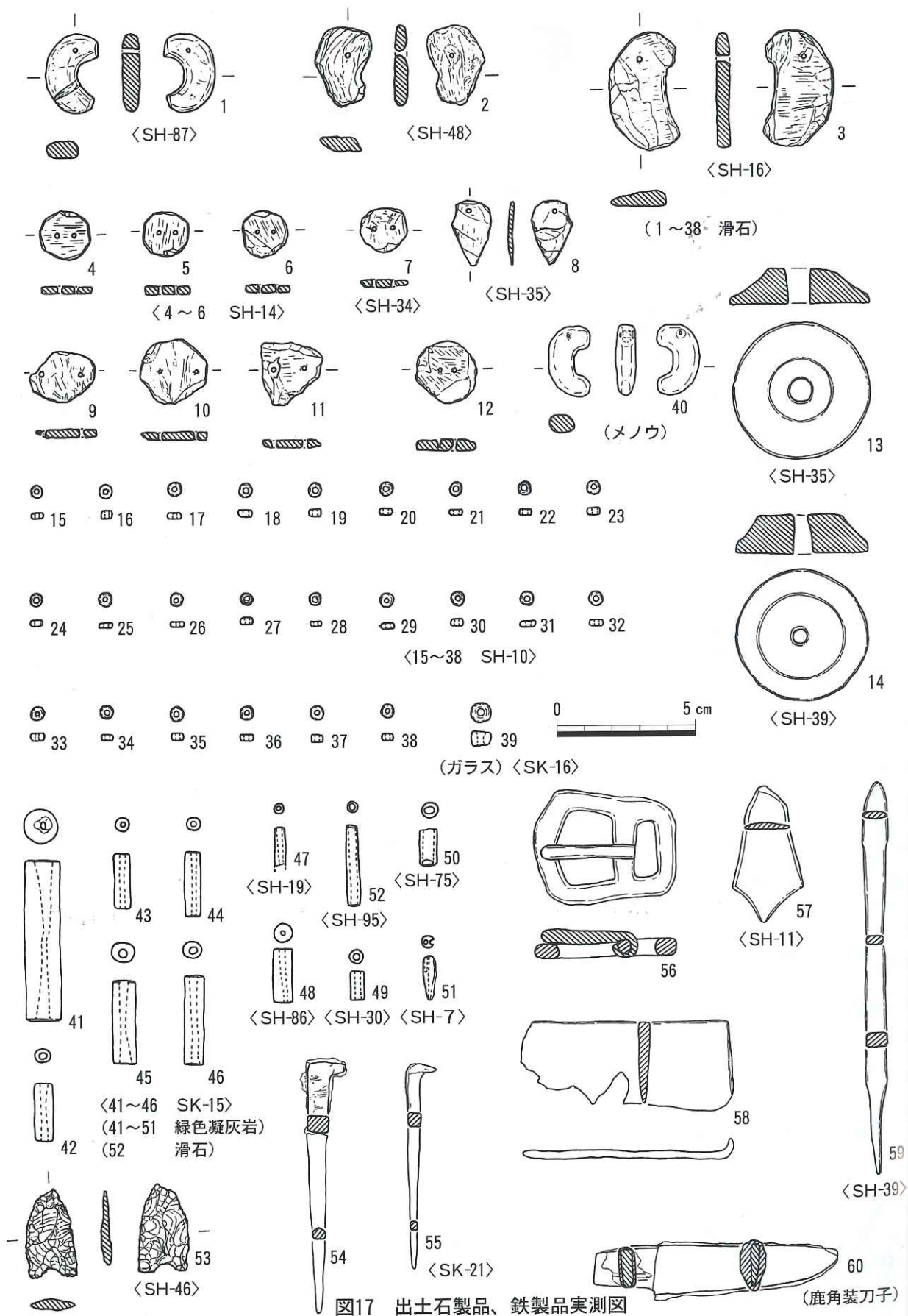


図17 出土石製品、鉄製品実測図

18. 岩 畑 遺 跡

(いわはた・84R085-03)

所 在 地	栗東町高野字一ツ橋675
	北緯 35° 02' 06"
	東経 136° 01' 11"
コ ー ド	321-085
調 査 期 間	1984年6月12日～6月13日
調 査 面 積	250㎡
調 査 原 因	個人住宅
調 査 担 当	大崎隆志
調 査 機 関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主 な 時 代	古墳時代、近世
主 な 遺 構	包含層
主 な 遺 物	泥面子、須恵器、土師器
文 献	

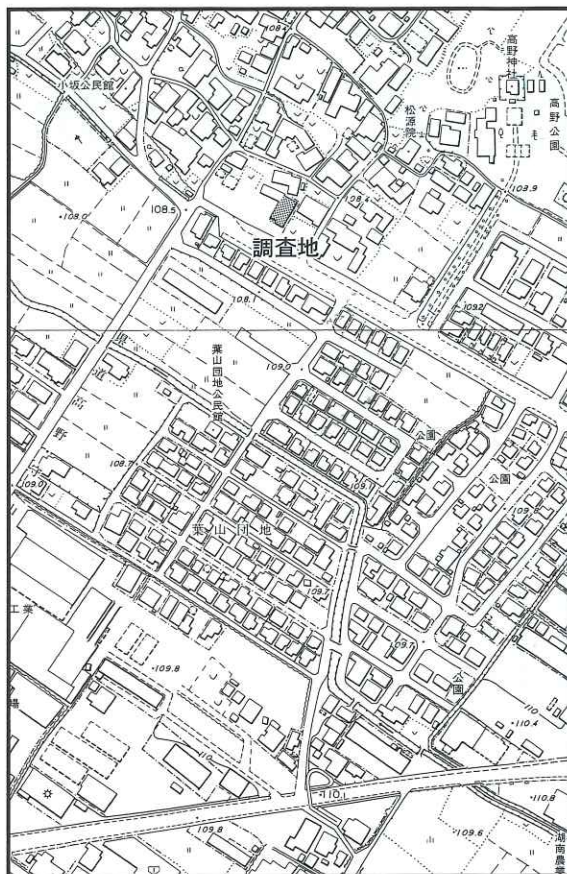


図1 調査地位置図



調査地全景

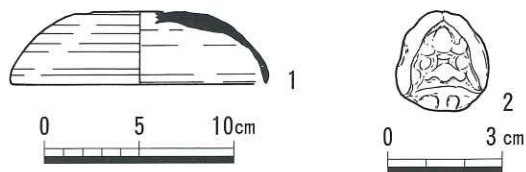


図2 包含層出土遺物実測図 (1、須恵器 2、泥面子)

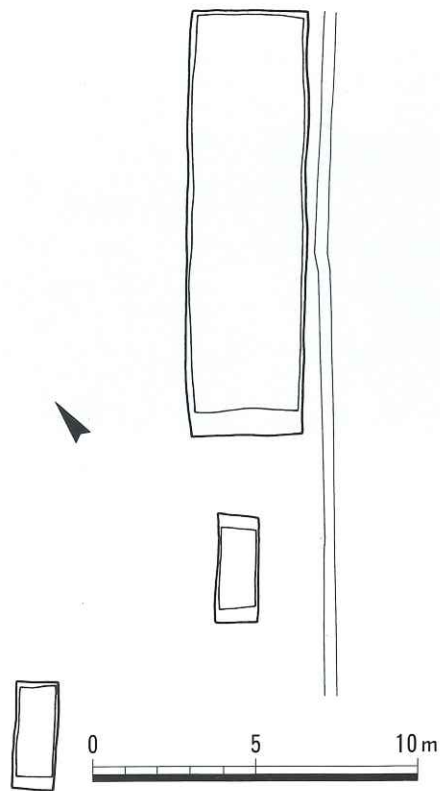
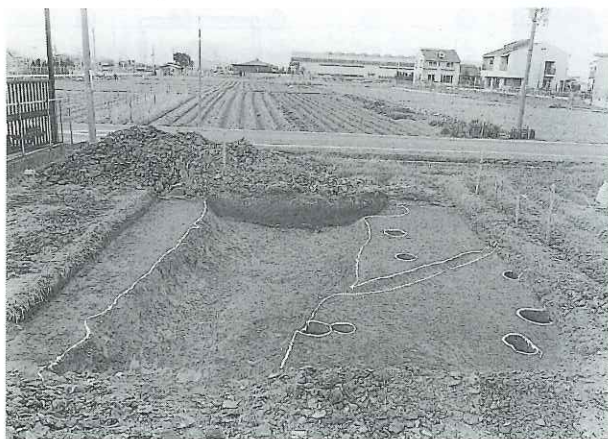


図3 トレンチ配置図

19. 野 尻 遺 跡

(のじり・84R088-01)

所在地	栗東町野尻字馬拍子435-3
	北緯 35° 01' 47"
	東経 135° 59' 26"
コード	321-088
調査期間	1985年1月14日～1月31日
調査面積	800㎡
調査原因	農業用倉庫
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	古墳時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	須恵器、土師器
文 献	



T-1 全景

本調査区からは西北から南東方向にのびる溝が検出されている。溝は幅2.5～3.8m、深さ0.7mで、断面が逆台形状を呈している。溝の最下層からは6世紀の須恵器が出土している。溝の東側からはピットが検出され、土師器小片が出土している。

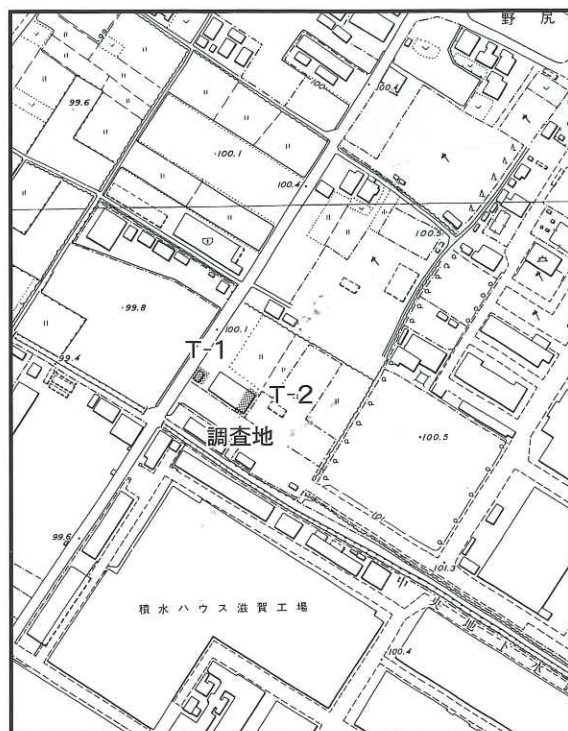


図1 調査地位置図

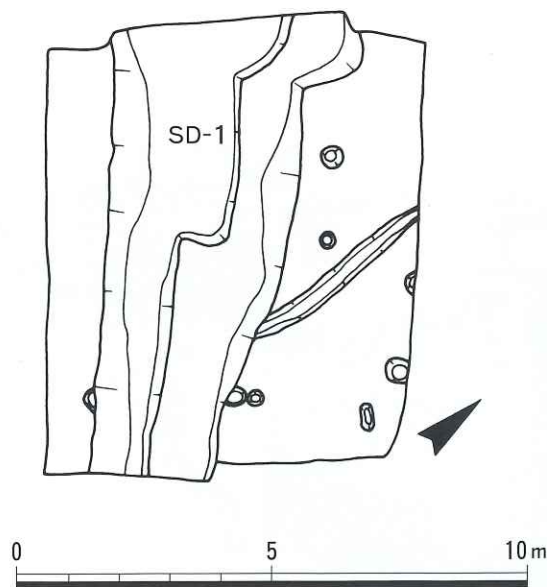


図2 遺構面遺構図

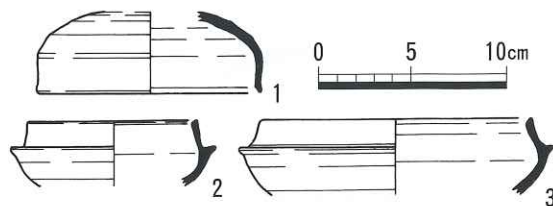


図3 SD-1 最下層出土遺物

20. 野 尻 遺 跡

(のじり・84R088-02)

所 在 地	栗東町野尻95 北緯 35° 01' 59" 東経 135° 59' 41"
コ ー ド	321-088
調 査 期 間	1985年1月17日～2月5日
調 査 面 積	854㎡
調 査 原 因	草の根広場造成
調 査 担 当	松村 浩
調 査 機 関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主 な 時 代	古墳時代、中世
主 な 遺 構	包含層
主 な 遺 物	須恵器、土師器、陶器、砥石
文 献	

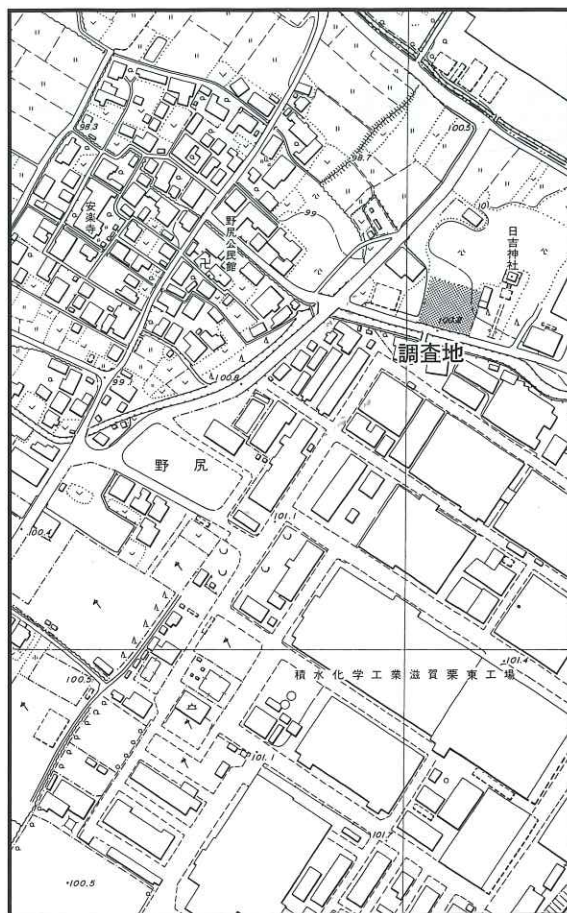


図1 調査地位置図

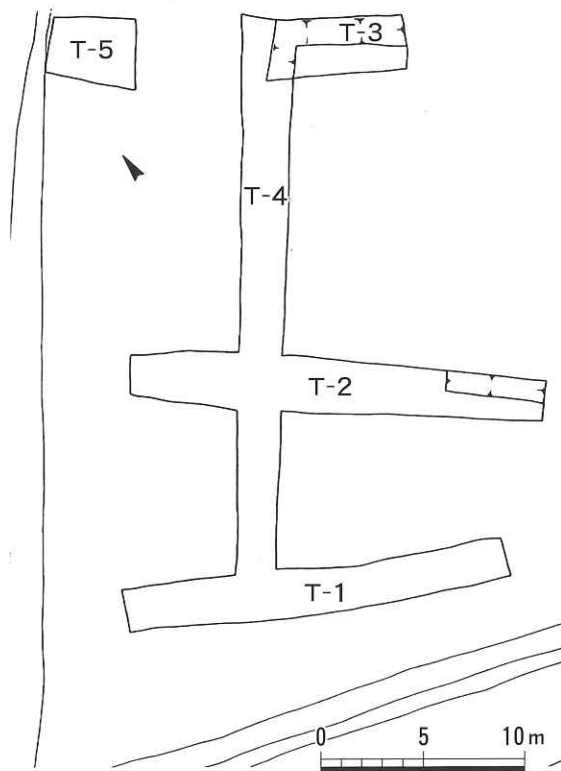
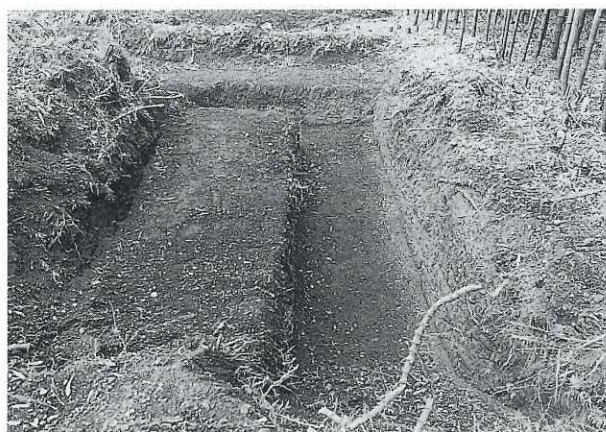


図2 トレンチ配置図



T-3 検出状況

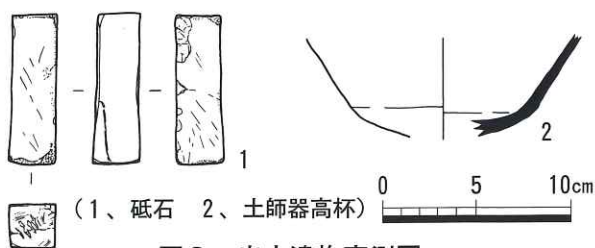


図3 出土遺物実測図

21. 高野遺跡

(たかの・84R092-01)

所在地	栗東町高野字ドント275-1 他 北緯 35° 01' 51" 東経 136° 00' 49"
コード	321-092
調査期間	1984年5月7日～5月21日
調査面積	4054.25㎡
調査原因	駐車場造成
調査担当	平井寿一
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種別	集落
主な時代	古墳時代、平安時代
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器、黒色土器、 灰釉陶器
文献	

本調査区は1983年度調査区(83R092-02)の北隣接地にあたる。範囲確認のための部分的な調査ではあるが、古墳時代後期の竪穴住居20棟、平安時代の掘立柱建物が3棟確認されている。



図2 T-19出土土師器実測図

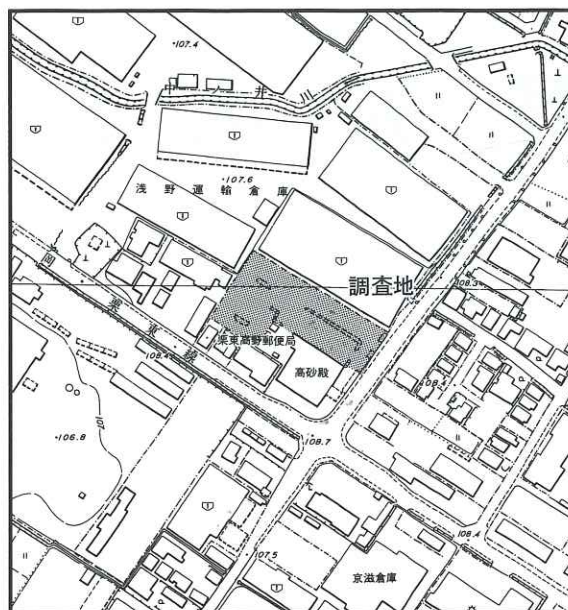


図1 調査地位置図

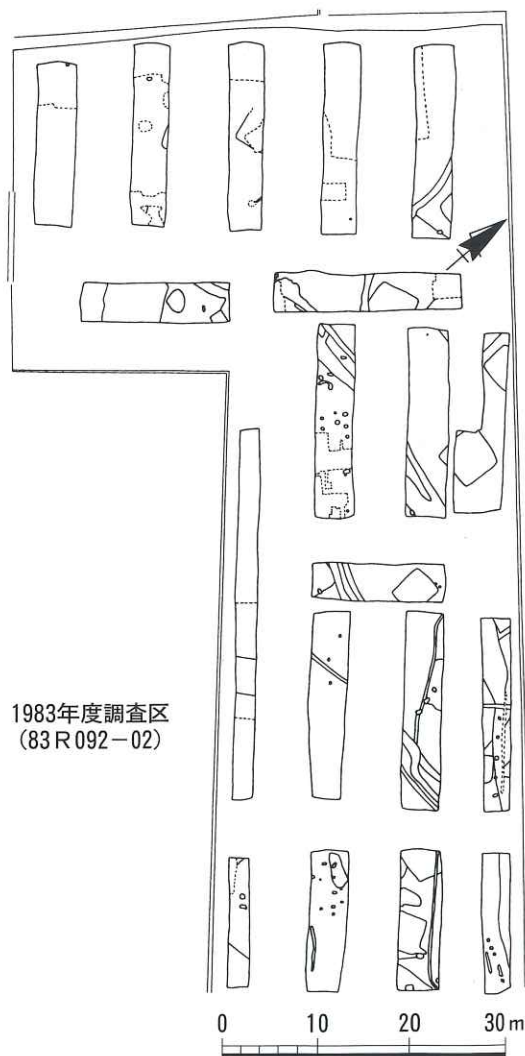
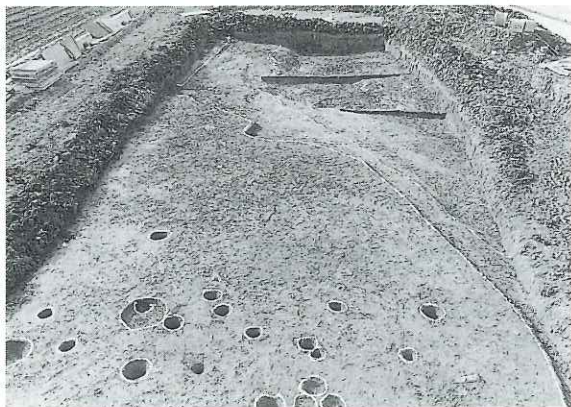


図3 調査地遺構図

30. 下 鈎 遺 跡

(しもまがり・84R095-04)

所在地	栗東町下鈎字宮ノ北1182-1、1183
	北緯 35° 01' 35"
	東経 135° 58' 46"
コード	321-095
調査期間	1985年2月4日～4月13日
調査面積	590m ²
調査原因	マンション建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	弥生時代
主な遺構	溝、ピット
主な遺物	弥生土器、銅釦、ヒスイ製勾玉、石器、木製品
文 献	②



調査地

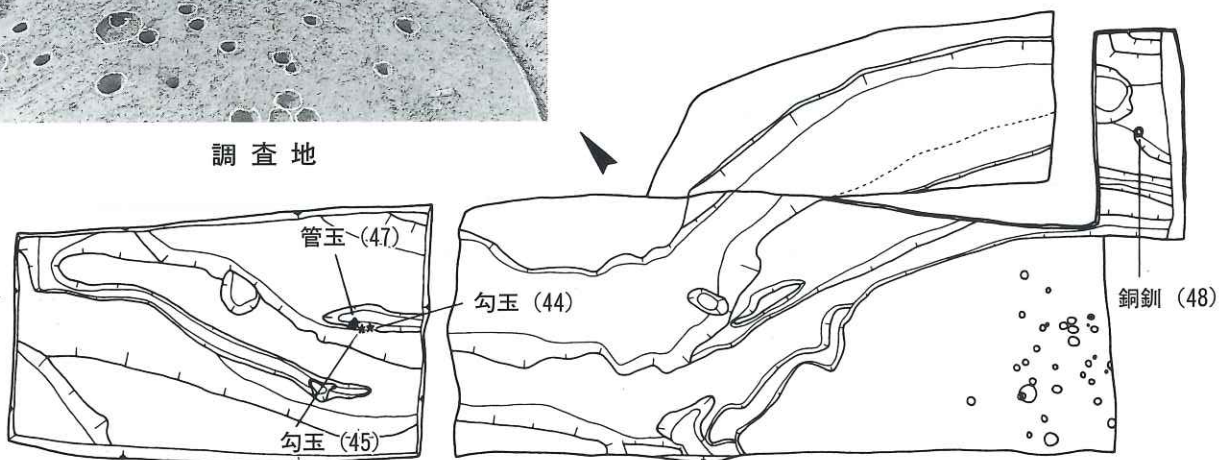


図2 調査地遺構図



図1 調査地位置図

下鈎遺跡では弥生時代中期後半から後期初頭に溝で囲まれた集落が存在していたと想定されている。本調査区は直径400mに及ぶ環溝集落内部の西側部分にあたり、東からやや屈曲気味に北西方向へ流れをとる自然流路が検出された。流路は幅8～10m以上、深さ0.5mで、弥生時代中期後半から後期初頭の土器や磨製石斧・磨製石剣・石包丁などの石器が出土した。またこれとともに、翡翠製勾玉2点と璧玉製管玉2点が出土し、やや離れた地点（拡張区）からは銅釦1点が出土するなど特殊な遺物も見られる。

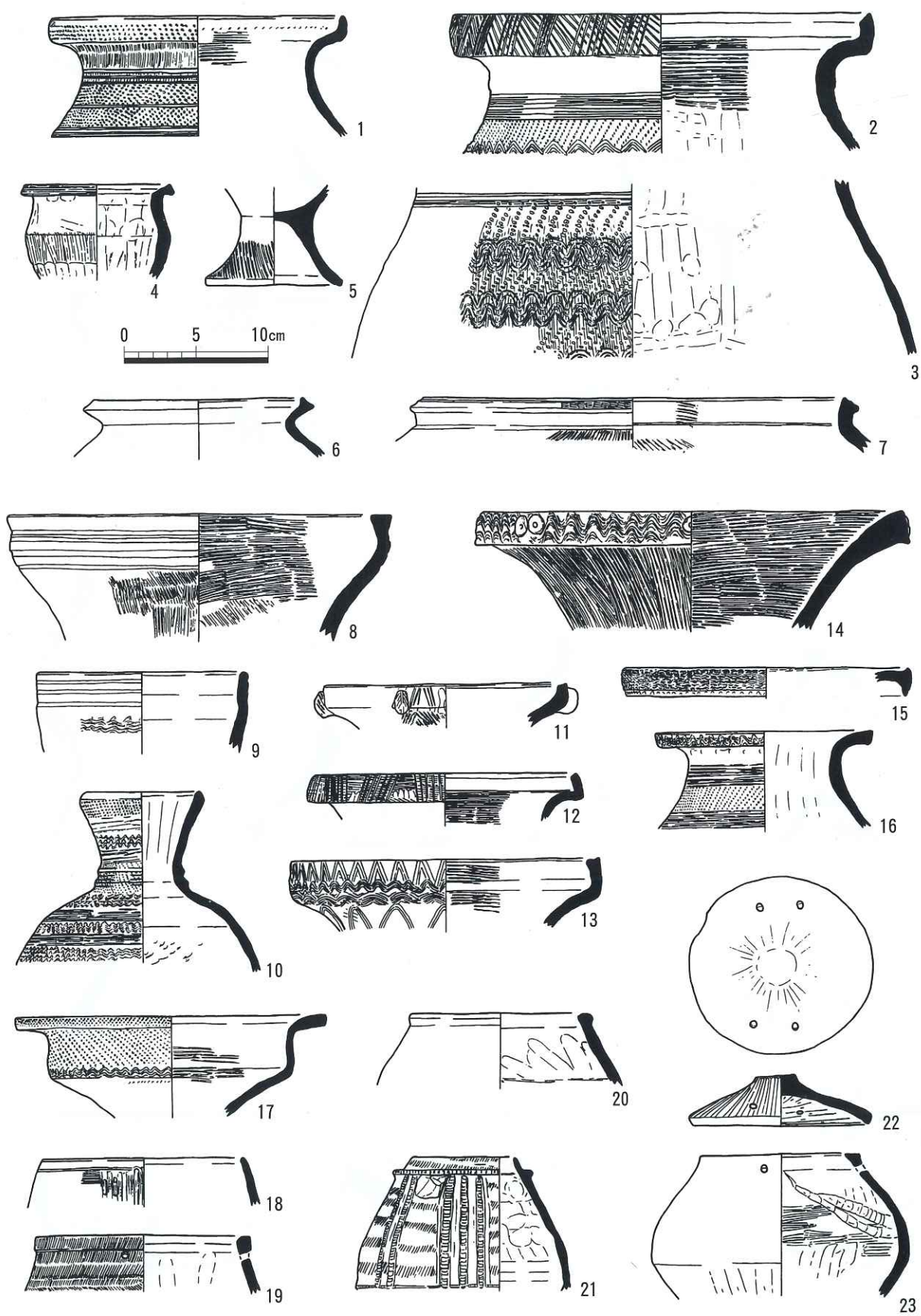
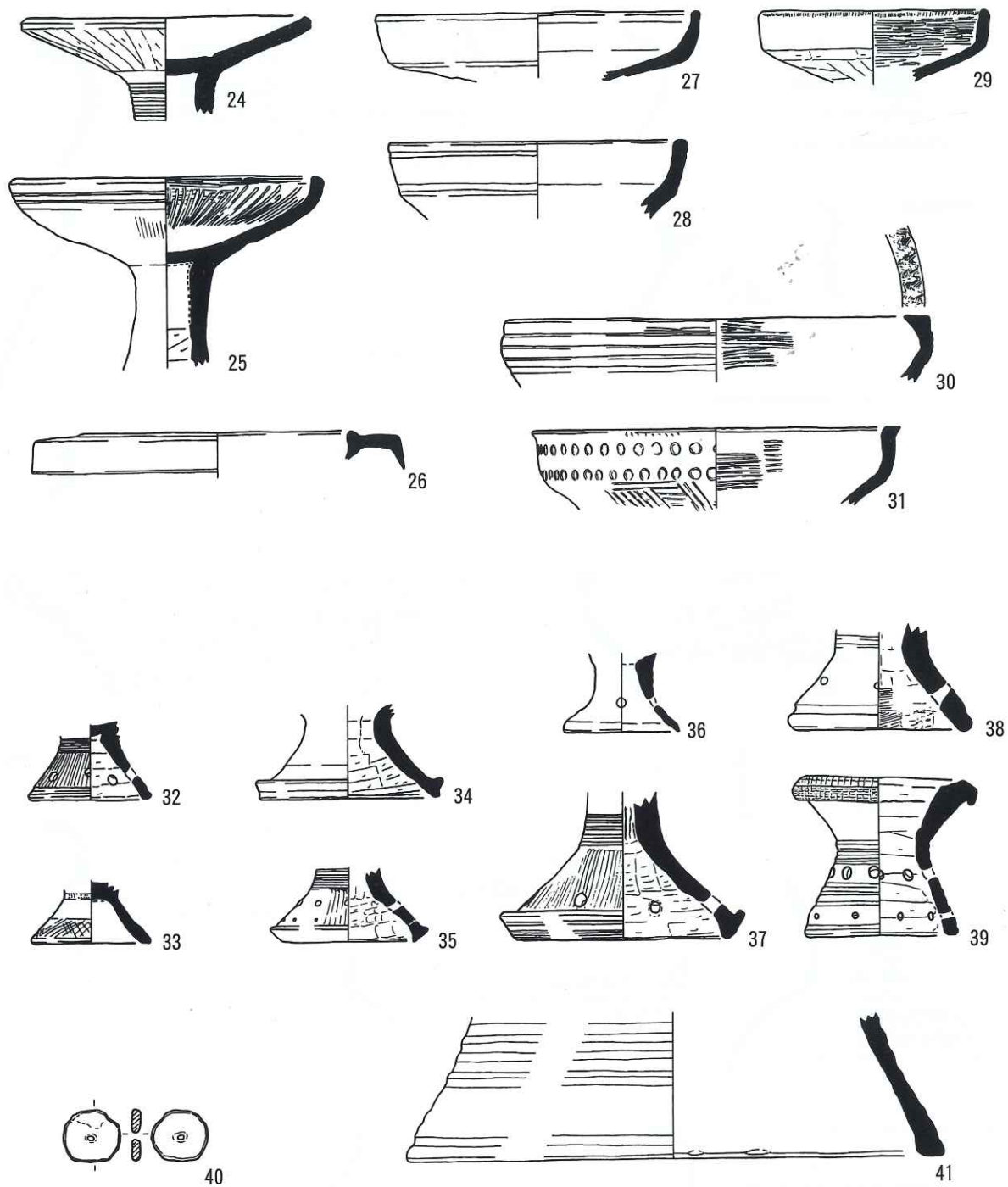


图3 流路出土弥生土器



〈流路〉

〈SD-3〉

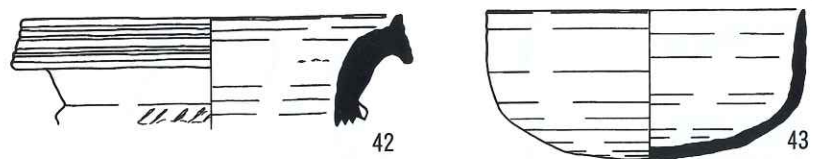


図4 出土土器実測図（43のみ須恵器）

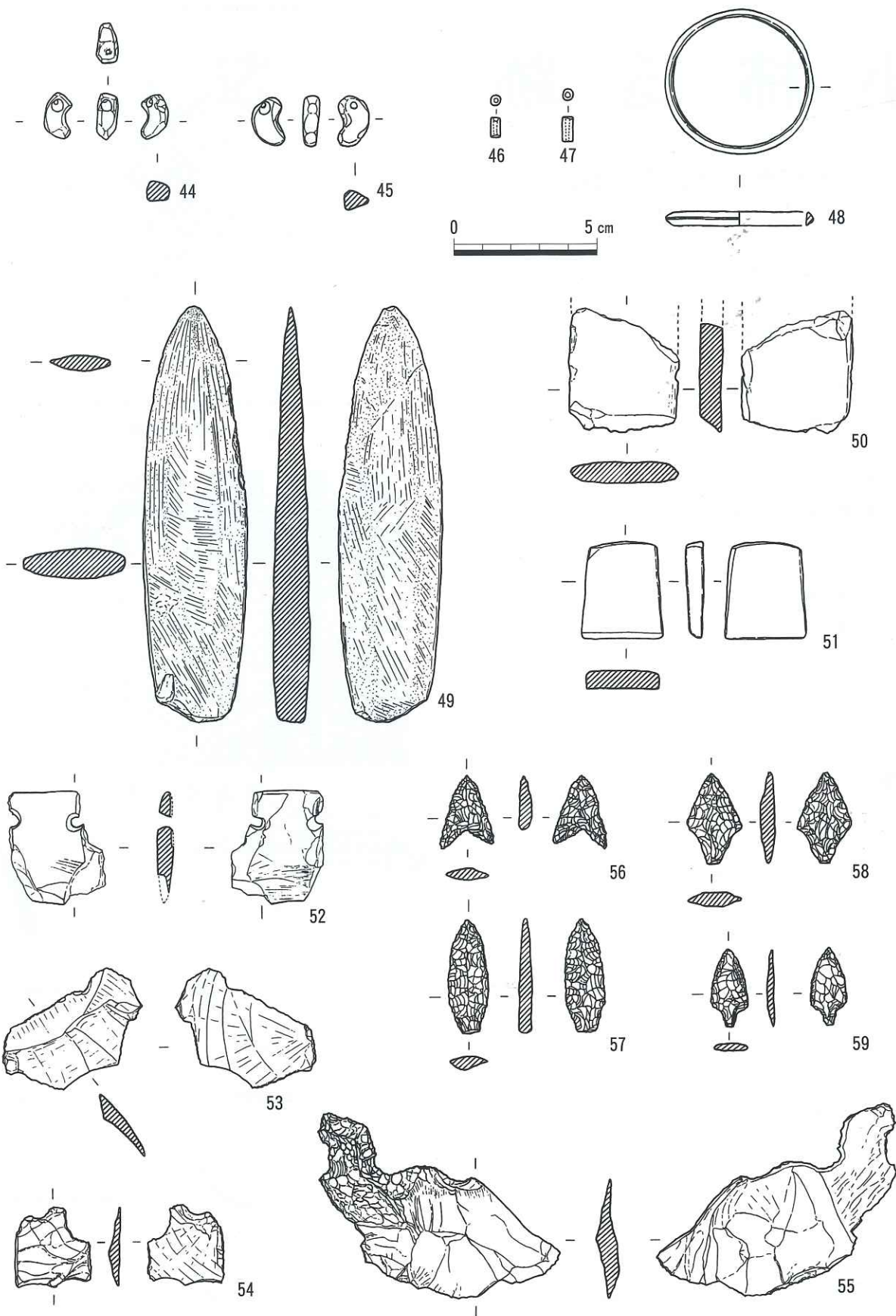


图5 流路出土石製品、銅製品

31. 小 柿 遺 跡

(おがき・84R100-01)

所在地	栗東町小柿字鉤代317-1 北緯 35° 01' 16" 東経 135° 58' 44"
コード	321-100
調査期間	1984年12月3日～12月20日
調査面積	464.26㎡
調査原因	個人住宅
調査担当	松村 浩
調査機関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主な時代	古墳時代～中世
主な遺構	溝、土坑、ピット
主な遺物	須恵器、土師器、黒色土器
文 献	

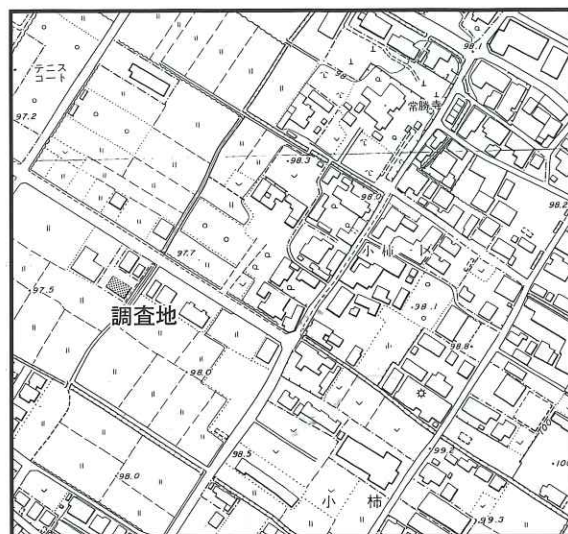


図1 調査地位置図



調査地全景

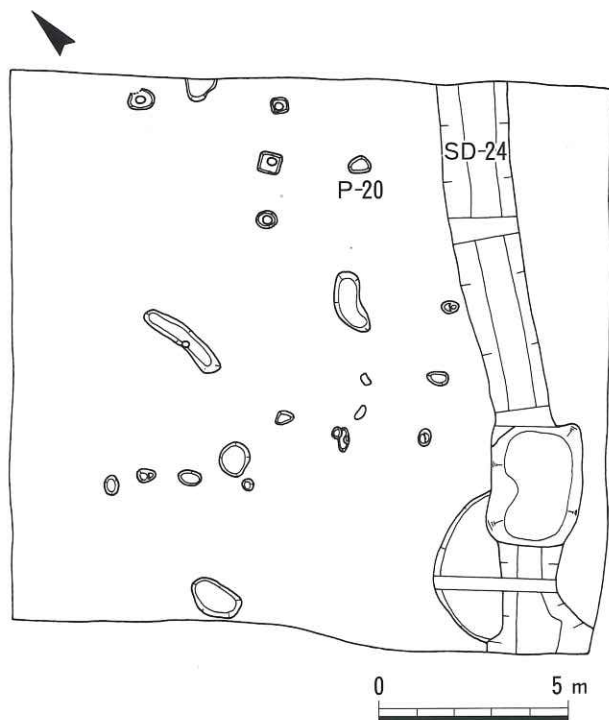


図2 調査地遺構図

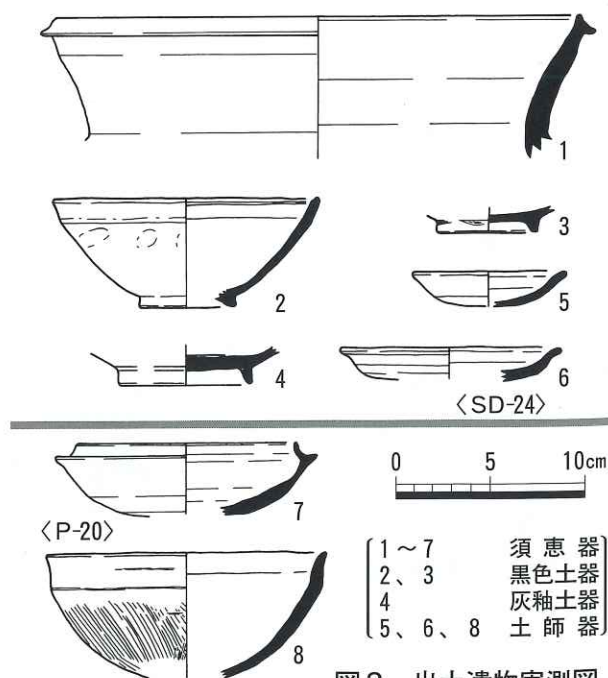


図3 出土遺物実測図

32. 小 柿 遺 跡

(おがき・84R100-02)

所 在 地	栗東町小柿367-2
	北緯 35° 01' 14"
	東経 135° 58' 34"
コ ー ド	321-100
調 査 期 間	1985年 3月 2日～3月 6日
調 査 面 積	342.7㎡
調 査 原 因	個人住宅
調 査 担 当	松村 浩
調 査 機 関	栗東町教育委員会
種 別	集落
主 な 時 代	
主 な 遺 構	溝、ピット
主 な 遺 物	
文 献	



調 査 地 東 半 部



図 1 調査地位置図

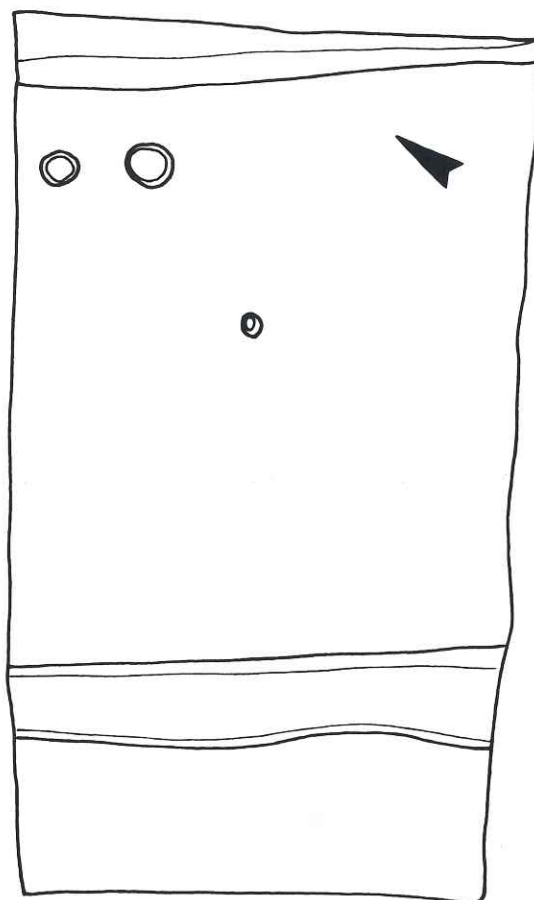


図 2 調査地遺構図

33. 辻越B遺跡

(つじごえ・84R096-01)

所在地	栗東町御園地先 北緯 35° 59' 51" 東経 136° 01' 42"
コード	321-096
調査期間	1984年8月16日～11月10日
調査面積	29000m ²
調査原因	圃場整備
調査担当	清水好洋
調査機関	栗東町教育委員会
種別	集落
主な時代	奈良時代～平安時代
主な遺構	掘立柱建物、溝
主な遺物	須恵器、土師器、黒色土器、瓦器 緑釉陶器、灰釉陶器、白磁
文献	

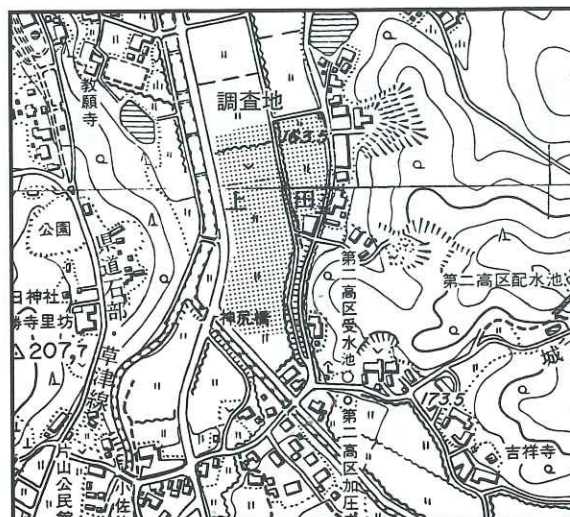
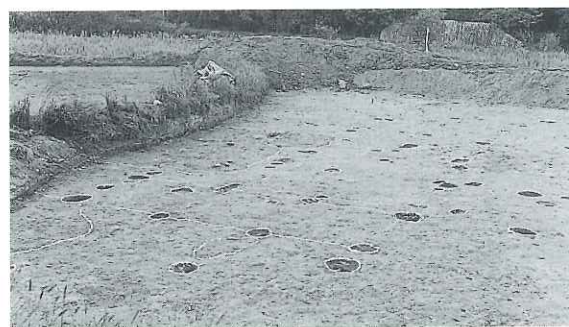


図1 調査地位置図



II区南 T-4 全景

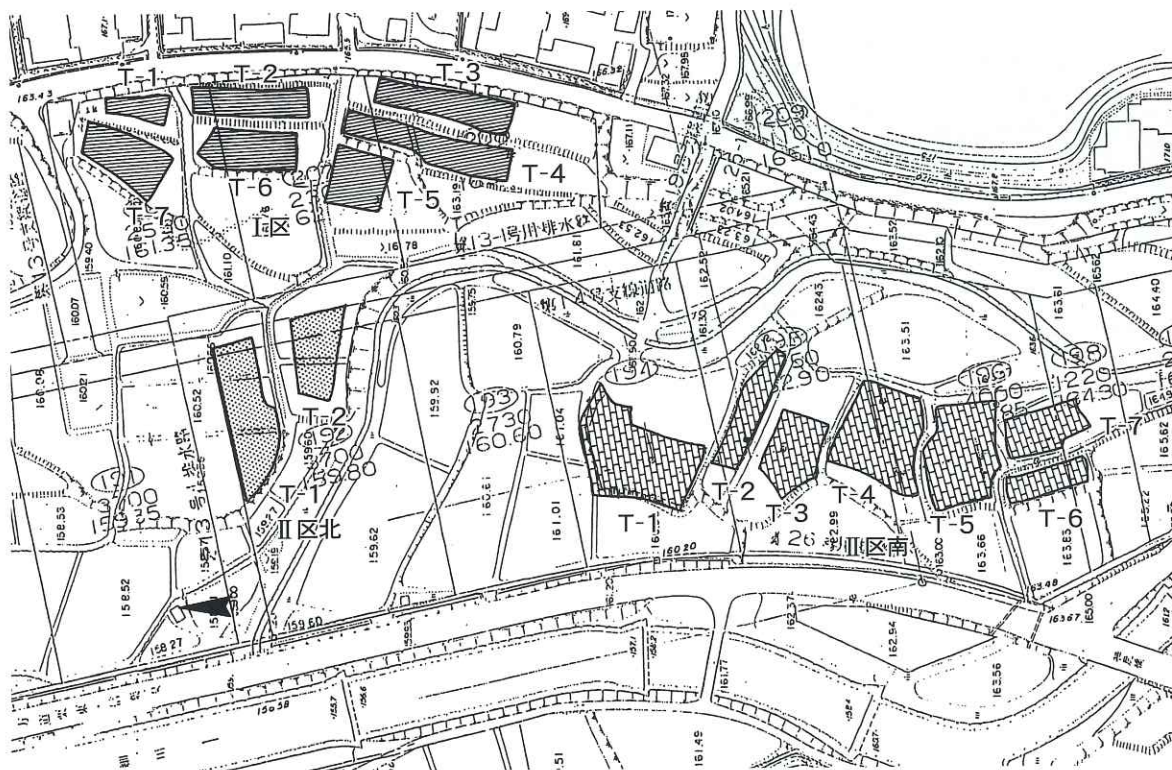


図2 トレンチ配置図

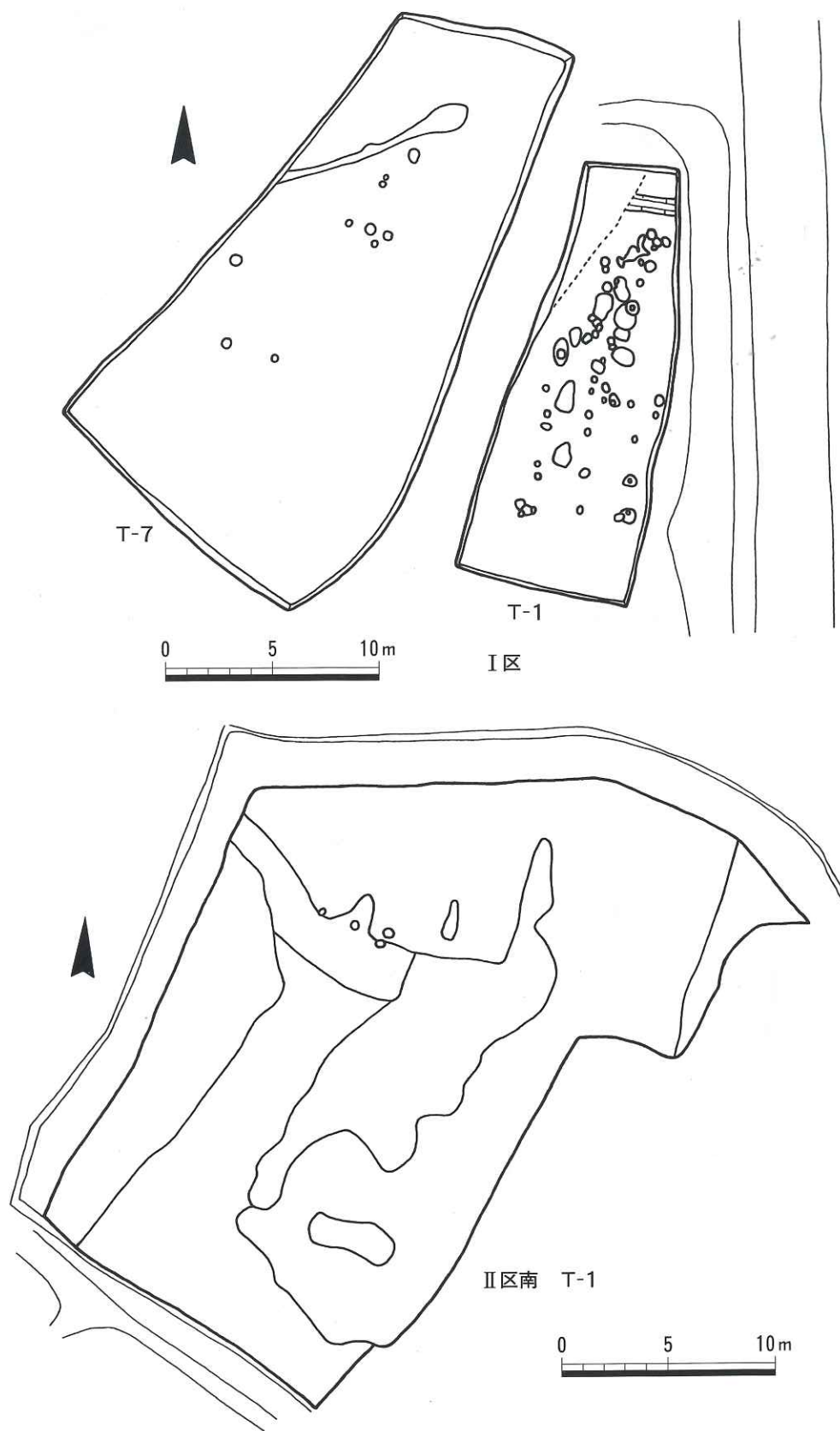


図3 調査地遺構図①

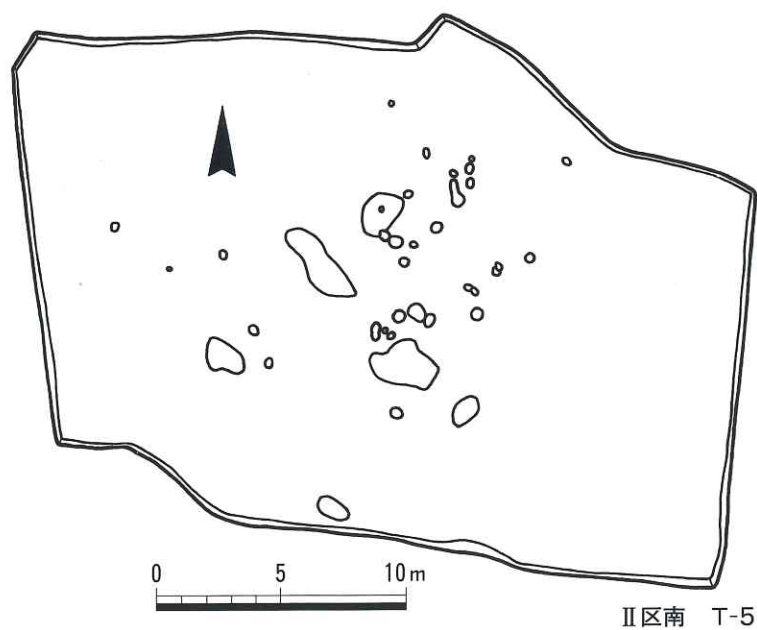
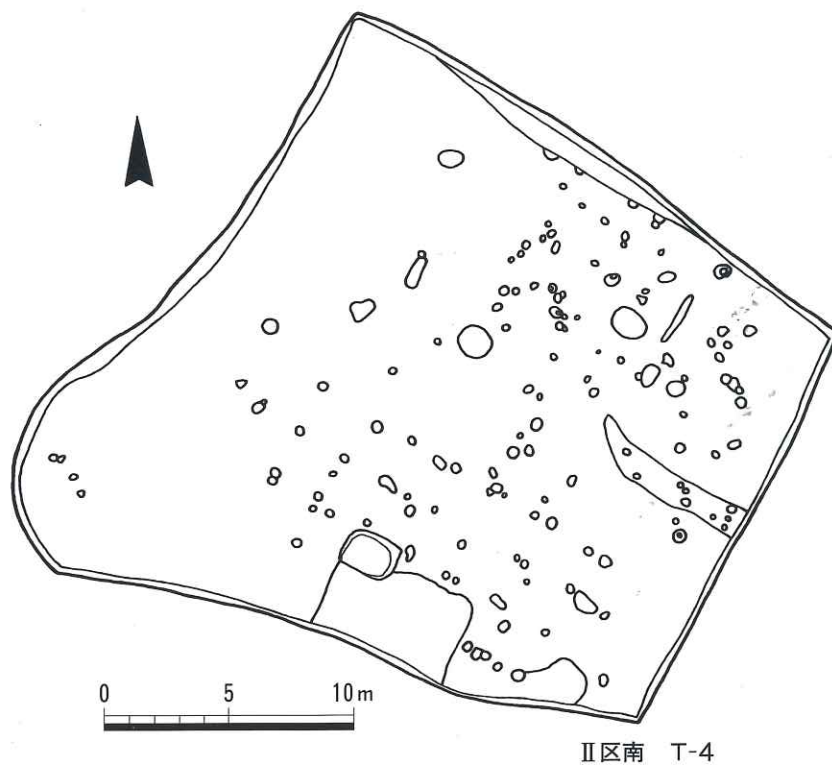


図4 調査地遺構図②

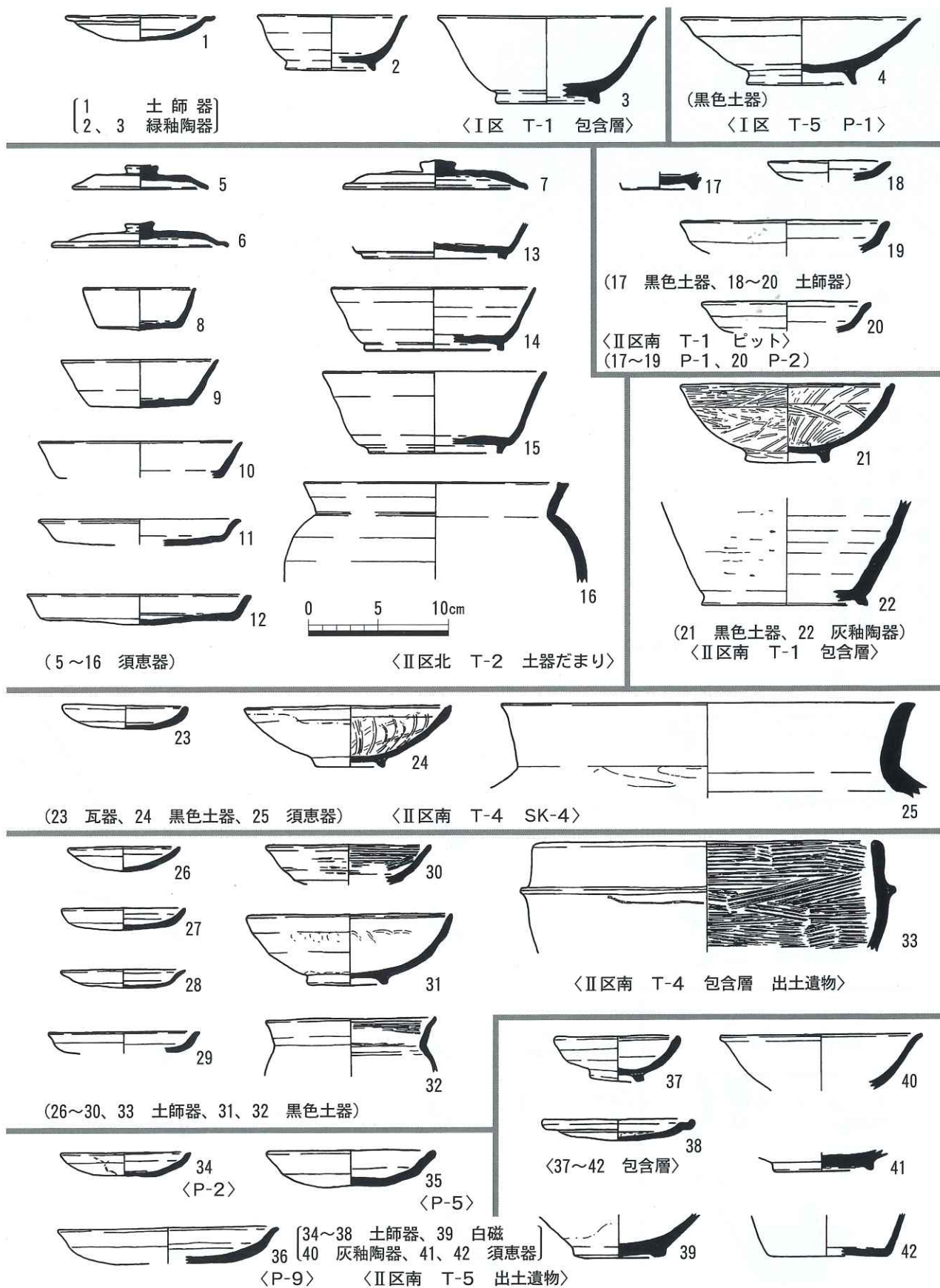


図5 出土遺物実測図

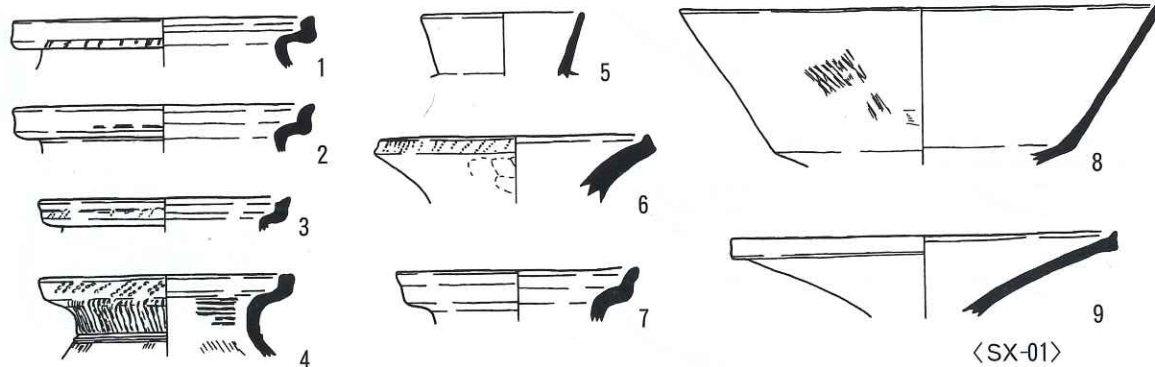
34. 下 鈎 東 遺 跡

(しもまがりひがし・84R097-01)

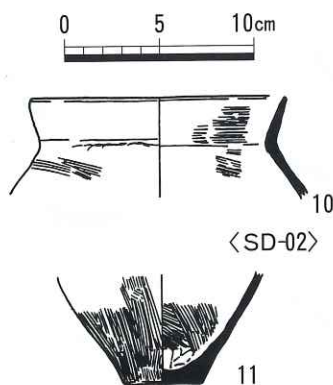
所在地	栗東町上鈎字大將軍53、53-6
	北緯 35° 01' 28"
	東経 135° 59' 42"
コード	321-097
調査期間	1984年6月12日～7月31日
調査面積	1993.37㎡
調査原因	ホテル建設
調査担当	松村 浩
調査機関	財団法人栗東町文化体育振興事業団
種 別	集落
主な時代	弥生時代、平安時代
主な遺構	溝、ピット、土坑
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器、 黒色土器、灰釉陶器
文 献	



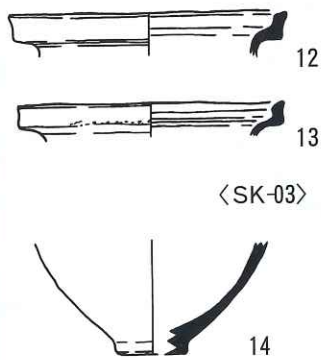
図1 調査地位置図



<SX-01>



<SD-02>



<SK-03>



(灰釉陶器) <SK-11>

(土 師 器) <SD-07>

(黒色土器) <SD-50>

(灰釉陶器) <SD-47>

図2 出土遺物実測図

葉山川中流域の右岸に位置する遺跡である。
この遺跡で初めての本格的な調査となった本調査では、縦横に走る小溝とともに、ピット、土坑が検出された。小溝に先行する土坑（SX-1）からは、弥生時代後期の土器が出土している。

今回の調査では、栗東の弥生時代を代表する遺跡である下鈎遺跡の東側において、弥生時代後期の遺構の拡がりを確認できた。



調査地全景

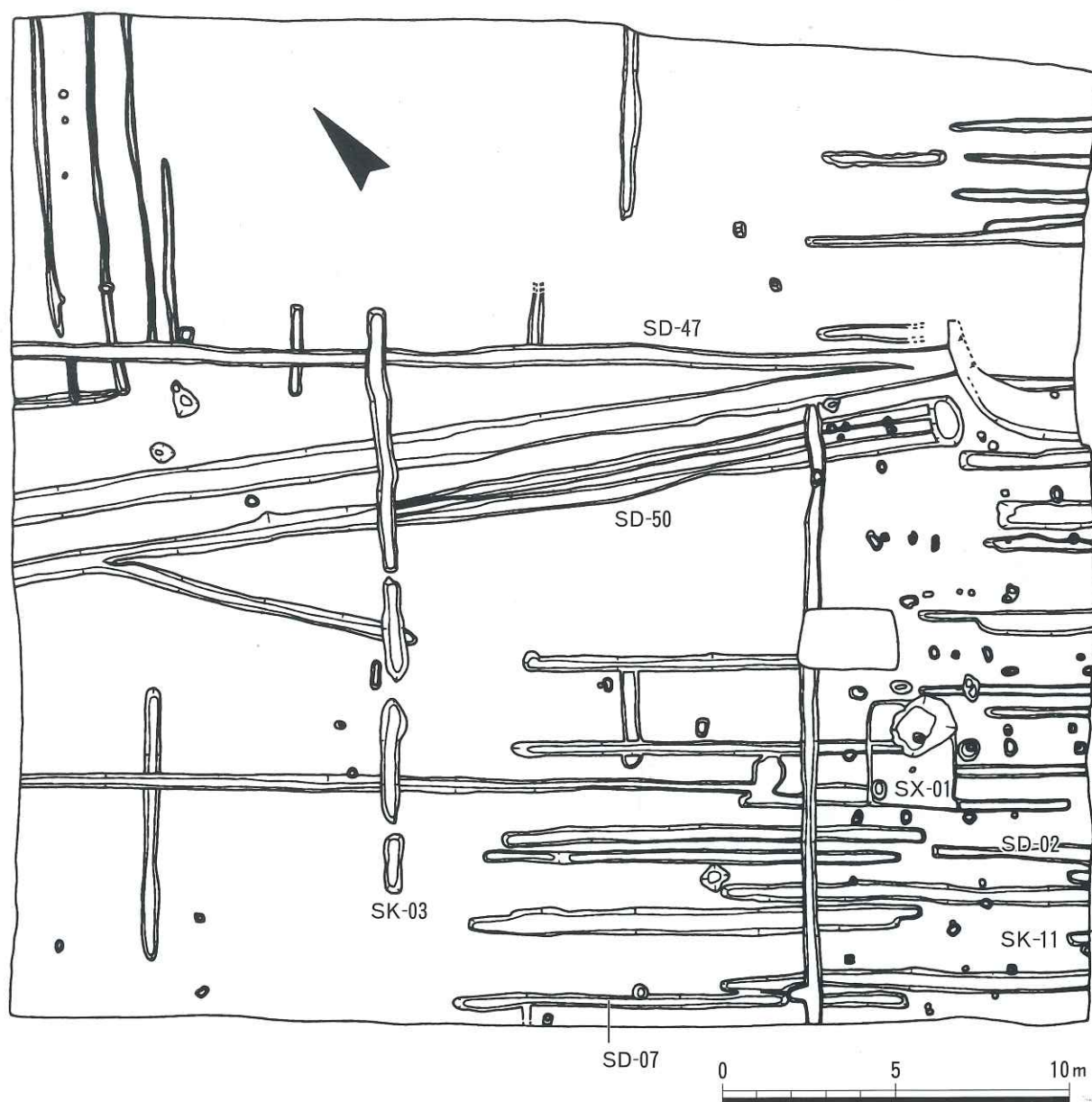


図3 調査地遺構図

参 考 文 献

- ① 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第1巻古代中世 1988
- ② 栗東町史編さん委員会『栗東の歴史』第4巻資料Ⅰ 1994

発行日 2001(平成13)年3月31日

1984年度
栗東町埋蔵文化財
発掘調査資料集

編集・発行 財団法人栗東町文化体育振興事業団
埋蔵文化財調査課
〒520-3011
滋賀県栗太郡栗東町大字下戸山47番地
栗東町出土文化財センター内
TEL. 077-553-3359
FAX. 077-553-3514

印刷・製本 株式会社スマイ印刷工業
〒520-3014
滋賀県栗太郡栗東町大字川辺568-2
TEL. 077-552-1045(代)
FAX. 077-552-0890